

# 第 5 回

# 学生生活実態調査報告書



Tokyo University of Agriculture and Technology

平成 1 7 年度

国立大学法人東京農工大学

# 目 次

## まえがき

序 章 調査の概要	1
第 I 章 基本的事項	
1～3 回収率	2
4～7 回答者の状況	3
第 II 章 経済的状況	
8 1ヶ月の平均収入	5
9 1ヶ月の平均支出	6
10 授業料の主たる支払い者	7
11 アルバイト	8
12 アルバイトの目的・理由	9
13 アルバイトの職種	10
14 アルバイトに従事している時間	11
第 III 章 住居	
15 現在の住居形態・区分	12
16 住居形態	12
17 同居相手	13
18 住居所在地	13
19 本学の学生寄宿舍（国際交流会館を除く）への入居希望	14
20 学寮の満足度	14
21 連帯保証人の必要性	15
22 連帯保証人	15
23 国際交流会館入居希望	16
24 国際交流会館の満足度	16
25 アパートへの入居	17
第 IV 章 通学	
26 通学手段・方法	18
27 通学に要する時間	18
第 V 章 学業	
28 本学の名前の入手方法	19
29 志望順位	20
30 志望動機	21
31 基本理念の周知状況	22
32 入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）の周知状況	23
33 選択理由	24
34 本学への満足度	25
35 新入生オリエンテーションへの満足度	26
36 転学部・転学科	27
37 カリキュラムへの満足度	28
38 授業時間外学習の状況	29
39 授業時間外学習に必要な設備等	30
40 成績評価への疑問	31
41 成績評価に疑問を持った結果とった行動	32
42 教室環境への満足度	33
43 実験・実習の際の危険体験	34
44 学生便覧の活用度	35
45 オフィスアワーの活用と周知度	36
46 シラバスの活用度	37

47	在学生向けホームページの活用度	38
48	情報発信の媒体	39
49	留学生の手引きの活用度	40
50	留学生の情報源	41

## 第VI章 課外活動

51	課外活動団体への加入状況	42
52	加入している課外活動団体の種類	43
53	1週間の平均活動時間	44
54	主な活動場所	45
55	課外活動施設への不満	46
56	課外活動施設・設備への満足度	47
57	課外活動施設・設備への不満の種類	48
58	施設・設備以外で課外活動支援で希望するもの	49

## 第VII章 ボランティア活動

59	入学後・ボランティア活動の経験の有無	50
60	ボランティア活動の内容	51
61	ボランティア活動に従事している頻度	52
62	ボランティア活動参加希望の有無	53
63	してみたいボランティア活動の種類	54

## 第VIII章 学生生活

64	学生生活上の悩み	55
65	対人関係の悩みの相手	56
66	教員をめぐる悩み	57
67	相談相手	58
68	どの教員に相談するか	59
69	学生相談室の認知度	60
70	保健管理センター専任医師の認知度	60
71	保健管理センター女性心理カウンセラーの認知度	61
72	飲み会・コンパなどでの経験	61
73	喫煙率	62
74	受動喫煙について	62
75	キャンパス内の喫煙禁止について	63
76	指定場所以外の禁煙について	63
77	健康診断自動閲覧機の認知度	64
78～81	セクシャル・ハラスメント	64
82～86	農学部福利厚生センター及び工学部総合会館	67
87	設備・施設（講義棟を除く）改善希望	73
88～90	合宿研修施設の利用	74
91	図書館の利用頻度	76
92	大学祭への参加	76
93～94	外国人留学生への質問	77

## 第IX章 進路（就職・進学）

95	希望進路	79
96	進路情報の入手手段	80
97	希望職種	81
98	大学の就職支援に対する希望	82
99	就職支援として希望する内容	83
100	海外留学の希望	84
101	留学の目的	85
102	留学を断念した経験	86
103	留学を断念した理由	87
104	海外活動の経験	88
105	海外活動の形式	89
106	海外活動を行った目的	90
107	語学研修制度・夏季交換留学制度への興味	91

## 第X章 要望・意見等

1	学部学生から多く寄せられた要望・意見等 . . . . .	9 2
2	博士前期課程（修士）学生から多く寄せられた要望・意見等 . . . . .	9 3
3	博士後期課程（博士課程）学生から多く寄せられた要望・意見等 . . . . .	9 3

## 巻末資料

・回収率一覧 . . . . .	9 4
・本調査票（参考） . . . . .	9 5

# ま え が き

本学では平成6年度以来、3年に1回、「学生生活実態調査」を実施し、学生の学業、課外活動、生活全般にわたるデータを収集し、学生の声を教育内容、大学運営や教育環境の整備に活かすための基礎資料としてきました。今回は、2年前の平成15年調査に続く5回目の調査となります。1年前倒して実施したのは、今回の調査結果を、平成18年度に実施する大学評価・学位授与機構による大学認証評価のための根拠資料として活用するためです。このほど、本調査の集計結果がまとまり、分析結果と合せて報告書としてまとめることができました。

本調査の回収率は63.7%で、第4回調査の49.8%に比べ、14ポイントも増加しました。この調査の趣旨を理解され、積極的に参加していただいた学生諸君に感謝するとともに、アンケートの配布や回収の促進にご努力いただいた教職員各位に心よりお礼申し上げます。

全体として、本学への満足度が約80%と高く、カリキュラムへの満足度、教育環境への評価も前回より改善されましたが、キャンパス間の格差も目立ちました。この調査結果に集約された貴重な意見、要望に対し、可能な限り大学運営に活かしていきたいと考えています。

最後になりましたが、アンケート項目の策定や集計結果の分析等に関わっていただいた学生生活実態調査専門委員会の委員、及び学務チームの事務職員の皆様に感謝申し上げます。

理事（教育担当副学長） 佐藤 勝 昭

## 学生生活実態調査専門委員会委員

委員長	百 鬼 史 訓	工学教育部教授	評議員
	加茂前 秀 夫	農学教育部教授	平成17年度農学教育部・農学部学生生活委員長
	植 竹 照 雄	農学教育部教授	平成17年度農学教育部・農学部学生生活副委員長
	國 枝 正 典	工学教育部教授	平成17年度工学教育部・工学部学生生活委員長
	竹 山 春 子	工学教育部教授	平成17年度工学教育部・工学部学生生活副委員長
	早 川 東 作	保健管理センター助教授	
	調 麻佐志	大学教育センター助教授	

事 務	総括チームリーダー（学生担当）	矢 野 由 美
	学務チームリーダー	佐 藤 秀 規
	学務副チームリーダー	小 澤 美 生
	学務副チームリーダー	河 田 直 人

# 序章 調査の概要

## 1. 調査の目的

この調査は、東京農工大学の学生の生活を全般にわたり把握し、今後の学生のための厚生施策の充実、教育・研究環境の改善及びサービスの向上等に役立たせるための資料を得ることを目的として実施した。

## 2. 調査の実施経緯及び組織

平成17年9月27日開催の学生生活委員会において、学生へのより良いサービス向上等に資するため学生生活実態調査の実施について承認され、第5回学生生活実態調査専門委員会が設置された。これを受け、専門委員会では、過去の実態調査の反省点を精査しつつ、調査内容の企画立案、調査票の作成、調査結果の分析を実施し、ここに報告書を作成した。

## 3. 調査の対象

平成17年12月1日現在で本学に在籍している全学生（連合獣医学研究科の本学配置学生を含む）を対象とした。ただし、連合農学研究科の他大学配置学生、休学者、研究生、科目等履修生及び留学中の学生は除いた。

## 4. 調査の時期

平成17年12月1日から12月16日

## 5. 調査の方法

回収率を高め、調査結果をフィードバックするために、各学科・専攻の責任の下で実施した。アンケートは対象者自身が記入した（自記式）。

## 6. 調査の内容・分析

I. 基本的事項【竹山春子】 II. 経済的状況【竹山春子】 III. 住居【國枝正典】  
IV. 通学【國枝正典】 V. 学業【調麻佐志】 VI. 課外活動【植竹照雄】  
VII. ボランティア活動【植竹照雄】 VIII. 学生生活【早川東作】  
IX. 進路（就職・進学）【加茂前秀夫】 X. 要望・意見等【百鬼史訓】

## 7. その他

- ① 資料中、農学系とは、大学院の農学教育部修士課程、連合農学研究科博士課程、連合獣医学研究科博士課程をまとめたものであり、工学系とは、大学院の工学教育部、生物システム応用科学教育部の博士前期課程及び博士後期課程並びに技術経営研究科専門職学位課程をまとめたものである。
- ② 資料中、数値の小数点第二位は四捨五入した。

# 第 I 章 基本的事項

## 1～3 回収率

回収率は全体で63.7%であり、第1回の26.3%、第2回の24.4%、第3回の21.1%、第4回の49.8%に比較して飛躍的に向上した。調査の期間は、前回までは約20日程度であったが、今回は約15日であった。短期間に集中的に実施したことが効果的であったと考えられる。回収率が約6割を超えたことから、調査結果は東京農工大学の学生生活の実態を十分にとらえているとすることができる。

性別では、全体の男子学生が63.9%、女子学生が63.4%で、ほぼ同じ割合だった。学部生の回収率は66.8%であり、大学院生の56.7%に比べて高い。学部生を農学部と工学部に分けると、農学部では51.8%、工学部では75.1%であり工学部のほうが高い。大学院では、生物システム応用科学研究科博士後期課程が18.1%で博士課程では他に比較して極端に低く、また工学教育部博士前期課程が71.6%と非常に高い。学科・専攻別では、回収率に大きな違いがみられるところはなかった。

以上のことから、回答者はほぼ均等に分布していると言することができる。

学 部 学 科 等	対象学生数 (人)	回 収 数 (人)	回 収 率 (%)		
			全体	男子	女子
<b>《学部計》</b>	<b>4,105(1,035)</b>	<b>2,742(694)</b>	<b>66.8</b>	<b>66.7</b>	<b>67.1</b>
農学部	1,467( 597)	760(339)	51.8	48.4	56.8
工学部	2,638( 438)	1,982(355)	75.1	74.0	81.1
<b>《大学院計》</b>	<b>1,794(463)</b>	<b>1,018(255)</b>	<b>56.7</b>	<b>57.3</b>	<b>55.1</b>
(工学教育部計)	877(149)	572(107)	65.2	63.9	71.8
工学教育部博士前期課程	668(122)	478( 93)	71.6	70.5	76.2
工学教育部博士後期課程	209( 27)	94( 14)	45.0	44.0	51.9
農学教育部修士課程	432(181)	238( 98)	55.1	55.8	54.1
(生物システム応用科学教育部計)	236( 61)	107( 25)	45.3	46.9	41.0
博士前期課程	164( 46)	94( 23)	57.3	60.2	50.0
博士後期課程	72( 15)	13( 2)	18.1	19.3	13.3
連合農学研究科博士課程 (対象学生は、本学配置学生)	169( 56)	67(21)	39.6	40.7	37.5
技術経営研究科専門職学位課程	49( 5)	24( 1)	49.0	52.3	20.0
連合獣医学研究科博士課程 (対象学生は、本学配置学生)	31(11)	10( 3)	32.3	35.0	27.3
<b>総 計 (人)</b>	<b>5,899(1,498)</b>	<b>3,760(949)</b>	<b>63.7</b>	<b>63.9</b>	<b>63.4</b>

( ) 内は女子学生数で内数

#### 4. 回答者の分布 一年齢一

学生の年齢は22歳が17.1%で最も多く、次いで21歳が15.7%であり、18歳から24歳までが87%を占めている。

	18才	19才	20才	21才	22才	23才	24才	その他
全体	3.1	12.3	15.5	15.7	17.1	13.6	9.8	13.0

#### 5. 未既婚

全体のうち未婚者が94.7%、既婚者は3.6%である。

全体	している (既婚)	していない (未婚)	無回答
100.0	3.6	94.7	1.7

#### 6. 回答者の分布 一出身地(国)一

学生の出身地は東京都が最も多く、25.5%を占めており、次いで神奈川県、埼玉県、千葉県の間になっている。これらの1都3県で全体の53.4%を占めている。

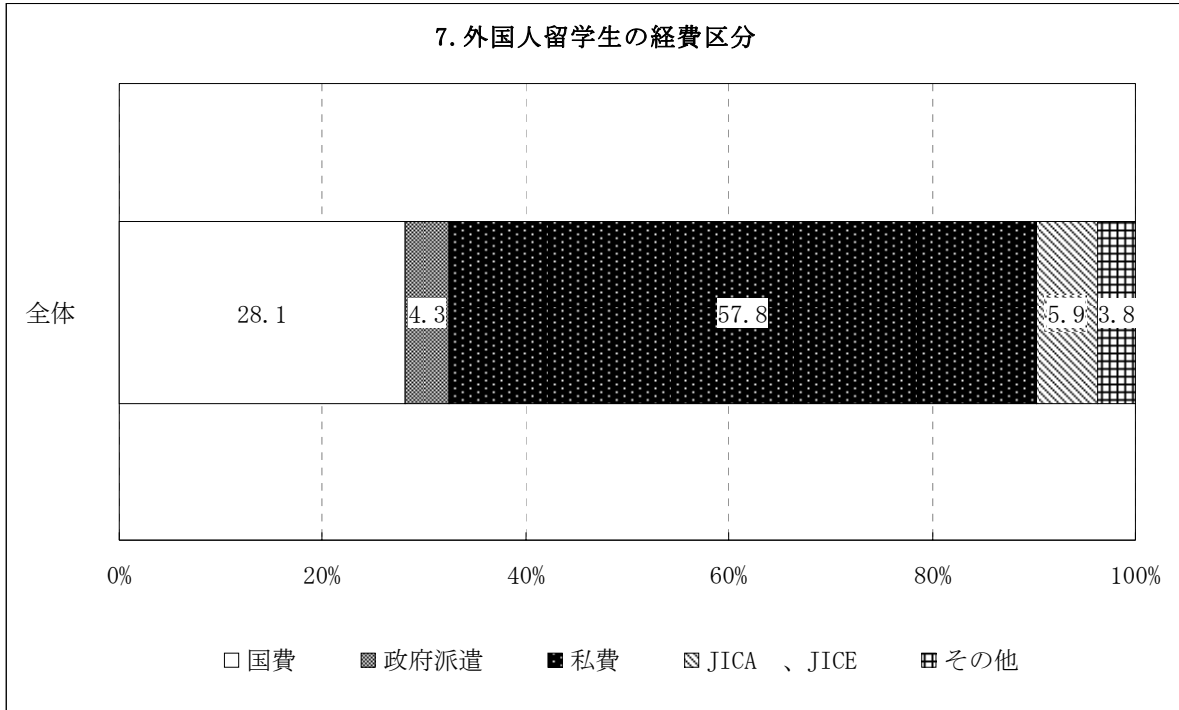
地方別では、北海道 1.6%、東北 5.8%、関東59.7%、中部13.0%、近畿4.4%、中国3.6%、四国 2.5%、九州3.9%、沖縄 0.5%となっており、第1～3回に比べて関東が減少した第4回平成15年度調査とほぼ同様な傾向である。この傾向は、本学が全国的により幅広い地方から学生を継続的に集めていることを示している。

区分	北海道	青森	岩手	宮城	秋田	山形	福島	茨城	栃木	群馬
全体 %	1.6	0.8	0.8	1.5	0.5	0.5	1.7	2.5	2.3	1.7
人	59	29	32	56	19	18	63	94	85	63
	1.6	5.8					6.4			
区分	埼玉	千葉	東京	神奈川	新潟	富山	石川	福井	山梨	長野
全体 %	9.5	5.6	25.5	12.8	1.1	1.1	1.1	0.6	1.4	1.9
人	358	211	961	482	43	40	43	23	53	73
	53.3									
区分	岐阜	静岡	愛知	三重	滋賀	京都	大阪	兵庫	奈良	和歌山
全体 %	0.6	3.2	1.9	0.6	0.1	0.8	1.2	1.3	0.2	0.3
人	22	121	71	23	3	30	45	48	8	10
	13.0			4.4						
区分	鳥取	島根	岡山	広島	山口	徳島	香川	愛媛	高知	福岡
全体 %	0.4	0.3	0.7	1.5	0.7	0.5	0.7	0.7	0.7	1.5
人	15	11	26	57	25	19	25	26	25	58
	3.6					2.5				
区分	佐賀	長崎	熊本	大分	宮崎	鹿児島	沖縄	その他	無回答	回答者全体
全体 %	0.2	0.5	0.4	0.2	0.5	0.6	0.5	4.1	1.0	100.0
人	8	17	14	7	18	24	20	153	38	3772
	4.4							4.1		



## 7. 外国人留学生の経費区分

外国人留学生は 185人（留学生全体の44.6%）の回答を得た。経費の区分は、私費107人（57.8%）、国費52人（28.1%）、JICA/JICE 11人（5.9%）、政府派遣 8人（4.3%）である。



## 第Ⅱ章 経済的状況

### 8. 1ヶ月の平均収入

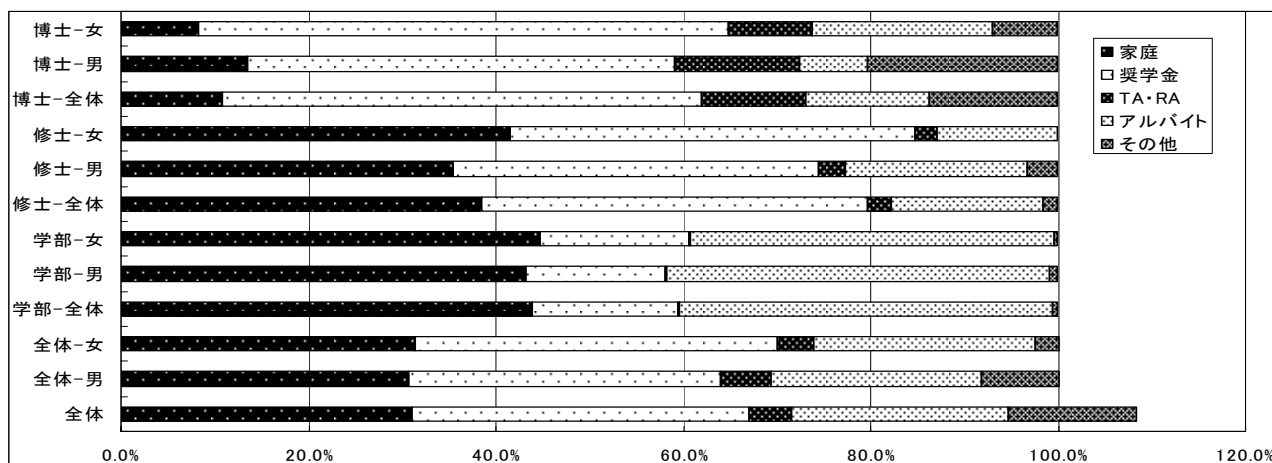
1ヶ月の平均収入の平均値は、153,763円、性別では、男子が142,311円、女子が165,215円で女子がやや多い。学部と修士では収入の差はさほど見られないが、博士課程になると、家計支持者からの額は大きく減少するにもかかわらず、収入は増加する。これは奨学金およびTA・RAによる収入の増加によるもので、とくに、博士課程女子の場合は奨学金が収入全体の6割を占める。同時に博士ではアルバイトによる収入が著しく減少する。

(1ヶ月の平均収入)

	区分	男	女	合計
全体 (3214)	学部	¥128,199	¥139,854	¥134,027
	修士	¥132,888	¥149,824	¥141,356
	博士	¥165,845	¥205,968	¥185,906
	全体	¥142,311	¥165,215	¥153,763
家庭 (2508)	学部	¥55,407	¥62,442	¥58,924
	修士	¥47,008	¥62,231	¥54,619
	博士	¥22,483	¥16,871	¥19,677
	全体	¥41,632	¥47,181	¥44,407
奨学金 (1033)	学部	¥19,087	¥22,324	¥20,705
	修士	¥52,010	¥64,797	¥58,403
	博士	¥75,621	¥116,548	¥96,085
	全体	¥48,906	¥67,890	¥58,398

	区分	男	女	合計
TA・RA (225)	学部	¥226	¥203	¥214
	修士	¥3,664	¥3,555	¥3,610
	博士	¥22,086	¥18,645	¥20,366
	全体	¥8,659	¥7,468	¥8,063
アルバイ ト (2028)	学部	¥52,386	¥54,383	¥53,384
	修士	¥25,890	¥19,187	¥22,538
	博士	¥11,819	¥39,387	¥25,603
	全体	¥30,032	¥37,652	¥33,842
その他 (75)	学部	¥1,094	¥503	¥798
	修士	¥4,317	¥55	¥2,186
	博士	¥33,836	¥14,516	¥24,176
	全体	¥13,082	¥5,025	¥9,053

※項目の括弧内は、各項目についての有効回答数



区分	全体			学部			修士			博士		
	全体	男	女	全体	男	女	全体	男	女	全体	男	女
家庭	31.1%	30.7%	31.5%	43.9%	43.2%	44.6%	38.5%	35.4%	41.5%	10.9%	13.6%	8.2%
奨学金	35.9%	33.2%	38.6%	15.4%	14.9%	16.0%	41.2%	39.1%	43.2%	51.1%	45.6%	56.6%
TA・RA	4.6%	5.4%	3.9%	0.2%	0.2%	0.1%	2.6%	2.8%	2.4%	11.2%	13.3%	9.1%
アルバイト	23.0%	22.5%	23.6%	39.9%	40.9%	38.9%	16.1%	19.5%	12.8%	13.1%	7.1%	19.1%
その他	13.7%	8.2%	2.5%	0.6%	0.9%	0.4%	1.6%	3.2%	0.0%	13.7%	20.4%	7.0%

## 9. 1ヶ月の平均支出

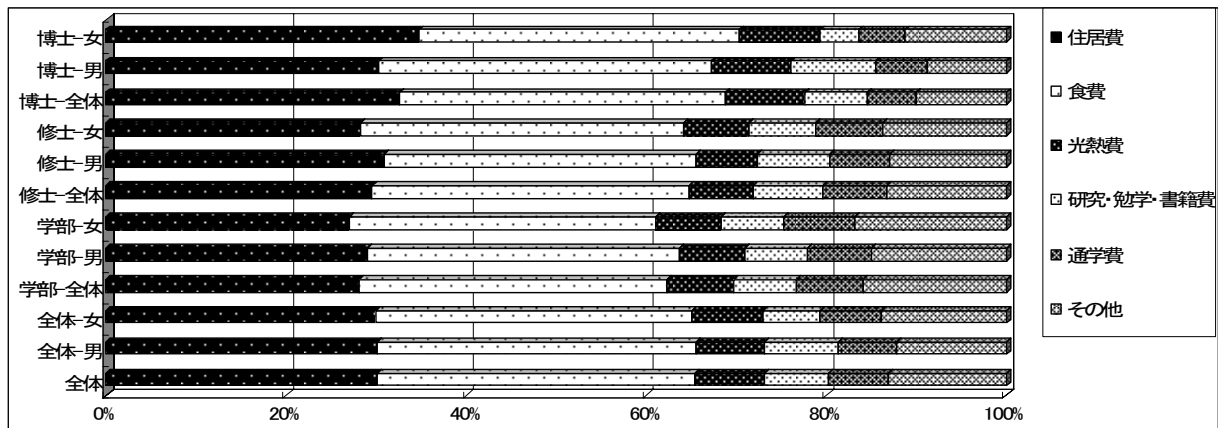
1ヶ月の平均支出の平均値は94,800円で、女子のほうがわずかながら多い。学部、修士、博士の違いについては、収入の差に比べればわずかといえる。全体を通じて光熱費が全支出のほぼ4割を占めるが、ここには通信費が含まれている。博士課程になると住居費、光熱費、食費による支出の増加が目立つ（特に、女子博士課程の食費）。また博士課程女子では男子に比べて研究・勉学費・書籍費が少ない。

(1ヶ月の平均収入)

	区分	男	女	合計
全体 (2856)	学部	¥79,265	¥82,423	¥80,844
	修士	¥87,087	¥106,126	¥96,607
	博士	¥107,690	¥106,419	¥107,055
	全体	¥91,347	¥98,323	¥94,835
住居費 (1761)	学部	¥28,195	¥26,655	¥27,425
	修士	¥30,458	¥29,874	¥30,166
	博士	¥35,707	¥48,484	¥42,095
	全体	¥31,453	¥35,004	¥33,229
光熱費 (1885)	学部	¥33,548	¥33,596	¥33,572
	修士	¥34,015	¥38,071	¥36,043
	博士	¥43,707	¥49,355	¥46,531
	全体	¥37,090	¥40,341	¥38,716
食費 (3214)	学部	¥7,082	¥7,210	¥7,146
	修士	¥6,689	¥7,775	¥7,232
	博士	¥10,233	¥12,581	¥11,407
	全体	¥8,001	¥9,188	¥8,595

	区分	男	女	合計
研究・勉学費・書籍費 (2009)	学部	¥6,686	¥6,903	¥6,794
	修士	¥7,880	¥7,857	¥7,869
	博士	¥11,276	¥5,968	¥8,622
	全体	¥8,614	¥6,909	¥7,762
通学費 (1240)	学部	¥6,903	¥7,769	¥7,336
	修士	¥6,653	¥7,835	¥7,244
	博士	¥6,612	¥7,258	¥6,935
	全体	¥6,722	¥7,621	¥7,172
その他 (1557)	学部	¥14,477	¥16,605	¥15,541
	修士	¥12,691	¥14,495	¥13,593
	博士	¥10,431	¥15,581	¥13,006
	全体	¥12,533	¥15,560	¥14,047

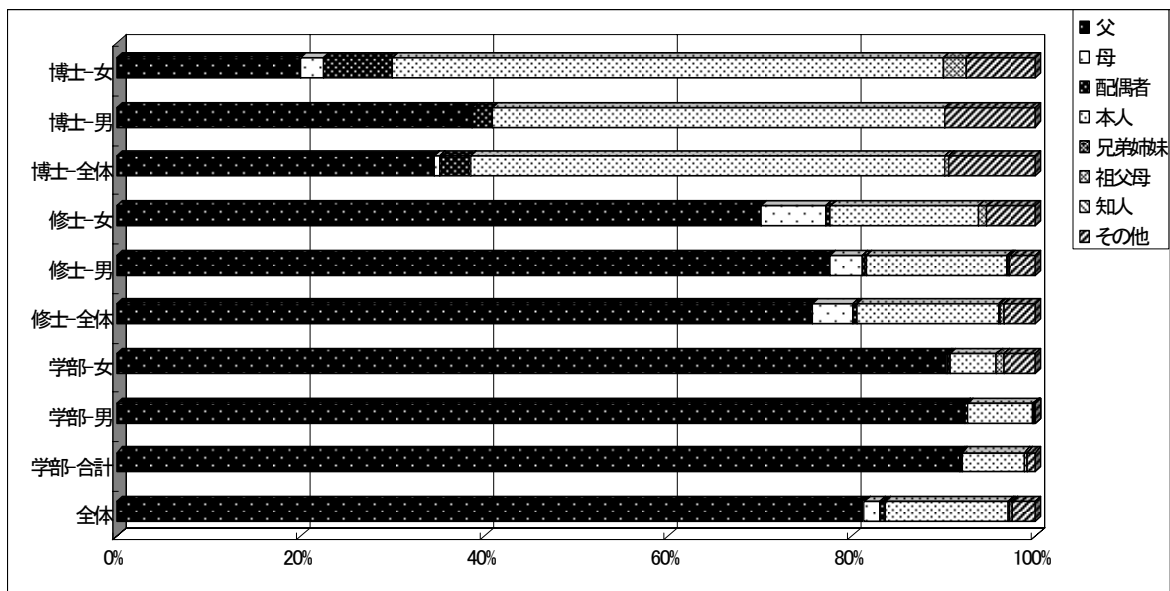
※項目の括弧内は、各項目についての有効回答数



区分 目的・理由	全体			学部			修士			博士		
	全体	男	女	全体	男	女	全体	男	女	全体	男	女
住居費	30.1%	30.1%	30.0%	28.0%	29.1%	27.0%	29.6%	31.0%	28.2%	32.5%	30.3%	34.8%
食費	35.3%	35.4%	35.1%	34.3%	34.6%	34.0%	35.3%	34.6%	35.9%	36.3%	37.1%	35.4%
光熱費	7.7%	7.6%	7.9%	7.3%	7.3%	7.3%	7.1%	6.8%	7.3%	8.9%	8.7%	9.0%
研究・勉学・書籍費	7.2%	8.2%	6.2%	6.9%	6.9%	7.0%	7.7%	8.0%	7.4%	6.9%	9.6%	4.3%
通学費	6.7%	6.5%	6.8%	7.5%	7.1%	7.9%	7.1%	6.8%	7.4%	5.4%	5.6%	5.2%
その他	13.1%	12.2%	13.9%	15.9%	14.9%	16.8%	13.3%	12.9%	13.7%	10.0%	8.8%	11.2%

## 10. 授業料の主たる支払い者

授業料の主たる支払い者は、全体では父親が81.4%、母親が1.7%、本人が13.5%で、これまでの調査と変わらず父親が圧倒的多数を占める。本人による負担の比率については前前年度、前年度と比べ増加傾向にある。本人負担は、学部では10%以下、修士では15%前後であるが、博士課程になると半数を占め、父親負担の3割強を大幅に上回る。博士課程女子については、配偶者による負担が全体の7.5%である。

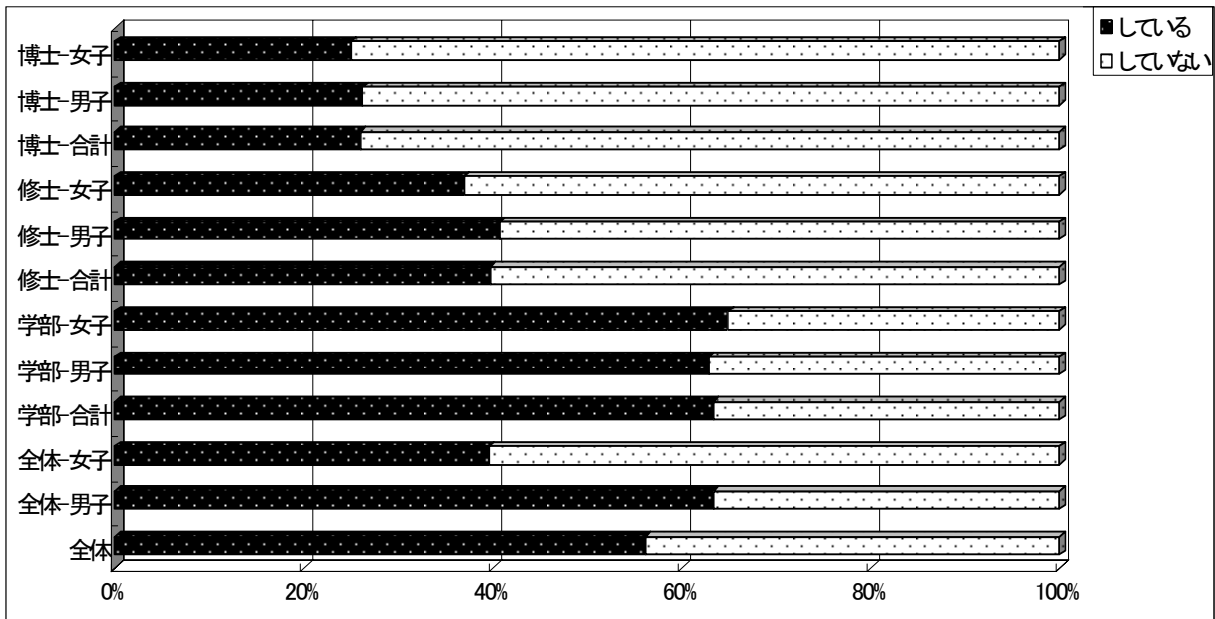


有効回答数 ; 3747

区分	父	母	配偶者	本人	兄弟姉妹	祖父母	知人	その他	
全体	81.4%	1.7%	0.6%	13.5%	0.1%	0.3%	0.0%	2.5%	
学部	合計	91.8%	0.1%	0.2%	6.6%	0.1%	0.2%	0.0%	0.9%
	男	92.3%	0.1%	0.2%	7.2%	0.1%	0.1%	0.0%	0.1%
	女	90.2%	0.2%	0.3%	5.1%	0.0%	0.8%	0.0%	3.4%
修士	合計	75.8%	4.4%	0.5%	15.5%	0.1%	0.4%	0.0%	3.4%
	男	77.7%	3.4%	0.5%	15.2%	0.2%	0.2%	0.0%	2.8%
	女	70.1%	7.1%	0.5%	16.1%	0.0%	0.9%	0.0%	5.2%
博士	合計	34.6%	0.5%	3.3%	51.6%	0.0%	0.5%	0.0%	9.3%
	男	38.7%	0.0%	2.1%	49.3%	0.0%	0.0%	0.0%	9.9%
	女	20.0%	2.5%	7.5%	60.0%	0.0%	2.5%	0.0%	7.5%

## 11. アルバイト

アルバイトをしている学生は学部では63.4%、修士では39.7%、博士では26%と明確な減少傾向を示す。いずれの場合も、男女に差がないのが特徴といえる。

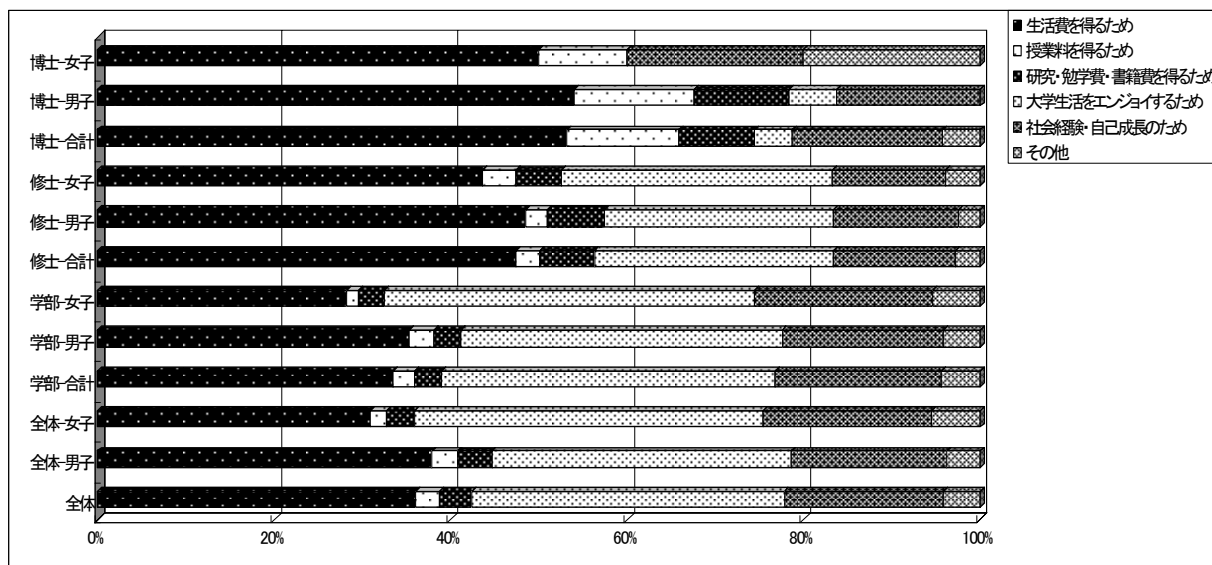


有効回答数 ; 3759

区分		している	していない
全体	合計	56.1%	43.9%
	男	63.3%	36.7%
	女	39.6%	60.4%
学部	合計	63.4%	36.6%
	男	62.8%	37.2%
	女	64.9%	35.1%
修士	合計	39.7%	60.3%
	男	40.7%	59.3%
	女	36.9%	63.1%
博士	合計	26.0%	74.0%
	男	26.2%	73.8%
	女	25.0%	75.0%

## 1.2. アルバイトの目的・理由

アルバイトの主たる目的・理由では全体を通して「生活費を得るため」が高い割合を占める（学部33.5%、修士47.4%、博士53.2%）が、それ以外は学部、修士、博士による違いが顕著に表れた。学部では40%弱を占めている「大学生活をエンジョイするため」が、博士ではわずか4.3%となる。また「授業料を得るため」は学部では2.4%ほどなのに対し博士では12.8%を占め、「授業料の主たる支払い者」の質問への回答を反映する。

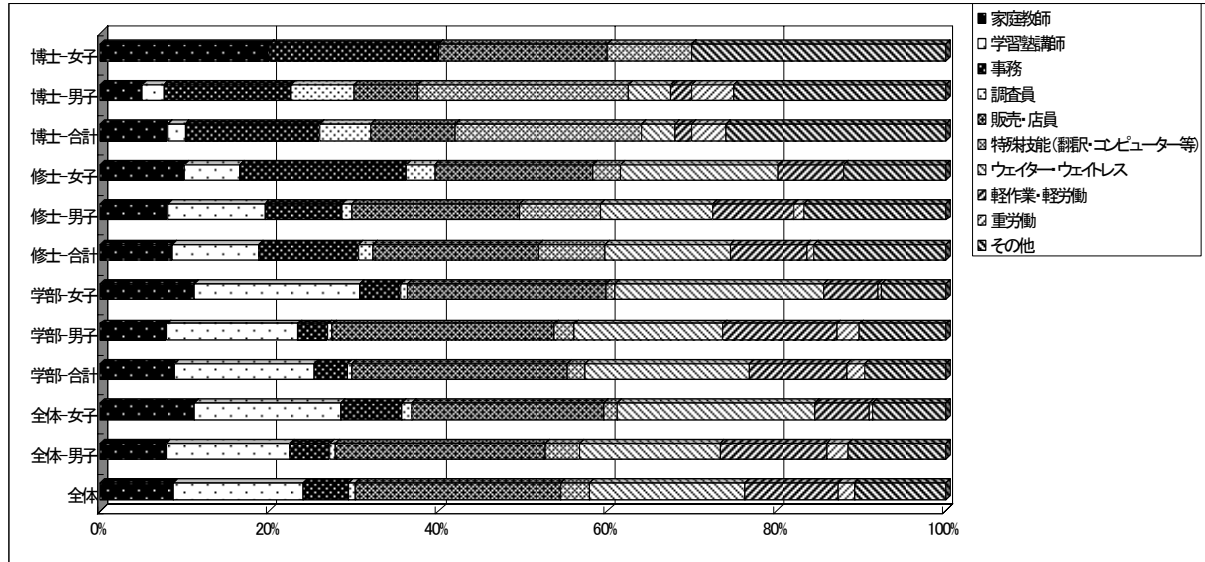


有効回答数 ; 2084

区分	全体			学部			修士			博士		
	全体	男	女	全体	男	女	全体	男	女	全体	男	女
生活費を得るため	36.1%	37.9%	30.9%	33.5%	35.3%	28.3%	47.4%	48.6%	43.6%	53.2%	54.1%	50.0%
授業料を得るため	2.7%	2.9%	1.9%	2.4%	2.7%	1.3%	2.8%	2.4%	3.8%	12.8%	13.5%	10.0%
研究・勉学費・書籍費を得るため	3.7%	3.8%	3.2%	3.1%	3.1%	2.9%	6.2%	6.5%	5.1%	8.5%	10.8%	0.0%
大学生活をエンジョイするため	35.4%	34.0%	39.5%	37.8%	36.4%	41.9%	27.1%	25.9%	30.8%	4.3%	5.4%	0.0%
社会経験・自己成長のため	18.0%	17.6%	19.1%	18.8%	18.3%	20.2%	13.8%	14.2%	12.8%	17.0%	16.2%	20.0%
その他	4.2%	3.7%	5.4%	4.4%	4.1%	5.4%	2.8%	2.4%	3.8%	4.3%	0.0%	20.0%

### 13. アルバイトの職種

「販売・店員」の占める割合が、博士課程男子については落ち込むものの全体を通して一定の割合を保ち（全体の二割強）、最も多い。次いで、「ウェ이터・ウェイトレス」、「学習塾教師」が他を引き離して多数を占める。また、博士課程になると、「特殊技能（翻訳・コンピューター等）」の占める割合が高くなる。全体として、男女の間に大きな差はない。

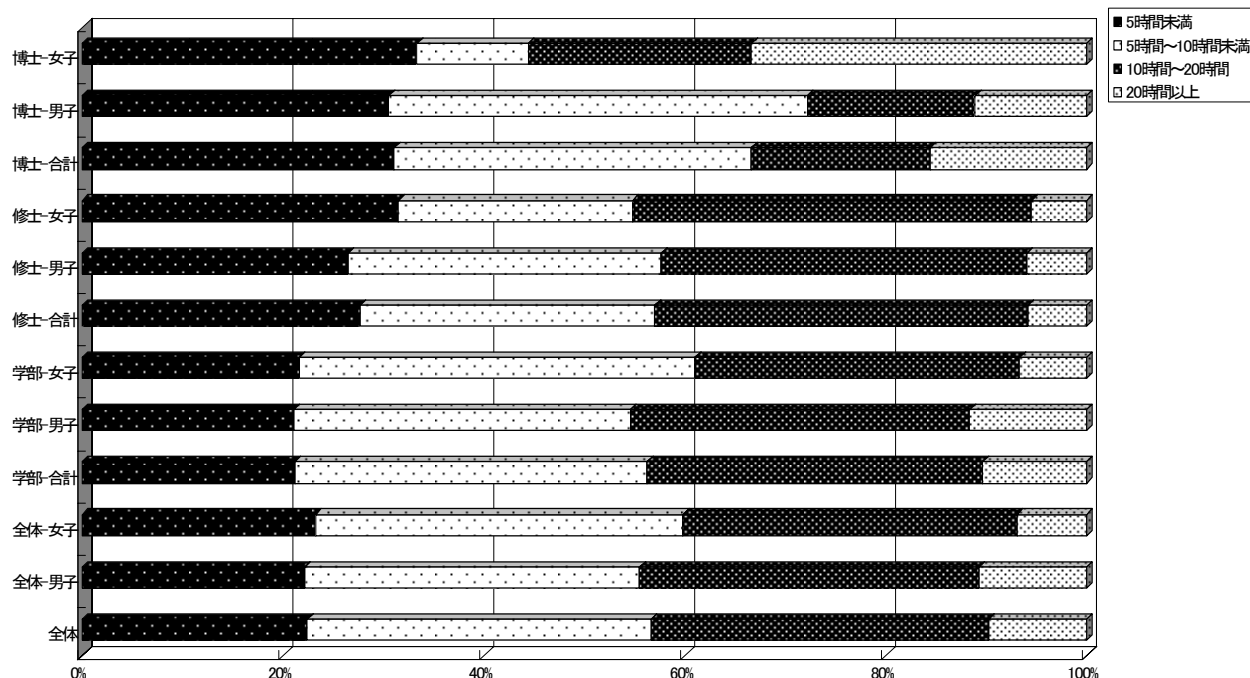


有効回答数；1647人

区分 目的・理由	全体			学部			修士			博士		
	全体	男	女	全体	男	女	全体	男	女	全体	男	女
家庭教師	8.7%	7.8%	11.1%	8.7%	7.8%	11.2%	8.5%	8.0%	9.9%	8.0%	5.0%	20.0%
学習塾講師	15.3%	14.6%	17.3%	16.6%	15.5%	19.6%	10.2%	11.5%	6.6%	2.0%	2.5%	0.0%
事務	5.4%	4.7%	7.3%	3.9%	3.6%	4.8%	11.9%	9.2%	19.8%	16.0%	15.0%	20.0%
調査員	0.8%	0.7%	1.2%	0.5%	0.4%	0.8%	1.7%	1.1%	3.3%	6.0%	7.5%	0.0%
販売・店員	24.3%	24.9%	22.8%	25.6%	26.3%	23.6%	19.5%	19.8%	18.7%	10.0%	7.5%	20.0%
特殊技能(翻訳・コンピューター等)	3.3%	4.0%	1.5%	2.0%	2.4%	1.0%	7.9%	9.5%	3.3%	22.0%	25.0%	10.0%
ウェ이터・ウェイトレス	18.4%	16.7%	23.4%	19.5%	17.6%	24.8%	14.7%	13.4%	18.7%	4.0%	5.0%	0.0%
軽作業・軽労働	11.0%	12.6%	6.5%	11.6%	13.5%	6.4%	9.1%	9.5%	7.7%	2.0%	2.5%	0.0%
重労働	2.0%	2.5%	0.3%	2.1%	2.7%	0.4%	0.8%	1.1%	0.0%	4.0%	5.0%	0.0%
その他	10.8%	11.5%	8.6%	9.5%	10.2%	7.6%	15.6%	16.8%	12.1%	26.0%	25.0%	30.0%

### 1.4. アルバイトに従事している時間

学部、修士については「5時間未満」、「5時間～10時間未満」、「10時間～20時間未満」がいずれもばらつきなく2-3割を占めているのが特徴的である。博士については、「5時間未満」が増え研究への従事時間の増加がうかがえる反面、「20時間以上」が増加していた。



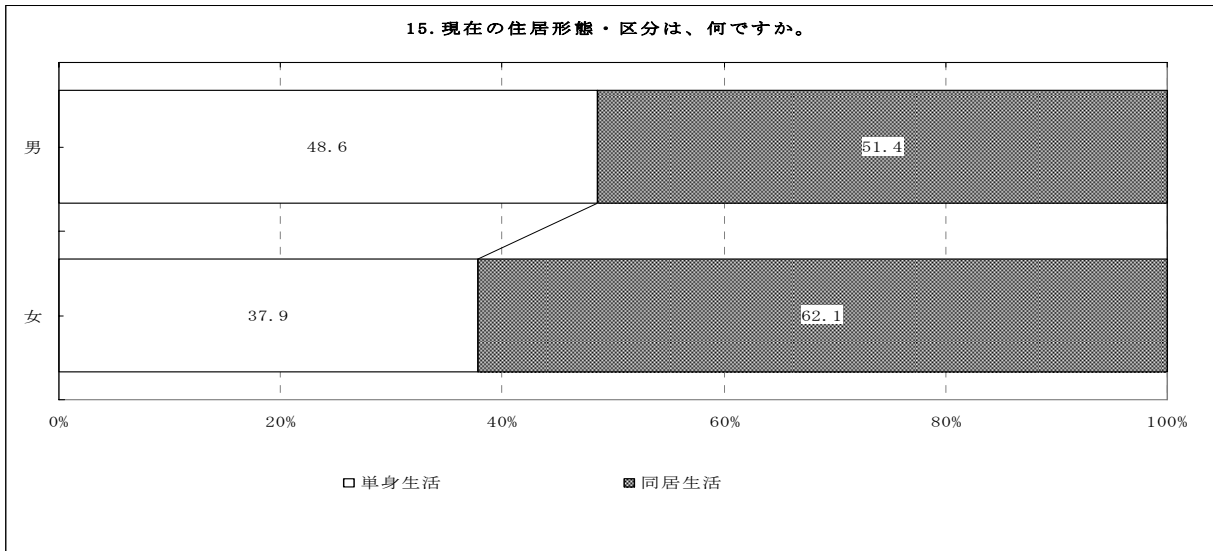
区分	全体			学部			修士			博士		
	全体	男	女	全体	男	女	全体	男	女	全体	男	女
5時間未満	22.4 %	22.2 %	23.3 %	21.2 %	21.1 %	21.6 %	27.7 %	26.5 %	31.5 %	31.1 %	30.6 %	33.3 %
5時間～10時間未満	34.2 %	33.4 %	36.6 %	35.1 %	33.5 %	39.4 %	29.3 %	31.2 %	23.3 %	35.6 %	41.7 %	11.1 %
10時間～20時間	33.6 %	33.8 %	33.2 %	33.4 %	33.8 %	32.3 %	37.1 %	36.3 %	39.7 %	17.8 %	16.7 %	22.2 %
20時間以上	9.8 %	10.7 %	7.0 %	10.3 %	11.6 %	6.7 %	5.9 %	6.0 %	5.5 %	15.6 %	11.1 %	33.3 %



# 第Ⅲ章 住 居

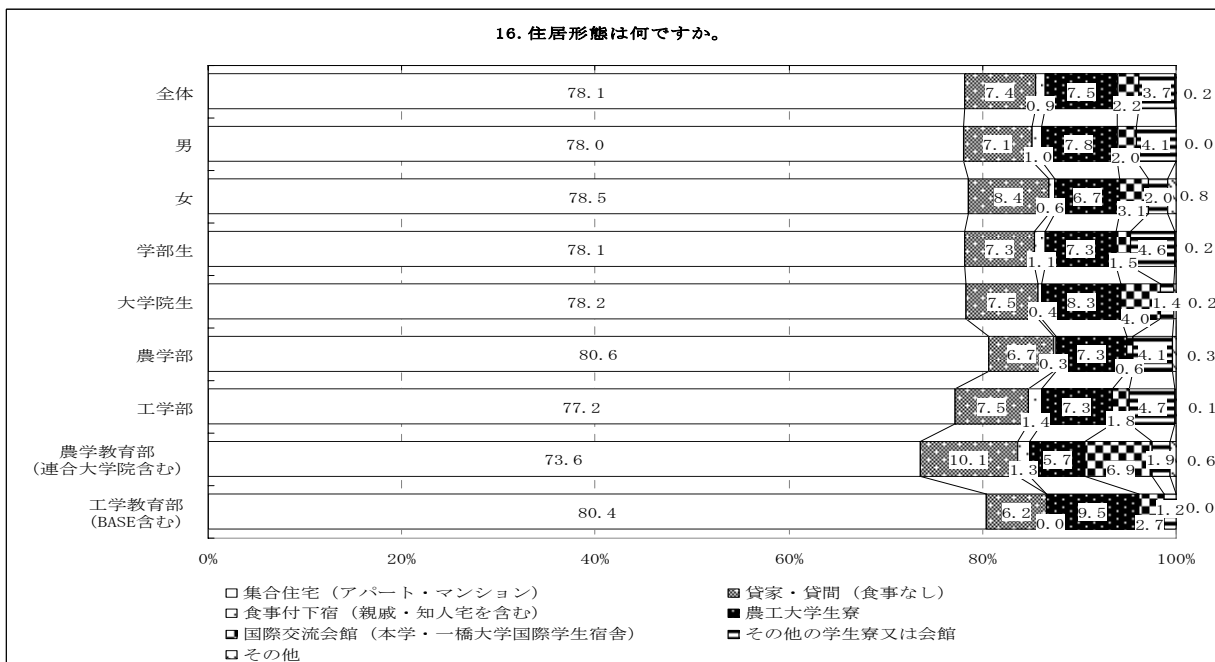
## 15. 現在の住居形態・区分

男子学生の48.6%、女子学生の37.9%が単身で生活しており、残りが同居生活である。割合の変動はあまりない。



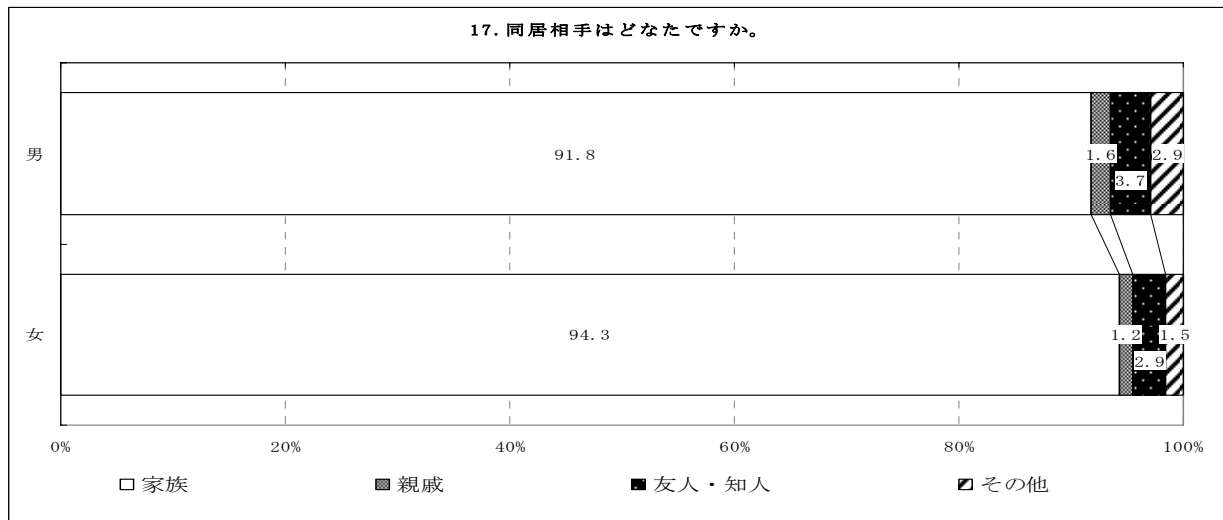
## 16. 住居形態

単身生活の学生の住居形態は、集合住宅が78.1%で、次いで、農工大学生寮が7.5%、貸家・貸間（食事なし）が7.4%である。学部等の所属による差は少ない。



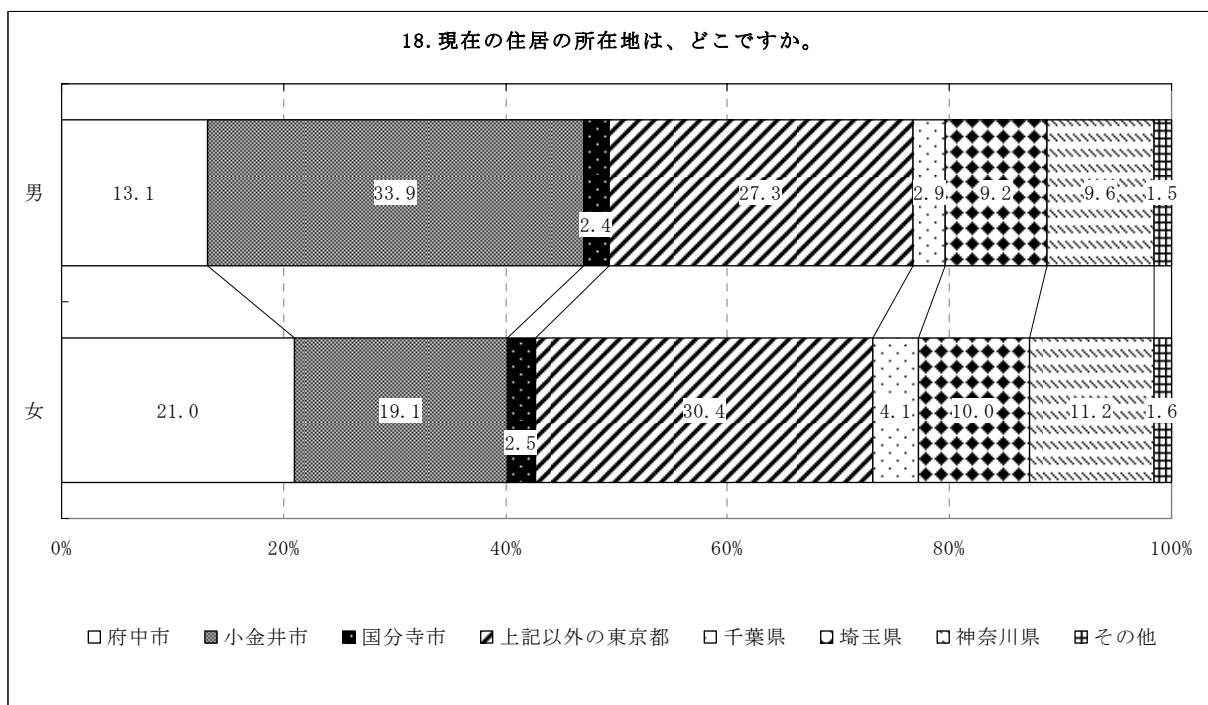
### 17. 同居相手

同居学生の同居相手は、家族がほとんどであり、他はわずかである。



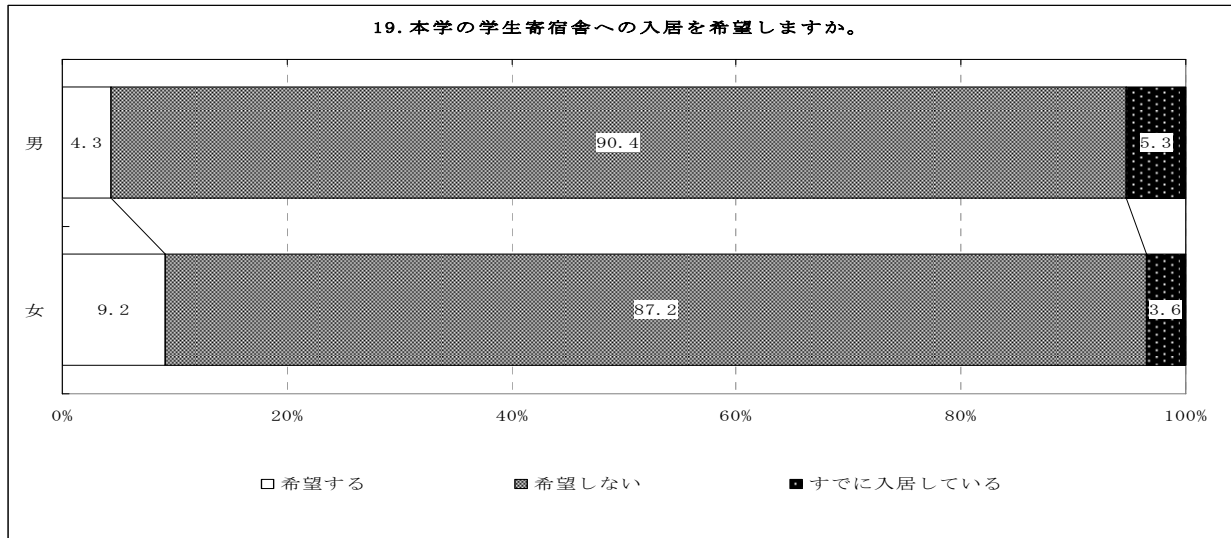
### 18. 住居所在地

全体の47.3%の学生が、地元の府中・小金井・国分寺市内に居住している。これを含め、都内に居住する学生は、男子が76.7%、女子が73%である。比較的遠距離通学になる隣接県の居住割合は、女子が男子よりやや高く、以上の傾向は例年と変わらない。



## 19. 本学の学生寄宿舍（国際交流会館を除く）への入居希望

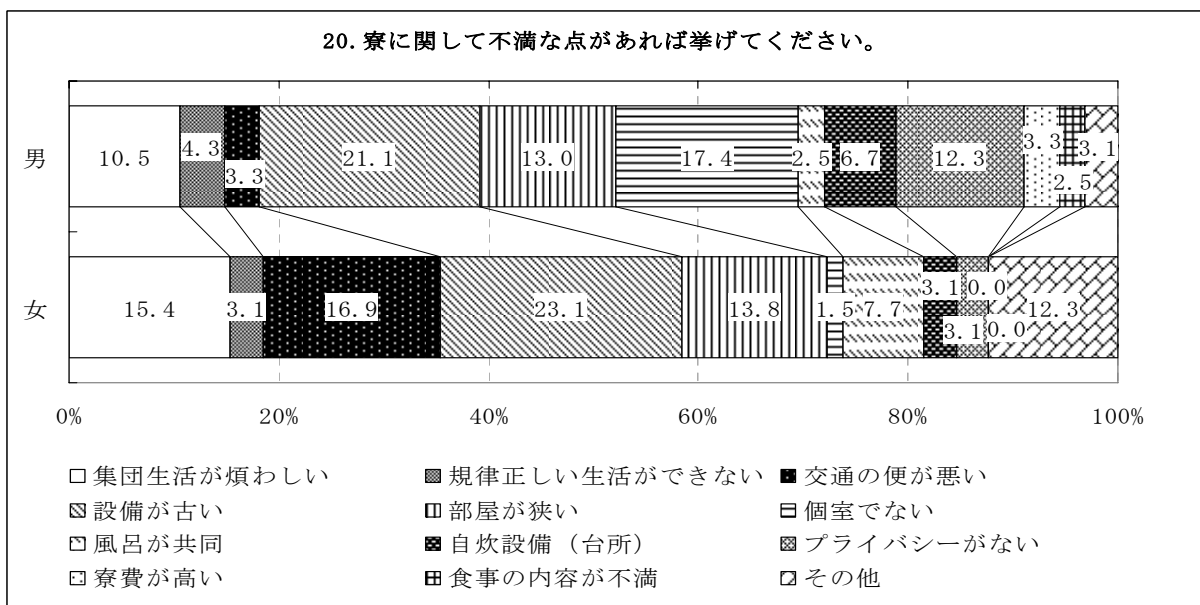
学生寄宿舍への入居率は、男子が約5.3%、女子が約3.6%であり、男子の入居率の落ち込みが目立つ（前回8.1%）。入寮を希望する学生は、女子が9.2%、男子が4.3%であり、女子が約2倍である。入寮を希望しない学生は、全体で約90%である。



## 20. 学寮の満足度

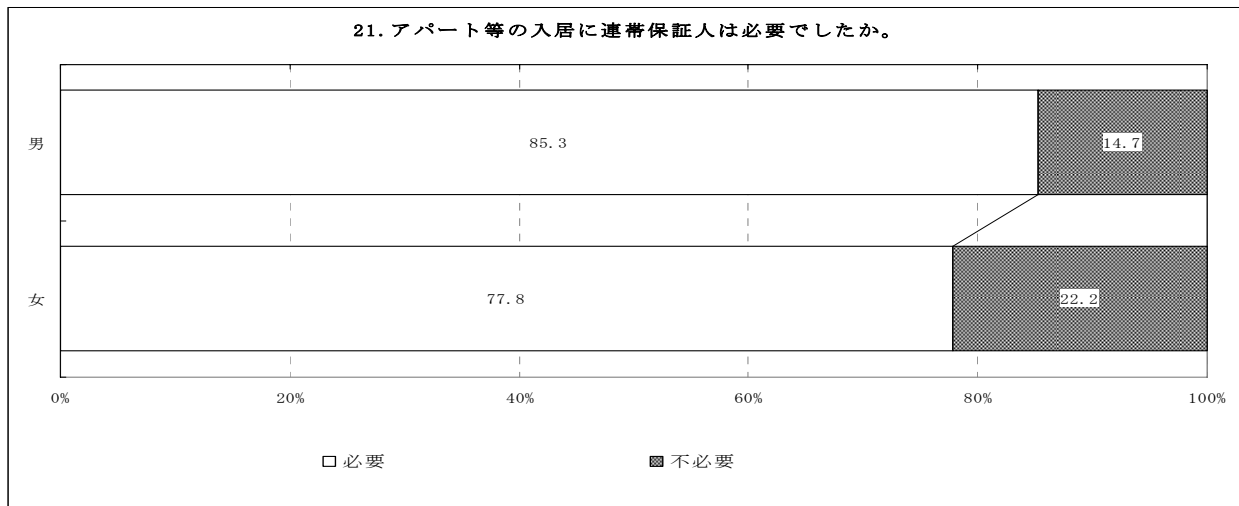
現在、学寮に入居している学生の不満な点は、男子では「設備が古い」が21.1%、「個室でない」が17.4%、「部屋が狭い」が13.0%であり、「プライバシーがない」、「集団生活が煩わしい」も約10.0%以上である。女子では「設備が古い」と「交通の便が悪い」を合わせて40%であり、次いで「集団生活が煩わしい」が15.4%、「部屋が狭い」が13.8%である。不満の多寡は、男子寮が4人部屋、女子寮が個室という構造の違いによるものであろう。

また、小金井キャンパス所属の女子学生から、小金井キャンパスに学寮が欲しいとの要望が出されているように見受けられる。



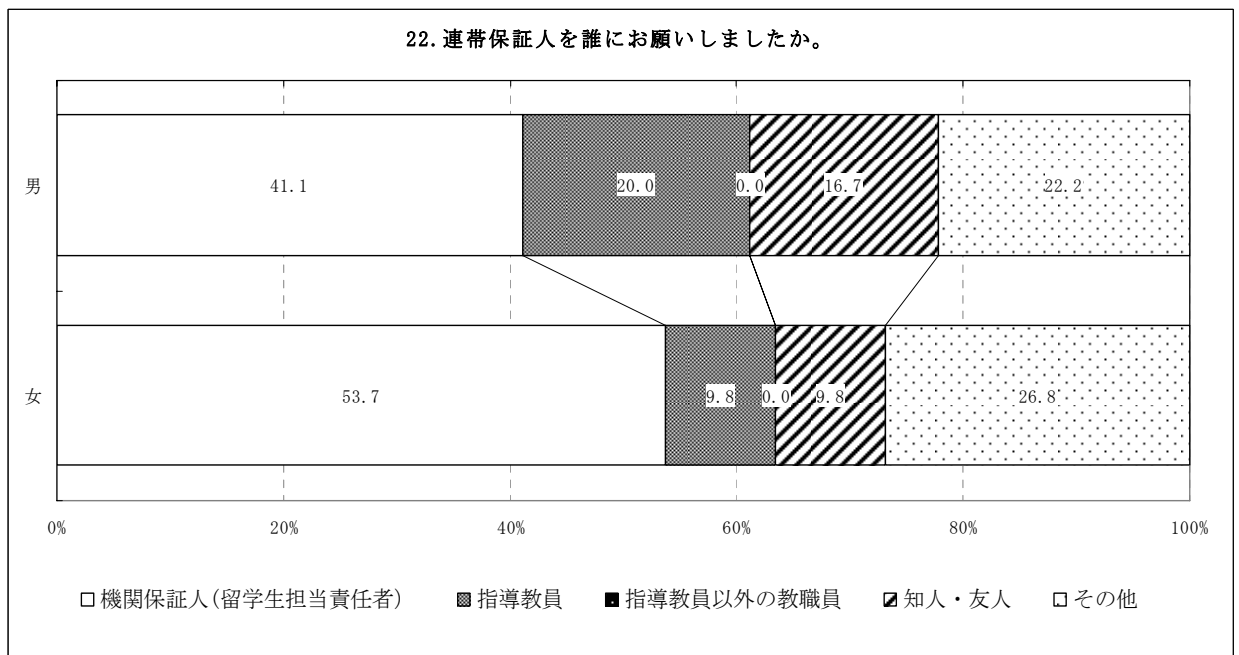
## 2 1. 連帯保証人の必要性

外国人留学生がアパート等に入居するに際して、連帯保証人が必要であったのは、男子が85.3%、女子が77.8%であり、例年と変わらず割合が高い。



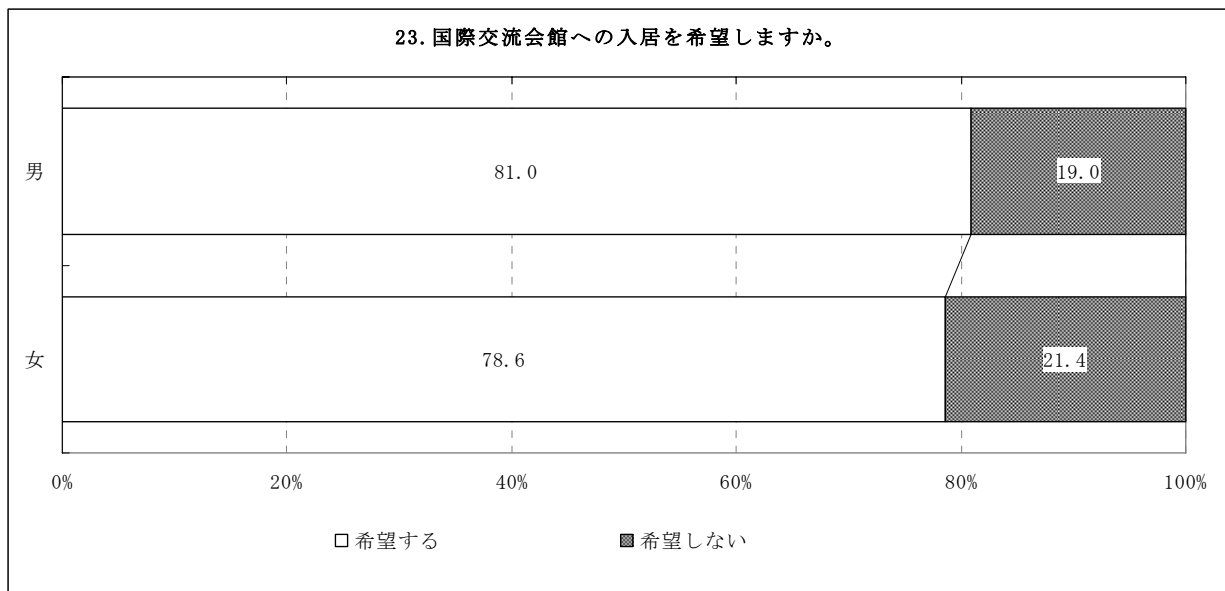
## 2 2. 連帯保証人

連帯保証人が必要とされる場合に誰に依頼したか、という設問には、機関保証人（留学生担当責任者）が半分の割合であった。機関保証人の制度が始まった前回から指導教員の負担がさらに軽減されている。



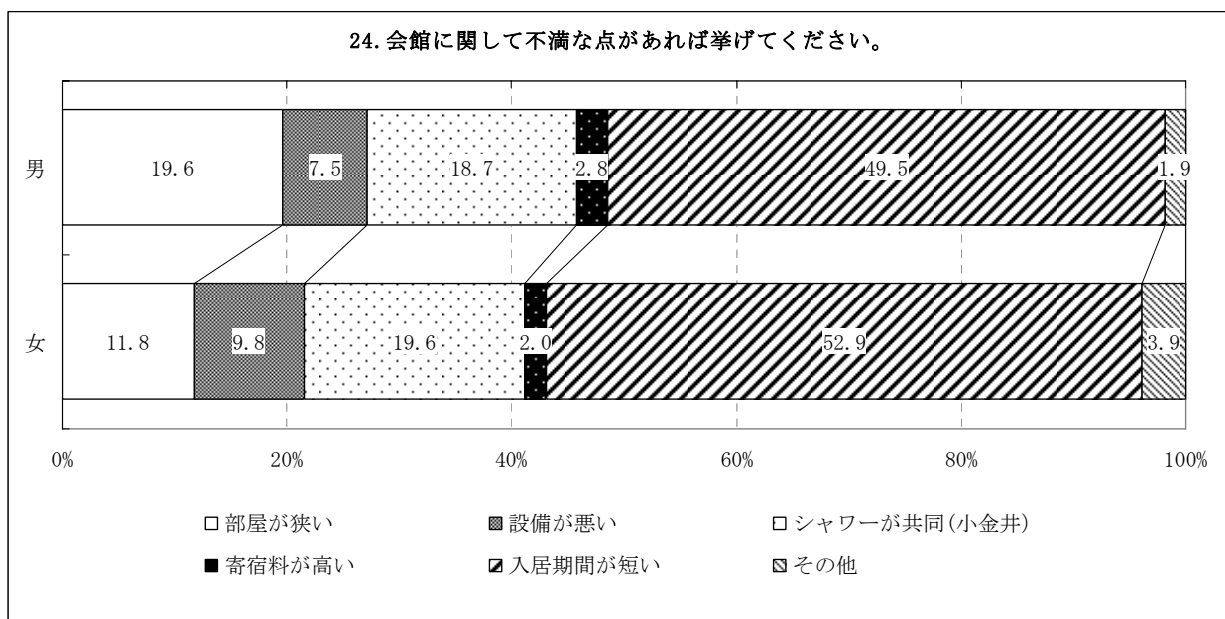
### 23. 国際交流会館への入居を希望しますか。

外国人留学生の中で国際交流会館への入居を希望する割合は80%に達する。



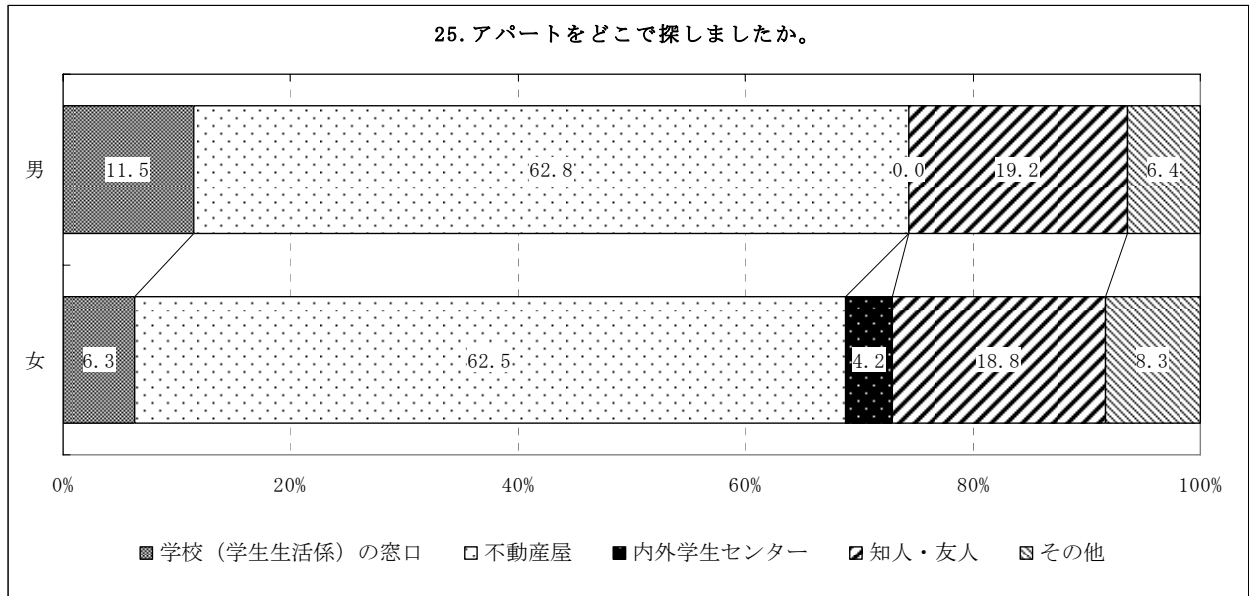
### 24. 国際交流会館の満足度

国際交流会館に入居している又は入居したことのある留学生が、会館に関してもっている不満な点は、「入居期間が短い」点が一番多く、次いで「シャワーが共同（小金井）」、「部屋が狭い」点であった。



## 25. アパートへの入居

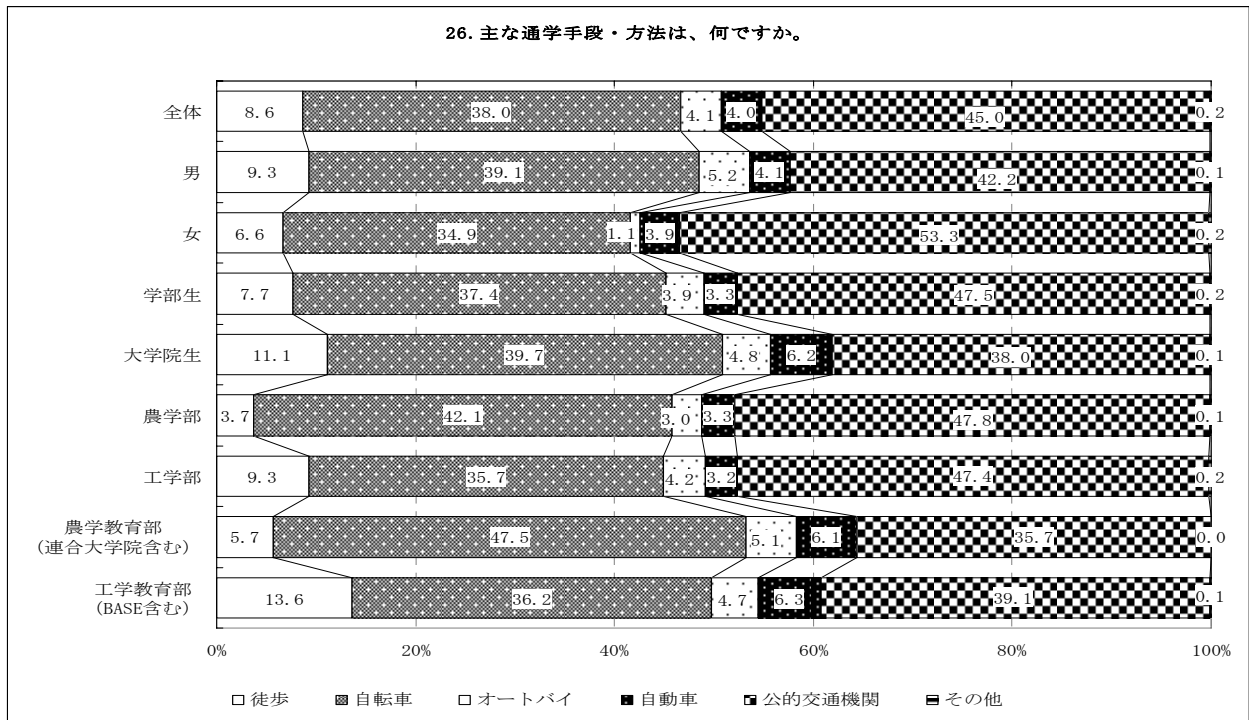
外国人留学生がアパートをどこで探したか、という設問には、「不動産屋」と「知人・友人」が多く、「学校（学生生活係）の窓口」の活用も増えている。



## 第IV章 通 学

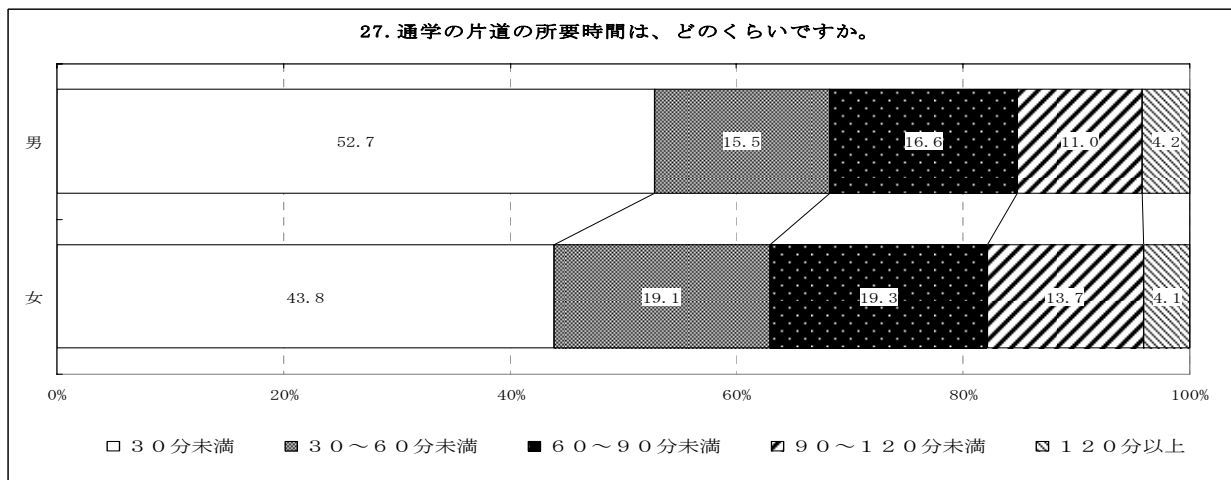
### 26. 通学手段・方法

学生の主な通学手段・方法は、公共交通機関が44.8%、自転車が37.9%、徒歩が8.6%であり、自動車は4.0%、オートバイは4.1%と少ない。この傾向は、前回の調査とほぼ同様である。



### 27. 通学に要する時間

通学に要する時間は、30分未満が50.2%、30～60分未満が16.3%であり、66.5%の学生が1時間未満で通学している。通学に1時間以上を要する学生は33.5%であり、そのうち1.5時間以上を要するものは15.7%である。



## 第V章 学 業

### 28. 本学の名前をどのようにして知ったか（複数回答）

入学の前に本学の名前を知ったのは、大学全体で、「大学案内（本）」が43.3%と最も多く、次いで「受験情報誌」が33.3%、「予備校」19.2%、「中学・高校の教師」17.2%、「知人・友人」16.6%、「大学案内（インターネット）」16.4%、そして「家族・親戚」12.5%などと続いている。前回と比較すると、「大学案内（インターネット）」が8%から約2倍に、また「大学案内（本）」についても26.5%から5割程度増えており、本学からの情報発信が受験生によく届くようになっている。男女別では、ほとんどの項目で大きな違いはないものの、男子学生のほうが「大学学部説明会」から情報を得ている割合が多く、女子学生の方が「家族・親戚」から情報を得ている割合が多い。学部別では、農学部が工学部より、「大学案内（本）」、「受験情報誌」、「大学学部説明会」、「家族・親戚」で多いが、「大学案内（インターネット）」、「中学・高校の教師」、「知人・友人」では工学部の方が多い。大学院生は学部生と比較すると、「知人・友人」や「その他」で情報を得ている割合が多い。

上段：人  
下段：%

28. 志望を決める前に本学の名前を何で知りましたか。

	合計	大学案内 (本)	大学案内 (インター ネット)	受験情報誌	新聞・雑 誌・T V	大学学 部 説明会	中 学 ・ 高 校 の 教 師	予 備 校 (教 師 ・ パ ン フ レ ッ ト 等)	家 族 ・ 親 戚	知 人 ・ 友 人	そ の 他
全体	3752	1626	617	1249	80	126	646	722	469	622	161
(%)	100.0	43.3	16.4	33.3	2.1	3.4	17.2	19.2	12.5	16.6	4.3
男	2790	1190	472	923	62	71	485	562	304	440	113
(%)	100.0	42.7	16.9	33.1	2.2	2.5	17.4	20.1	10.9	15.8	4.1
女	949	431	144	324	18	55	158	157	164	179	48
(%)	100.0	45.4	15.2	34.1	1.9	5.8	16.6	16.5	17.3	18.9	5.1
学部生	2733	1243	449	1017	51	103	500	565	357	403	80
(%)	100.0	45.5	16.4	37.2	1.9	3.8	18.3	20.7	13.1	14.7	2.9
大学院生	1007	381	168	232	28	22	142	154	110	218	80
(%)	100.0	37.8	16.7	23.0	2.8	2.2	14.1	15.3	10.9	21.6	7.9
農学部	755	378	100	305	10	43	124	156	111	104	19
(%)	100.0	50.1	13.2	40.4	1.3	5.7	16.4	20.7	14.7	13.8	2.5
工学部	1978	865	349	712	41	60	376	409	246	299	61
(%)	100.0	43.7	17.6	36.0	2.1	3.0	19.0	20.7	12.4	15.1	3.1
工学教育部 ①	697	264	98	170	17	14	119	117	79	138	44
(%)	100.0	37.9	14.1	24.4	2.4	2.0	17.1	16.8	11.3	19.8	6.3
農学教育部 ②	310	117	70	62	11	8	23	37	31	80	36
(%)	100.0	37.7	22.6	20.0	3.5	2.6	7.4	11.9	10.0	25.8	11.6

① 連合大学院を含む（以下50まで同様）

② BASEを含む（以下50まで同様）



## 29. 志望順位

入学した志望順位は、大学全体で「第1志望」が60.6%と圧倒的に多いものの、前回の65.5%と比較して、減少している。男女別にみると、「第1志望」が男子学生の58.9%に比較して、女子学生は65.4%と高いものの、いずれも減少傾向にある。学部別では、「第1志望」が農学部で78.9%と前回より微増であるのに対し、工学部では51.8%で前回より2ポイント減少している。一方、大学院では工学教育部で「第1志望」が前回の65.9%から81.3%へと激増しているのに対して、農学教育部では79.2%から56.3%と激減している。

29. 入学した志望順位は何でしたか。

上段：人

下段：%

	合計	第1志望	第2志望	第3志望以下	特になし
全体	3742	2267	796	431	248
(%)	100.0	60.6	21.3	11.5	6.6
男	2785	1640	601	361	183
(%)	100.0	58.9	21.6	13.0	6.6
女	945	618	194	69	64
(%)	100.0	65.4	20.5	7.3	6.8
学部生	2728	1618	622	329	159
(%)	100.0	59.3	22.8	12.1	5.8
大学院生	1003	642	173	100	88
(%)	100.0	64.0	17.2	10.0	8.8
農学部	754	595	120	19	20
(%)	100.0	78.9	15.9	2.5	2.7
工学部	1974	1023	502	310	139
(%)	100.0	51.8	25.4	15.7	7.0
工学教育部	693	390	144	94	65
(%)	100.0	56.3	20.8	13.6	9.4
農学教育部	310	252	29	6	23
(%)	100.0	81.3	9.4	1.9	7.4

### 30. 志望動機（複数回答）

志望を決めた動機は、大学全体で「自分で決めた」が89.2%と圧倒的に多く、前回一端75.2%まで減少したものの、ほぼ前々回の91.7%と並ぶ水準まで回復している。ほぼすべての項目で値が増加しており、複数回答が増えていることが原因と考えられる。男女別では、女子学生が男子学生より「家族・親戚の薦め」が著しく多い。学部別では、工学部で農学部より「教師等の薦め」と「その他」が目立って多い。

上段：人

30. 志望を決めた動機は何でしたか。

下段：%

	自分で決めた	家族・親戚の薦め	教師等の薦め	友人・知人の薦め	その他
全体	3348	439	512	144	227
(%)	89.2	11.7	13.6	3.8	6.0
男	2475	277	368	113	198
(%)	88.6	9.9	13.2	4.0	7.1
女	863	162	142	30	28
(%)	91.0	17.1	15.0	3.2	3.0
学部生	2465	327	365	95	169
(%)	90.1	12.0	13.3	3.5	6.2
大学院生	874	112	145	49	57
(%)	86.8	11.1	14.4	4.9	5.7
農学部	722	81	66	22	20
(%)	95.5	10.7	8.7	2.9	2.6
工学部	1743	246	299	73	149
(%)	88.1	12.4	15.1	3.7	7.5
工学教育部	595	88	97	38	45
(%)	85.7	12.7	14.0	5.5	6.5
農学教育部	279	24	48	11	12
(%)	89.1	7.7	15.3	3.5	3.8

### 3 1. 基本理念の周知状況

今回初めて加えられた本項目であるが、全体で基本理念を「知っている」が14.5%、「見聞きした覚えはある」が21.1%と、基本理念は十分には周知されていない。男女別や学部別では大きな違いはないものの、大学院生は学部生と比較して、「知っている」が17.2%と多い。

31.基本理念を知っていますか。 上段：人  
下段：%

	知っている	知らなかったが、見聞きした覚えはある	全く知らなかった
全体	542	791	2409
(%)	14.5	21.1	64.4
男	429	576	1780
(%)	15.4	20.7	63.9
女	112	213	620
(%)	11.9	22.5	65.6
学部生	364	565	1793
(%)	13.4	20.8	65.9
大学院生	174	226	609
(%)	17.2	22.4	60.4
農学部	108	165	481
(%)	14.3	21.9	63.8
工学部	256	400	1312
(%)	13.0	20.3	66.7
工学教育部	121	158	417
(%)	17.4	22.7	59.9
農学教育部	53	68	192
(%)	16.9	21.7	61.3

### 3 2. 入学者受入方針の周知状況

今回初めて加えられた本項目であるが、全体で入学者受入方針を「知っている」が10.4%、「見聞きした覚えはある」が16.2%と、基本理念よりさらに不十分にしか入学者受入方針は周知されていない。男女別や学部別では大きな違いはないものの、工学教育部院生は他と比較して、「知っている」が19.0%と多い。

上段：人

32. 入学者受入方針を受験する際に知っていましたか。

下段：%

	知っている	知らなかったが、見聞きした覚えはある	全く知らなかった
全体	388	604	2740
(%)	10.4	16.2	73.4
男	267	431	2083
(%)	9.6	15.5	74.9
女	119	172	648
(%)	12.7	18.3	69.0
学部生	293	466	1957
(%)	10.8	17.2	72.1
大学院生	93	136	776
(%)	9.3	13.5	77.2
農学部	95	142	512
(%)	12.7	19.0	68.4
工学部	198	324	1445
(%)	10.1	16.5	73.5
工学教育部	34	89	572
(%)	4.9	12.8	82.3
農学教育部	59	47	204
(%)	19.0	15.2	65.8

### 3.3. 本学を選択した理由（複数回答）

前回まで本学を志望した理由という項目が設定されていたが、今回より「30 志望動機」との区別を明確にするために「選択した理由」へと変更した。あわせて、選択肢を見直し、複数の選択肢を付け加えている。全体では新たに加わった「授業料」が40.5%で最も多く、次いで「大学環境・雰囲気」、「地理的条件」、「成績」などが30%台後半で並んでいる。後者3項目については前回も同様に高かった項目であるが、今回はさらに割合が増えている。

上段：人

下段：%

#### 33. 本学を選択した理由は何でしたか。

	基本理念	入学者受入方針	大学環境・雰囲気	優れた教員	教育	研究	社会的評価	地理的条件	就職の条件	授業料	成績	その他
全体	94	169	1380	314	629	1454	631	1490	383	1521	1388	337
(%)	2.5	4.5	36.7	8.4	16.7	38.7	16.8	39.6	10.2	40.5	36.9	9.0
男	78	125	907	240	413	1002	485	1058	304	1085	1061	263
(%)	2.8	4.5	32.4	8.6	14.8	35.8	17.3	37.8	10.9	38.8	37.9	9.4
女	16	42	470	72	212	446	144	427	77	431	324	72
(%)	1.7	4.4	49.5	7.6	22.3	47.0	15.2	45.0	8.1	45.4	34.1	7.6
学部生	68	122	1039	176	458	986	501	1110	327	1177	1117	254
(%)	2.5	4.5	38.0	6.4	16.7	36.1	18.3	40.6	12.0	43.0	40.8	9.3
大学院生	25	46	339	136	169	462	127	379	55	341	268	82
(%)	2.5	4.5	33.5	13.4	16.7	45.6	12.5	37.4	5.4	33.7	26.5	8.1
農学部	24	45	358	49	214	313	108	358	58	330	242	70
(%)	3.2	6.0	47.4	6.5	28.3	41.5	14.3	47.4	7.7	43.7	32.1	9.3
工学部	44	77	681	127	244	673	393	752	269	847	875	184
(%)	2.2	3.9	34.4	6.4	12.3	34.0	19.8	38.0	13.6	42.8	44.2	9.3
工学教育部	14	28	209	67	90	274	93	271	43	244	221	57
(%)	2.0	4.0	29.9	9.6	12.9	39.2	13.3	38.8	6.2	34.9	31.6	8.2
農学教育部	11	18	130	69	79	188	34	108	12	97	47	25
(%)	3.5	5.7	41.4	22.0	25.2	59.9	10.8	34.4	3.8	30.9	15.0	8.0

### 3 4. 本学への満足度

本学に入学した満足度は、大学全体で「満足」及び「ほぼ満足」と回答した者が79.1%と高く、この傾向は前回とほとんど変わっていない。男女別では女性の満足度が高く、学部大学院の別では大学院生の満足度が高い。学部別では工学部の方が農学部よりも不満が多くなっている。これらの傾向も前回と同様である。

34. 本学に入学して満足していますか。

上段：人

下段：%

	満足している	ほぼ満足している	やや不満である	不満である
全体	1164	1798	608	177
(%)	31.1	48.0	16.2	4.7
男	809	1315	501	163
(%)	29.0	47.2	18.0	5.8
女	349	479	105	14
(%)	36.9	50.6	11.1	1.5
学部生	782	1310	482	151
(%)	28.7	48.1	17.7	5.5
大学院生	377	484	125	25
(%)	37.3	47.9	12.4	2.5
農学部	270	366	98	20
(%)	35.8	48.5	13.0	2.7
工学部	512	944	384	131
(%)	26.0	47.9	19.5	6.6
工学教育部	221	360	98	19
(%)	31.7	51.6	14.0	2.7
農学教育部	156	124	27	6
(%)	49.8	39.6	8.6	1.9

### 35. 新入生オリエンテーションへの満足度

今回より新たに加わった項目である。大学全体としては、「満足」＋「ほぼ満足」で64.9%である。男女別では、女子学生の方が男子学生よりも「満足」＋「ほぼ満足」の割合が高く、学部生と大学院生ではその割合に大きな違いはない。工学部では農学部と比較して著しく「満足」＋「ほぼ満足」の割合が低く（15ポイント以上の差）、同様の傾向が農学教育部と工学教育部の間にも見られる。

35. 新入生オリエンテーションに満足していますか。 上段：人  
下段：%

	満足している	ほぼ満足している	やや不満である	不満である
全体	670	1771	853	354
(%)	18.4	48.5	23.4	9.7
男	485	1235	683	311
(%)	17.9	45.5	25.2	11.5
女	182	531	167	43
(%)	19.7	57.5	18.1	4.7
学部生	440	1315	658	266
(%)	16.4	49.1	24.6	9.9
大学院生	226	453	193	87
(%)	23.6	47.2	20.1	9.1
農学部	149	424	140	29
(%)	20.1	57.1	18.9	3.9
工学部	291	891	518	237
(%)	15.0	46.0	26.7	12.2
工学教育部	120	311	159	76
(%)	18.0	46.7	23.9	11.4
農学教育部	106	142	34	11
(%)	36.2	48.5	11.6	3.8

### 36. 転学部・転学科

転学部・転学科等を考えたことがあるかという問いに対しては、全体で「ある」が15.9%であり、前回の16%とほぼ同じ数字を示している。大学院生に比べて専門が固まっていない学部生において「ある」が多いが、男女別では大きな違いはないなど、前回と類似の傾向を示している。しかし、前回と比べて（8.8%）、工学教育部で著しく「ある」と答えた比率（12.9%）が増加している。

36. 転学部・学科等を考えたことがありますか。

上段：人

下段：%

	ある	ない
全体	594	3138
(%)	15.9	84.1
男	446	2329
(%)	16.1	83.9
女	147	798
(%)	15.6	84.4
学部生	473	2239
(%)	17.4	82.6
大学院生	119	890
(%)	11.8	88.2
農学部	127	625
(%)	16.9	83.1
工学部	346	1614
(%)	17.7	82.3
工学教育部	90	607
(%)	12.9	87.1
農学教育部	29	283
(%)	9.3	90.7



### 37. カリキュラムへの満足度

全体では「満足」＋「ほぼ満足」が55.4%であり、前回の52.8%に比べて、若干の改善傾向が見られる。男女別では女子学生の満足度が高く、学部と大学院では大学院生の満足度が高い。これらは前回と同様である。一方、今回著しく変化したのが、学部別の満足度であり、農学部では「満足」＋「ほぼ満足」が52.4%から48.6%へと減少しているのに対し、工学部では逆に49.2%から55.5%へと増加している。また、農学教育部では同じ数字が59.8%から68.1%へと激増しており、逆に工学教育部でも58.1%から56.5%へと微減している。

37. カリキュラムに満足していますか。 上段：人  
下段：%

	満足している	ほぼ満足している	やや不満である	不満である
全体	526	1541	1311	354
(%)	14.1	41.3	35.1	9.5
男	401	1081	1002	295
(%)	14.4	38.9	36.1	10.6
女	121	458	304	58
(%)	12.9	48.7	32.3	6.2
学部生	331	1126	983	279
(%)	12.2	41.4	36.2	10.3
大学院生	191	412	326	74
(%)	19.0	41.1	32.5	7.4
農学部	67	299	291	96
(%)	8.9	39.7	38.6	12.7
工学部	264	827	692	183
(%)	13.4	42.1	35.2	9.3
工学教育部	116	276	252	49
(%)	16.7	39.8	36.4	7.1
農学教育部	75	136	74	25
(%)	24.2	43.9	23.9	8.1

### 38. 授業時間外学習の状況

今回新たに加わった項目である。全体としては、各時間帯に満遍なく分布しているものの、週6時間未満の割合が56.5%であり、授業時間外学習が十分でない学生が多い。男女別では大きな違いはない。学部生と比べて、大学院生では、両極の割合が高く二極化が進んでいる。農学部が工学部よりも週6時間未満の割合が6.7ポイント高く、逆に農学教育部と工学教育部では工学教育部が10ポイント高い。

38. 授業時間外の学習を週何時間程度行っていますか。

上段：人  
下段：%

	全くや らない	週 2 時 間 未 満	週 2 時 間 か ら 4 時 間	週 4 時 間 か ら 6 時 間	週 6 時 間 か ら 8 時 間	週 8 時 間 か ら 1 0 時 間	週 1 0 時 間 か ら 1 5 時 間	週 1 5 時 間 か ら 2 0 時 間	週 2 0 時 間 以 上
全体	302	601	660	521	461	360	288	137	365
(%)	8.2	16.3	17.9	14.1	12.5	9.7	7.8	3.7	9.9
男	254	468	477	380	314	275	219	96	275
(%)	9.2	17.0	17.3	13.8	11.4	10.0	7.9	3.5	10.0
女	47	133	181	139	144	84	67	41	89
(%)	5.1	14.4	19.6	15.0	15.6	9.1	7.2	4.4	9.6
学部生	200	455	510	405	370	284	228	92	165
(%)	7.4	16.8	18.8	15.0	13.7	10.5	8.4	3.4	6.1
大学院生	101	145	147	116	90	76	60	44	196
(%)	10.4	14.9	15.1	11.9	9.2	7.8	6.2	4.5	20.1
農学部	46	143	163	118	96	63	39	27	53
(%)	6.1	19.1	21.8	15.8	12.8	8.4	5.2	3.6	7.1
工学部	154	312	347	287	274	221	189	65	112
(%)	7.9	15.9	17.7	14.6	14.0	11.3	9.6	3.3	5.7
工学教育部	81	99	108	86	71	58	46	19	106
(%)	12.0	14.7	16.0	12.8	10.5	8.6	6.8	2.8	15.7
農学教育部	20	46	39	30	19	18	14	25	90
(%)	6.6	15.3	13.0	10.0	6.3	6.0	4.7	8.3	29.9

### 39. 授業時間外学習に必要な設備等（複数回答）

今回新たに加わった項目である。全体では、「図書館の開館時間の延長」が67.0%と最多であり、ついで「授業時間外の学習スペース」が44.9%、「利用可能なPCの台数」が29.4%と続いている。男女別では、女子学生がより前記上位三項目の必要性を指摘する比率が高い。学部生と大学院生では、研究室に所属している大学院生の方が上位三項目の必要性を指摘する比率が少なく、一方「無線LANの充実」を唱える比率が高い。農学部と工学部では、農学部の方が上位三項目の必要性を指摘する割合が高い一方で、両教育部ではそれが逆転している。

39. 時間外の学習に必要な施設・設備は何ですか。

上段：人  
下段：%

	図書館の開館時間の延長	授業時間外の学習スペース	利用可能なPCの台数	無線LANの充実	学習課題の提示	特に不足はない	その他
全体	2512	1683	1101	695	360	388	122
(%)	67.0	44.9	29.4	18.5	9.6	10.4	3.3
男	1837	1188	778	517	288	311	92
(%)	65.9	42.6	27.9	18.6	10.3	11.2	3.3
女	666	491	320	178	71	76	30
(%)	70.3	51.8	33.8	18.8	7.5	8.0	3.2
学部生	1880	1315	906	458	282	238	87
(%)	68.8	48.2	33.2	16.8	10.3	8.7	3.2
大学院生	623	364	191	237	78	147	35
(%)	62.0	36.2	19.0	23.6	7.8	14.6	3.5
農学部	566	388	272	145	77	45	33
(%)	75.0	51.4	36.0	19.2	10.2	6.0	4.4
工学部	1314	927	634	313	205	193	54
(%)	66.5	46.9	32.1	15.8	10.4	9.8	2.7
工学教育部	436	271	138	163	61	89	23
(%)	62.8	39.0	19.9	23.5	8.8	12.8	3.3
農学教育部	187	93	53	74	17	58	12
(%)	60.1	29.9	17.0	23.8	5.5	18.6	3.9

#### 40. 成績評価への疑問

今回新たに加わった項目である。成績評価への疑問を持った経験がある比率は54.4%と過半を超えるほど高い。男女別では男子学生で、学部・大学院の別では学部生で各々疑問を持ったことがあるという回答が多い。農学部と工学部では大きな違いはないものの、農学教育部では他と比べて著しく疑問を持った経験があるという回答が少ないのに対して、工学教育部では過半を超えている。

40. 成績評価に疑問を持ったことがありますか。 上段：人  
下段：%

	ある	ない
全体	2037	1709
(%)	54.4	45.6
男	1578	1211
(%)	56.6	43.4
女	452	493
(%)	47.8	52.2
学部生	1575	1152
(%)	57.8	42.2
大学院生	456	552
(%)	45.2	54.8
農学部	428	328
(%)	56.6	43.4
工学部	1147	824
(%)	58.2	41.8
工学教育部	358	337
(%)	51.5	48.5
農学教育部	98	215
(%)	31.3	68.7

#### 4 1. 成績評価に疑問を持った結果とった行動

疑問を持って「何もしなかった」という行動が全体としては一番多く77.8%であった。ついで、「担当教員に問い合わせをした」が18.4%でそれ以外の行動はほとんどない。男女別では大きな違いはないものの、学部生よりも大学院生の方が積極的に「担当教員に問い合わせ」をしており、この違いは工学教育部の院生の行動に起因する。すなわち、工学教育部の院生を除けば、それぞれの集団で行動した割合には大きな違いはない。

41. 疑問を持った結果、どのように対処しましたか。  
 上段：人  
 下段：%

	担当教員に問い合わせをした	担当以外の教員に問い合わせをした	何もしなかった	その他
全体	373	52	1578	26
(%)	18.4	2.6	77.8	1.3
男	285	43	1219	24
(%)	18.1	2.7	77.6	1.5
女	85	9	355	2
(%)	18.8	2.0	78.7	0.4
学部生	265	35	1250	20
(%)	16.9	2.2	79.6	1.3
大学院生	105	16	326	6
(%)	23.2	3.5	72.0	1.3
農学部	77	6	339	5
(%)	18.0	1.4	79.4	1.2
工学部	188	29	911	15
(%)	16.4	2.5	79.7	1.3
工学教育部	89	13	250	5
(%)	24.9	3.6	70.0	1.4
農学教育部	16	3	76	1
(%)	16.7	3.1	79.2	1.0

## 4.2. 教育環境への満足度

全体では「満足している」が69.6%であり、前回に比べて6%程度上昇している。男女では男子学生、学部・大学院では大学院生が満足していると答えた比率が高く、前回より各々その割合を増やしている。一方、農学部では「満足」が51.1%から44.1%へ、農学教育部では69.9%から66.5%へと減少し、逆に工学部では65.9%から75.7%へ、工学教育部では73.3%から80.7%へと増加しており、府中キャンパスと小金井キャンパスの間で前回より格差が拡大している。

42. 講義室など教育環境は、どう思いますか。

上段：人

下段：%

	満足している	満足していない
全体	2595	1136
(%)	69.6	30.4
男	2029	750
(%)	73.0	27.0
女	558	382
(%)	59.4	40.6
学部生	1818	896
(%)	67.0	33.0
大学院生	768	238
(%)	76.3	23.7
農学部	332	420
(%)	44.1	55.9
工学部	1486	476
(%)	75.7	24.3
工学教育部	562	134
(%)	80.7	19.3
農学教育部	206	104
(%)	66.5	33.5

### 4 3. 実験・実習の際の危険体験

全体で「実験・実習で危険を感じたことがあった」が12.5%であり、前回（11.6%）と比べて比率がわずかながら上昇している。学部、男女別等については前回と同様の傾向ながら、やはり各々微増しており、注意が必要である。特に、女子学生および大学院生の間で相対的に危険を感じた経験が多い。

43. 実験・実習に危険を感じたことがありましたか。  
 上段：人  
 下段：%

	なかった	あった
全体	3254	465
(%)	87.5	12.5
男	2439	329
(%)	88.1	11.9
女	806	133
(%)	85.8	14.2
学部生	2394	308
(%)	88.6	11.4
大学院生	850	156
(%)	84.5	15.5
農学部	644	99
(%)	86.7	13.3
工学部	1750	209
(%)	89.3	10.7
工学教育部	585	110
(%)	84.2	15.8
農学教育部	265	46
(%)	85.2	14.8

#### 4.4. 学生便覧の活用度

学生便覧の活用度については、「活用している」が32.6%、「あまり活用していない」が44.7%であり、前回と比べて(23.6%)、「活用している」層が増加している。男女別では男子学生、学部・大学院別では大学院生に「全然活用していない」層が多く、この傾向は前回と同様である。農学部と工学部、農学教育部と工学教育部では、農学部・農学教育部で「全然活用していない」比率が高いが、工学部・工学教育部では「全然活用していない」比率が前回より減少している。

44. 学生便覧を活用していますか。 上段：人  
下段：%

	活用している	あまり活用していない	全然活用していない
全体	1222	1675	847
(%)	32.6	44.7	22.6
男	901	1212	673
(%)	32.3	43.5	24.2
女	319	460	167
(%)	33.7	48.6	17.7
学部生	932	1232	560
(%)	34.2	45.2	20.6
大学院生	287	439	283
(%)	28.4	43.5	28.0
農学部	185	352	217
(%)	24.5	46.7	28.8
工学部	747	880	343
(%)	37.9	44.7	17.4
工学教育部	210	309	178
(%)	30.1	44.3	25.5
農学教育部	77	130	105
(%)	24.7	41.7	33.7



#### 4 5. オフィスアワーの活用と周知度

今回新たに加わった項目である。「シラバスにオフィスアワーが記載されていることを知っていますか」という質問に対して、「知らない」と答えた層が最も多く58.6%であった。また、知っている場合でも活用した割合は非常に低く9.2%である。男女別では、女子学生に「知らない」「活用したことがない」と答えた比率が高く、学部と大学院では大学院生で周知度・活用度とも低い。また比較的工学部で周知度が低いものの、活用度は農学部・工学部で同じような値を示している一方で、授業形態の違いに起因すると想定されるものの工学教育部と比較して農学教育部では周知度・活用度とも著しく低い。

45. オフィスアワーが記載されていることを知っていますか。上段：人  
下段：%

	活用している	活用したことがない	知らない
全体	345	1202	2192
(%)	9.2	32.1	58.6
男	271	853	1661
(%)	9.7	30.6	59.6
女	71	346	525
(%)	7.5	36.7	55.7
学部生	261	958	1502
(%)	9.6	35.2	55.2
大学院生	82	242	683
(%)	8.1	24.0	67.8
農学部	72	327	355
(%)	9.5	43.4	47.1
工学部	189	631	1147
(%)	9.6	32.1	58.3
工学教育部	67	197	434
(%)	9.6	28.2	62.2
農学教育部	15	45	249
(%)	4.9	14.6	80.6

#### 46. シラバスの活用度

シラバスの活用度については、大学全体で「活用している」が27.6%、「あまり活用していない」が41.6%であり、それぞれ19.9%、38.9%であった前回と比較して、大幅な改善が見られる。男女別では女子学生で、学部と大学院では大学院生でよく活用されており、前回同様の傾向を示している。農学部では、工学部と比べて両極が多い。また、工学教育部では農学教育部よりも活用度が高い。

46. シラバスを活用していますか。

上段：人

下段：%

	活用している	あまり活用していない	全然活用していない
全体	1030	1554	1153
(%)	27.6	41.6	30.9
男	739	1138	906
(%)	26.6	40.9	32.6
女	286	412	244
(%)	30.4	43.7	25.9
学部生	818	1196	707
(%)	30.1	44.0	26.0
大学院生	206	356	443
(%)	20.5	35.4	44.1
農学部	275	308	173
(%)	36.4	40.7	22.9
工学部	543	888	534
(%)	27.6	45.2	27.2
工学教育部	163	252	281
(%)	23.4	36.2	40.4
農学教育部	43	104	162
(%)	13.9	33.7	52.4

#### 47. 在学生向けホームページの活用度

前回と同様の質問項目から文言が変化している。全体としては、「活用している」が43.9%であり、前回に比べて7%近く増加している。男女別では女子学生が、学部と大学院では学部生がよく活用しており、これらも前回と同様である。

47. 在学生向けホームページを活用していますか。 上段：人  
下段：%

	活用している	あまり活用していない	全然活用していない
全体	1642	1423	677
(%)	43.9	38.0	18.1
男	1184	1034	569
(%)	42.5	37.1	20.4
女	450	386	107
(%)	47.7	40.9	11.3
学部生	1243	1018	460
(%)	45.7	37.4	16.9
大学院生	390	404	216
(%)	38.6	40.0	21.4
農学部	356	291	108
(%)	47.2	38.5	14.3
工学部	887	727	352
(%)	45.1	37.0	17.9
工学教育部	269	275	154
(%)	38.5	39.4	22.1
農学教育部	121	129	62
(%)	38.8	41.3	19.9

#### 48. 情報発信の媒体

今回新たに加わった項目である。「大学からの情報発信の媒体として何を希望するか」という質問については、全体としては、「電子掲示板」が28.6%で最も高く、次いで「大学のメールアドレス」が27.0%、「掲示板」16.9%、「掲示板」16.9%などが続いている。男女別では、男子学生で「大学のメールアドレス」の割合が高い。一方、学部と大学院では、大学院生が圧倒的に「大学のメールアドレス」を希望しているのに対して、学部生では「電子掲示板」、「掲示板」の比率が高い。

48. 情報発信の媒体として、何を希望しますか。

上段：人  
下段：%

	大学のメールアドレス	個人のメールアドレス	携帯のメールアドレス	電子掲示板	掲示板	その他
全体	1003	576	339	1061	628	105
(%)	27.0	15.5	9.1	28.6	16.9	2.8
男	785	427	237	783	450	85
(%)	28.4	15.4	8.6	28.3	16.3	3.1
女	214	145	101	276	177	20
(%)	22.9	15.5	10.8	29.6	19.0	2.1
学部生	525	403	307	837	548	75
(%)	19.5	15.0	11.4	31.1	20.3	2.8
大学院生	472	171	32	221	80	30
(%)	46.9	17.0	3.2	22.0	8.0	3.0
農学部	114	125	107	218	171	9
(%)	15.3	16.8	14.4	29.3	23.0	1.2
工学部	411	278	200	619	377	66
(%)	21.1	14.2	10.3	31.7	19.3	3.4
工学教育部	355	94	16	169	47	14
(%)	51.1	13.5	2.3	24.3	6.8	2.0
農学教育部	117	77	16	52	33	16
(%)	37.6	24.8	5.1	16.7	10.6	5.1

#### 49. 留学生の手引きの活用度

全体としては、「あまり活用していない」が45.7%で最も多く、前回と比べると「全然見ていない」比率が減少してものの、「あまり活用していない」比率の増加にとどまっている。また、必然的に回答数が少ないために前回と比べて回答比率の変動が激しく、これ以上に細かい集団間の比較にはほとんど意味がない。

49. 外国人留学生の手引を活用していますか。 上段：人  
下段：%

	見て活用している	あまり活用していない	全然見ていない
全体	53	80	42
(%)	30.3	45.7	24.0
男	39	52	19
(%)	35.5	47.3	17.3
女	13	28	23
(%)	20.3	43.8	35.9
学部生	21	29	22
(%)	29.2	40.3	30.6
大学院生	31	50	20
(%)	30.7	49.5	19.8
農学部	7	3	2
(%)	58.3	25.0	16.7
工学部	14	26	20
(%)	23.3	43.3	33.3
工学教育部	9	21	12
(%)	21.4	50.0	28.6
農学教育部	22	29	8
(%)	37.3	49.2	13.6

## 50. 留学生の情報源（複数回答）

今回新たに加わった項目である。「留学生生活に必要な情報はどこから得ていますか」という質問については、全体では、「他の留学生」が54.5%と最多で、次いで「インターネット」41.0%、「留学生センターの教職員」40.4%、「担任教員や指導教員」31.5%などが続いている。

50. 留学生活に必要な情報はどこから得ていまか。

上段：人

下段：%

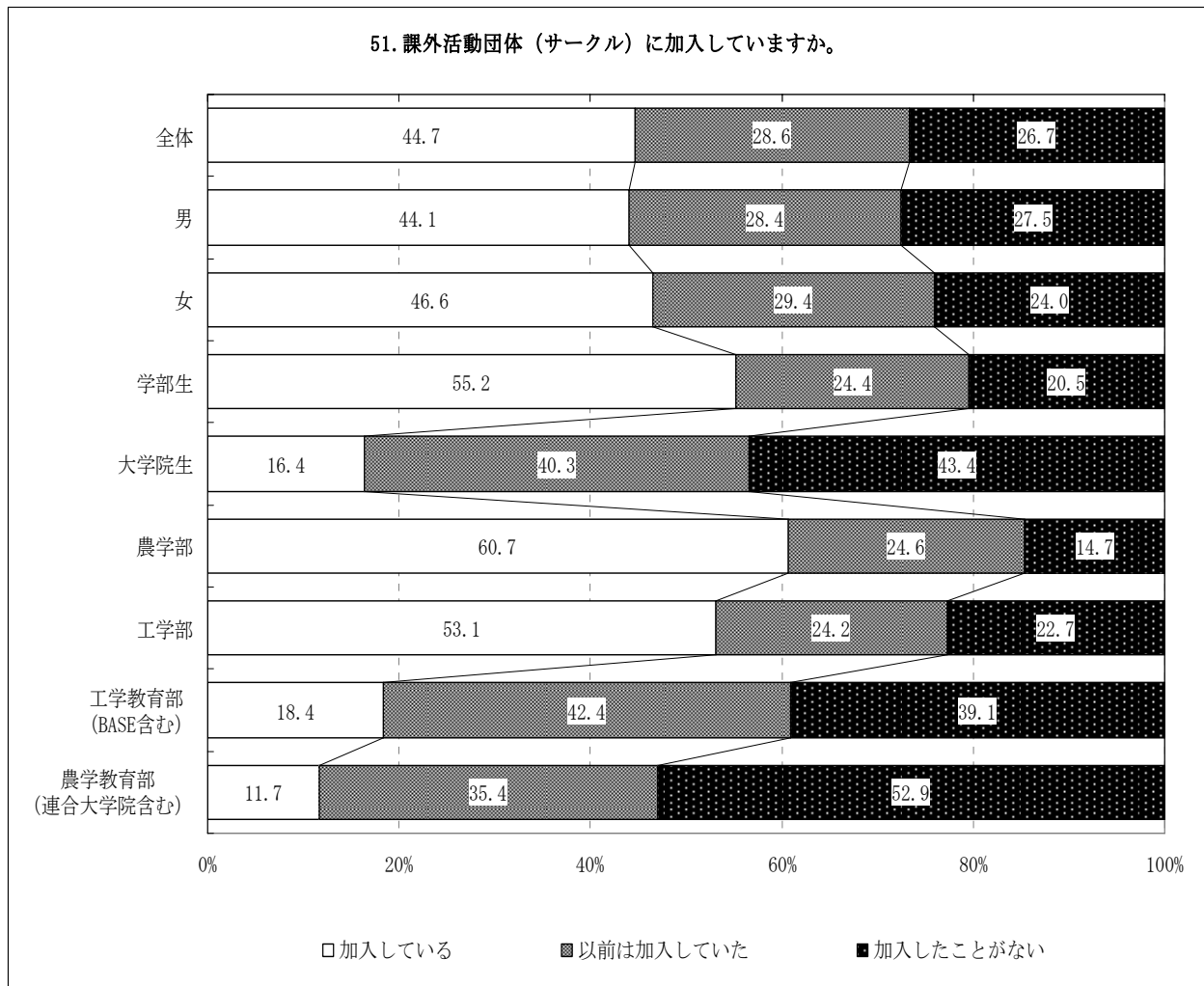
	留学生の手引き	留学生センターの教職員	担任教員や指導教員	他の留学生	チューター	チューター以外の日本人学生	インターネット	その他	情報が得られない
全体	30	72	56	97	23	35	73	7	7
(%)	16.9	40.4	31.5	54.5	12.9	19.7	41.0	3.9	3.9
男	22	46	35	62	13	23	49	5	4
(%)	19.5	40.7	31.0	54.9	11.5	20.4	43.4	4.4	3.5
女	7	25	20	35	9	12	24	2	3
(%)	10.9	39.1	31.3	54.7	14.1	18.8	37.5	3.1	4.7
学部生	8	37	10	43	5	12	32	4	6
(%)	10.8	50.0	13.5	58.1	6.8	16.2	43.2	5.4	8.1
大学院生	21	34	45	52	16	23	40	3	1
(%)	20.6	33.3	44.1	51.0	15.7	22.5	39.2	2.9	1.0
農学部	2	6	3	7	0	1	3	0	1
(%)	16.7	50.0	25.0	58.3	0.0	8.3	25.0	0.0	8.3
工学部	6	31	7	36	5	11	29	4	5
(%)	9.7	50.0	11.3	58.1	8.1	17.7	46.8	6.5	8.1
工学教育部	8	16	14	22	2	7	22	1	0
(%)	18.6	37.2	32.6	51.2	4.7	16.3	51.2	2.3	0.0
農学教育部	13	18	31	30	14	16	18	2	1
(%)	22.0	30.5	52.5	50.8	23.7	27.1	30.5	3.4	1.7

## 第VI章 課外活動

### 5 1. 課外活動団体（サークル）への加入状況

農工大学全体では約44%の学生が何らかのサークルに加入し活動しており、以前活動していた者を含めると、ほぼ4人に3人がサークル活動に関与している。男子学生と女子学生を比較すると、現在サークルに加入している学生は男子学生より女子学生の方が若干多い。学部生と大学院生を比較すると、学部生の方が多く55.2%で、大学院生は16.4%であり、学部生は半数を超えている。学部別にみると、農学部生の方が多く(60.7%)、反対に大学院生においては工学教育部生の割合の方が高い(18.4%)。

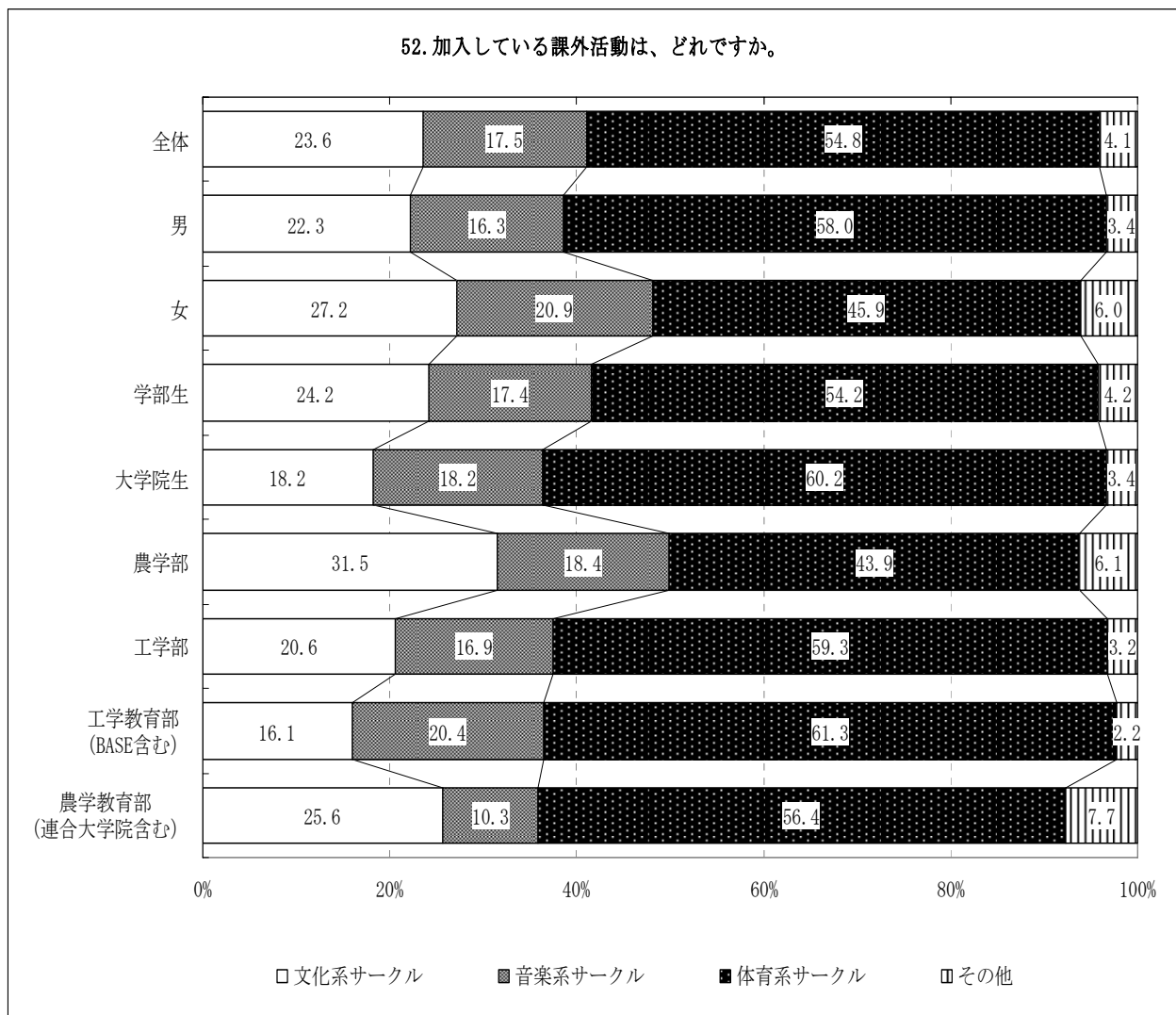
前回と比較すると、全体では男子学生および女子学生とも若干「加入している」の割合が高くなっている。しかし、学部別・教育部別にみると、農学部生は3ポイント減少し工学部生は6ポイント増加している。大学院生では両教育部生とも若干減少している。



## 5.2. 加入している課外活動団体の種類

全回答数は1863件であり、以下のカッコ内のパーセントは全回答数に占める各項目の件数割合を表している。全体的にみると、体育系サークル(54.8%)が最も多く、ついで文科系(23.6%)、音楽系(17.5%)の順である。男子学生と女子学生を比較すると、男子学生は体育系が多く(58.0%)、女子学生は文科系(27.2%)や音楽系(20.9%)の割合が多い。学部生と大学院生とを比較すると、大学院生は体育系サークルの割合が高く(60.2%)、反対に文化系サークルの割合が低い(18.2%)。両学部生を比較すると、農学部生は文化系サークルの割合が高く(31.5%)、工学部生は体育系サークルの割合が高い(59.3%)。両教育部生を比較すると、学部と同様に農学教育部生では文科系サークルの割合が高く(25.6%)、工学教育部生では体育系サークルの割合が高い(61.3%)。

前回と比較して、ふたつ以上のサークルで活動している、いわゆる掛け持ちをする学生の割合が明らかに減少している。全体で見た場合、前回では掛け持ちをしている者の割合は約12%であるが、今回の調査では約4%である。その分だけ、掛け持ちをしない者の割合は各系サークルで増加している。前回の調査で農学部生は掛け持ちで活動する者が多いことが特徴であっただけに、この現象は農学部生に顕著であり12.4ポイント減少している。

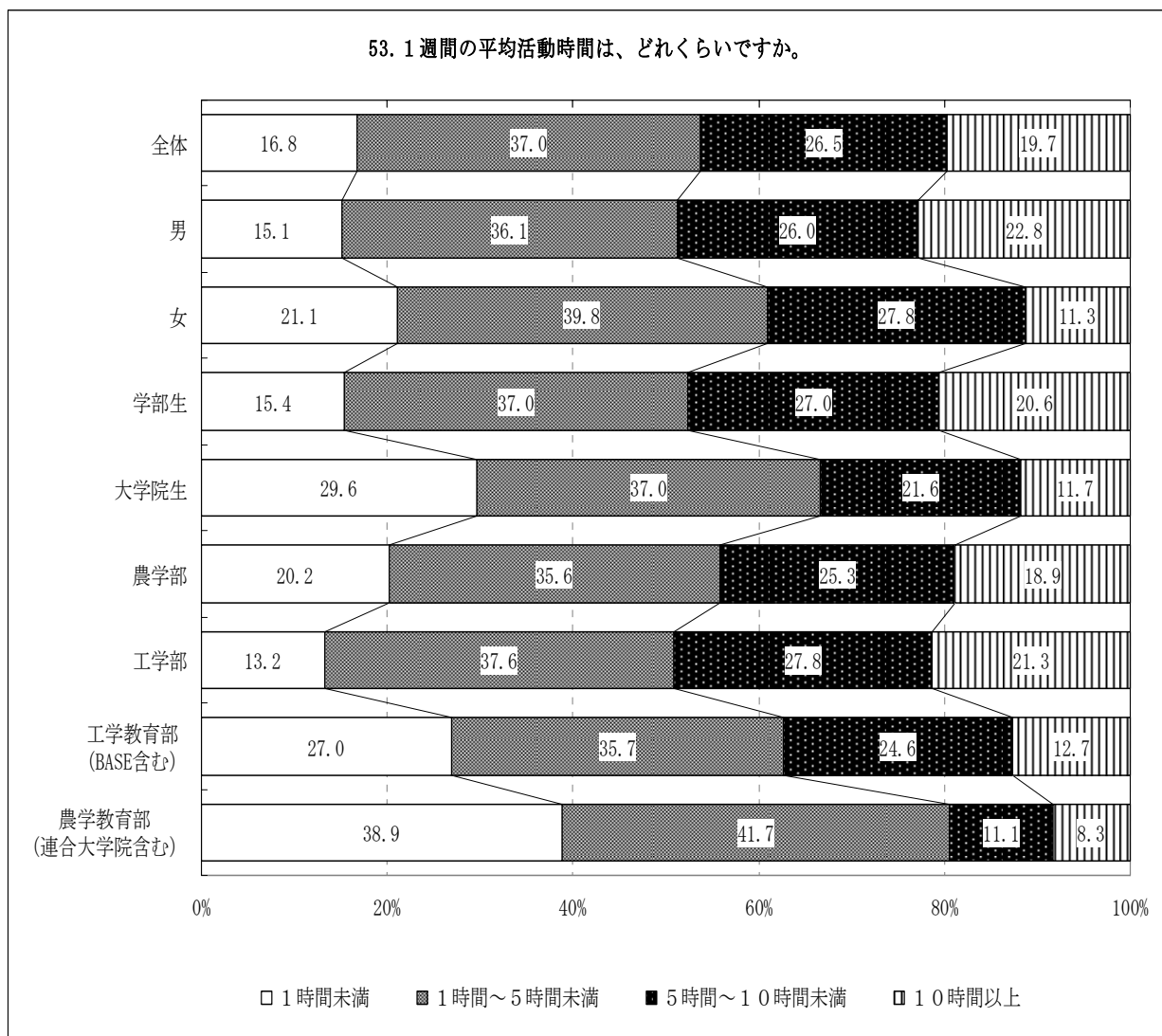




### 5.3. 1週間の平均活動時間

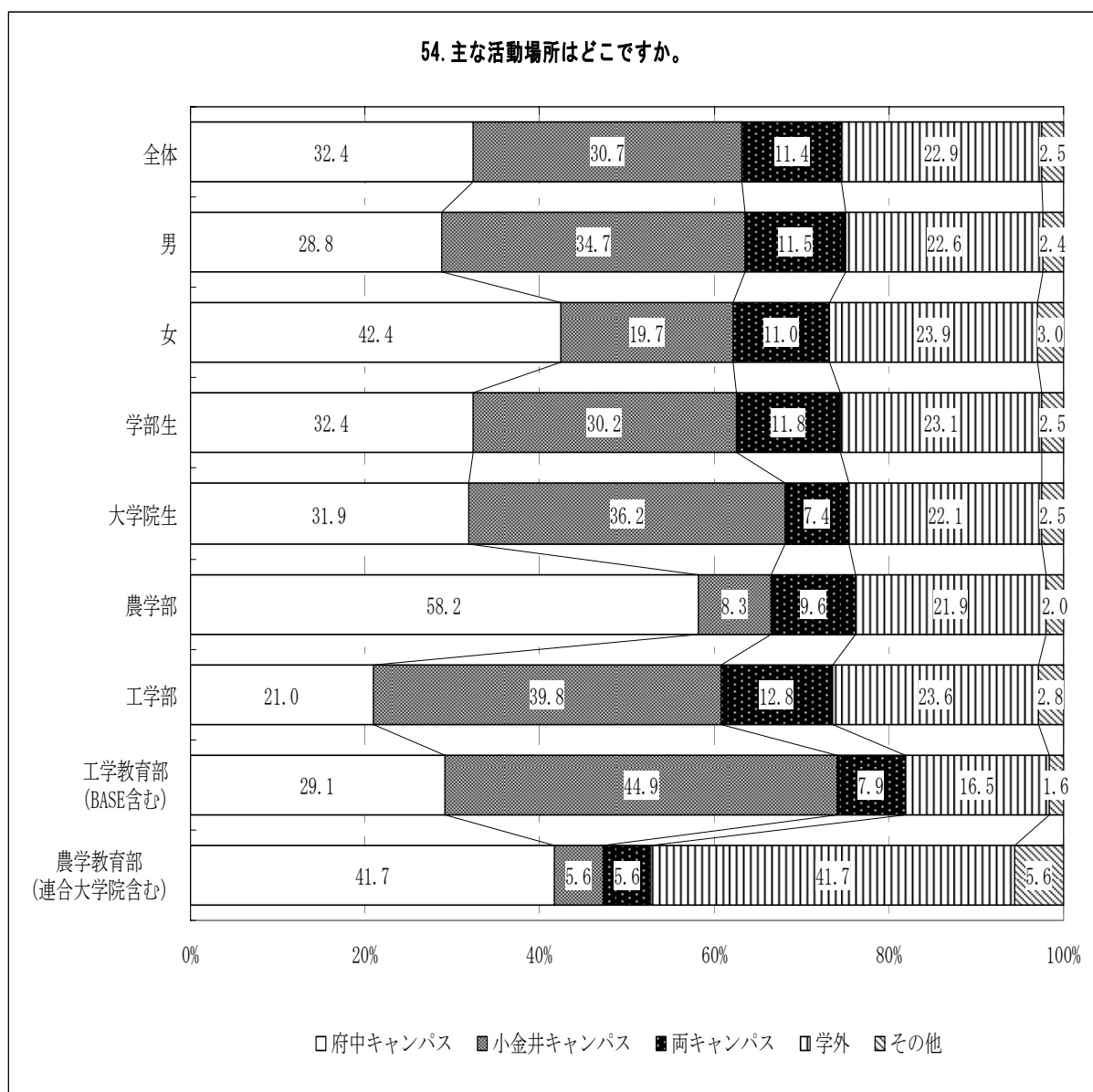
全体では、「1時間～5時間」(37.0%)が最も多く、ついで「5時間～10時間」(26.5%)であり、「10時間以上」(19.7%)の者もかなり存在している。男子学生と女子学生を比較すると、男子学生および女子学生とも「1時間～5時間」が最も多く、ついで「5時間～10時間」である。第3位は男子学生では「10時間以上」(22.8%)、女子学生では「1時間未満」(21.1%)がそれぞれ多い。学部生と大学院生を比較すると、どちらも最も多いのは「1時間～5時間」であるが、大学院生は学部生と異なり、「5時間～10時間」は少なくなり、「1時間未満」が多い(29.6%)。両学部生を比較すると、どちらも「1時間～5時間」が最も多く、ついで「5時間～10時間」である。第3位は両学部生で異なり、農学部生は「1時間未満」(20.2%)、工学部生は「10時間以上」(21.3%)である。両教育部生を比較すると、どちらも「1時間～5時間」が最も多く、ついで「1時間未満」、「5時間～10時間」、「10時間以上」の順である。

前回と比較すると、全体的には「1時間～5時間」、「5時間～10時間」が増加し、「1時間未満」が減少している。個別にみると男子学生よりも女子学生に、また部局の中では農学教育部生にその特徴が強く表れている。



#### 5.4. 主な活動場所

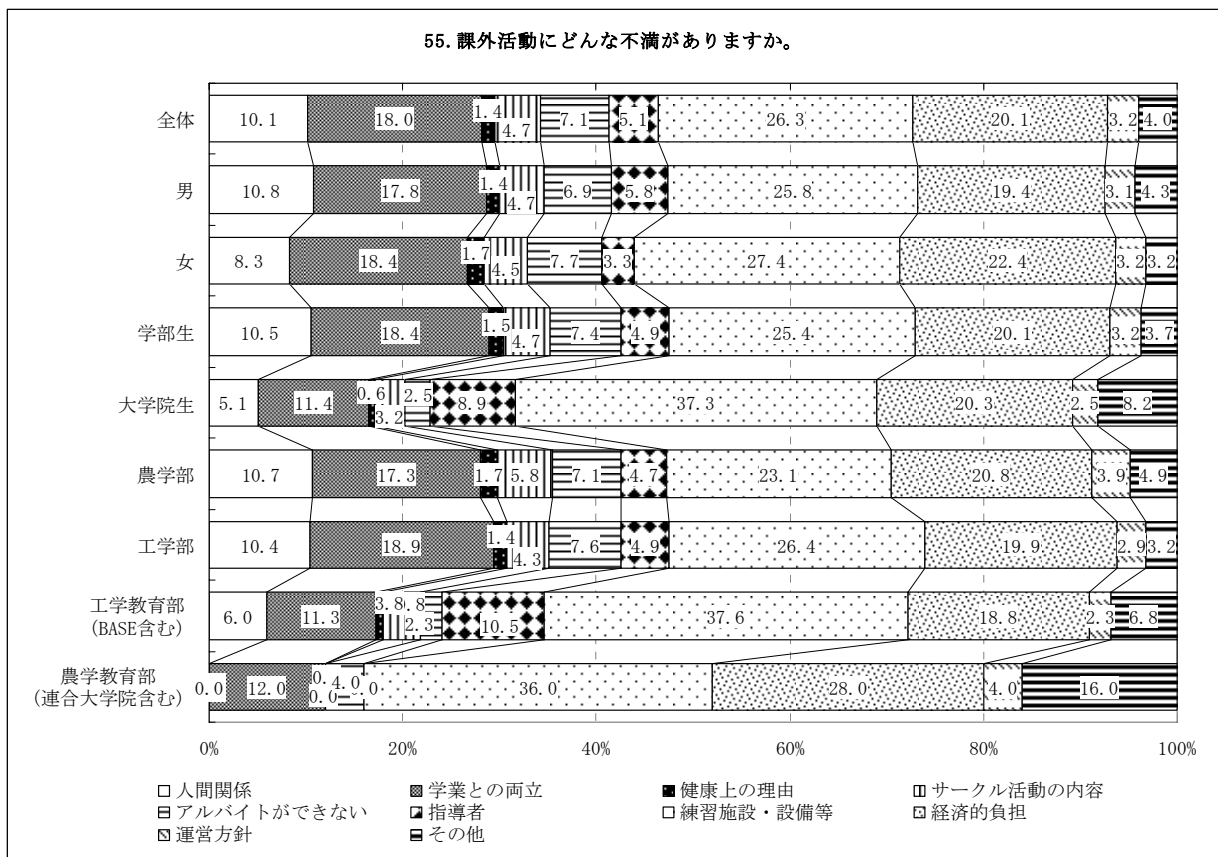
全体では、府中(32.4%)、小金井(30.%)、両キャンパス(11.4%)であり、学内で70%強の者が活動している。また、学外で活動している者が約23%存在している。男子学生および女子学生別に検討すると、男子学生は小金井、女子学生は府中キャンパスで活動している者が多い。また学外で活動している者の割合に性差はみられない。学部生と大学院生とを比較すると、大学院生では両キャンパスで活動している者の割合は少なかった(7.4%)。両学部生ともそれぞれが所属するキャンパスで活動する割合が高いが、農学部生は18%弱が小金井キャンパスで、工学部生は34%弱が府中キャンパスで活動していることは興味深い。両教育部生を比較すると、農学教育部生は府中キャンパスで活動する者(41.7%)および学外で活動する者(41.7%)が多いのに対し、工学教育部生は小金井キャンパス(44.9%)が最も多く、ついで府中キャンパス(29.1%)である。



### 5.5. 課外活動施設への不満（複数回答）

全回答数は2297件であり、以下のカッコ内のパーセントは全回答数に占める各項目の件数割合を表している。全体的にみると、「練習施設・設備等」（26.3%）、「経済的負担」（20.1%）、「学業との両立」（18.0%）に不満を持つ者が多く、また「人間関係」（10.1%）で悩んでいる者もみられる。男子学生と女子学生を比較すると、男子学生は「人間関係」（10.8%）や「指導者」（5.8%）に不満の者が多く、女子学生は「経済的負担」（22.4%）、「練習施設・設備等」（27.4%）、「アルバイトができない」（7.7%）に不満を持つ者が多い。学部生と大学院生を比較すると、学部生は「人間関係」（10.5%）や「学業との両立」（18.4%）に不満に悩む者の割合が高く、大学院生は「練習施設・設備等」（37.3%）や「指導者」（8.9%）に不満を持つ者の割合が高い。両学部生を比較すると、農学部生は「サークル活動の内容」（5.8%）、工学部生は「練習施設・設備等」（26.4%）にそれぞれ不満を持つ者の割合が高い。両教育部生を比較すると、工学教育部生では「人間関係」（6.0%）や「指導者」（10.5%）に不満を持つ者の割合が高く、農学教育部生では「経済的負担」（28.0%）に不満を持つ者の割合が高い。

前回と比較すると、全体的には「練習施設・設備等」に対しては不満を持つ者の割合が顕著に減少している。反面、「人間関係」や「学業との両立」に悩む者が割合はわずかであるが増えている。



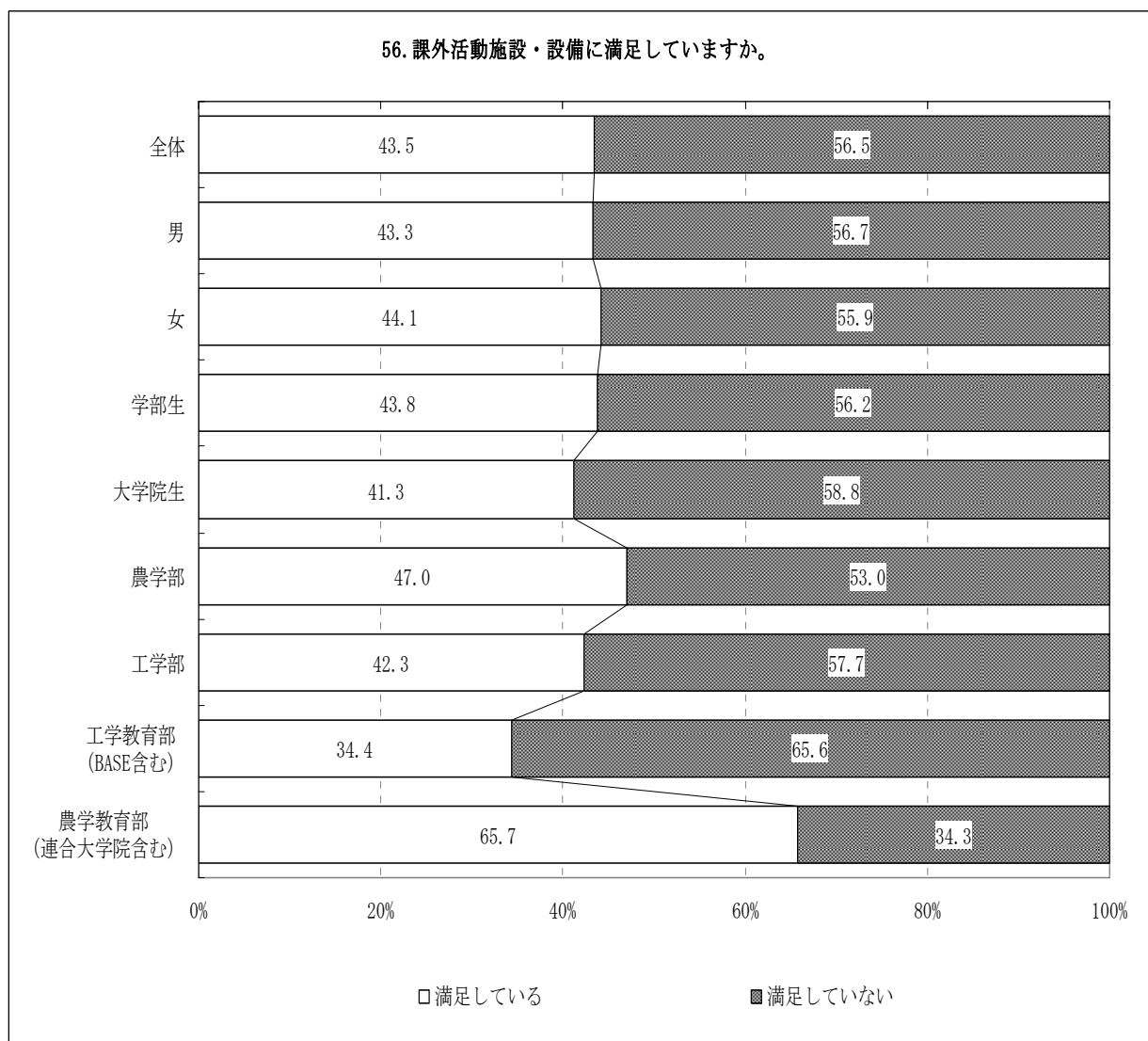
【回答数】

	合計	人間関係	学業との両立	健康上の理由	サークル活動の内容	アルバイトができない	指導者	練習施設・設備等	経済的負担	運営方針	その他
全体	2297	233	413	33	107	163	118	603	462	73	92
男	1688	182	301	23	79	116	98	436	327	53	73
女	599	50	110	10	27	46	20	164	134	19	19
学部生	2131	224	393	32	101	158	104	542	429	69	79
大学院生	158	8	18	1	5	4	14	59	32	4	13
農学部	636	68	110	11	37	45	30	147	132	25	31
工学部	1495	156	283	21	64	113	74	395	297	44	48
工学教育部 (BASE含む)	133	8	15	1	5	3	14	50	25	3	9
農学教育部 (連合大学院含む)	25	0	3	0	0	1	0	9	7	1	4

## 5.6. 課外活動施設・設備への満足度

全体的には、現状に「満足していない」(56.5%)者の割合は「満足している」(43.5%)より高く、前質問項目の結果でも不満な点は「練習施設・設備等」が第1位であることと一致している。男子学生と女子学生を比較すると、若干女子学生の方が「満足している」(44.1%)者の割合が高い。学部生と大学院生を比較すると、若干学部生の方が「満足している」(43.8%)者の割合が高い。両学部生を比較すると、農学部生の方が「満足している」(47.0%)者の割合が高い。両教育部生を比較すると、農学教育部生の方が「満足している」(65.7%)者の割合が高い。

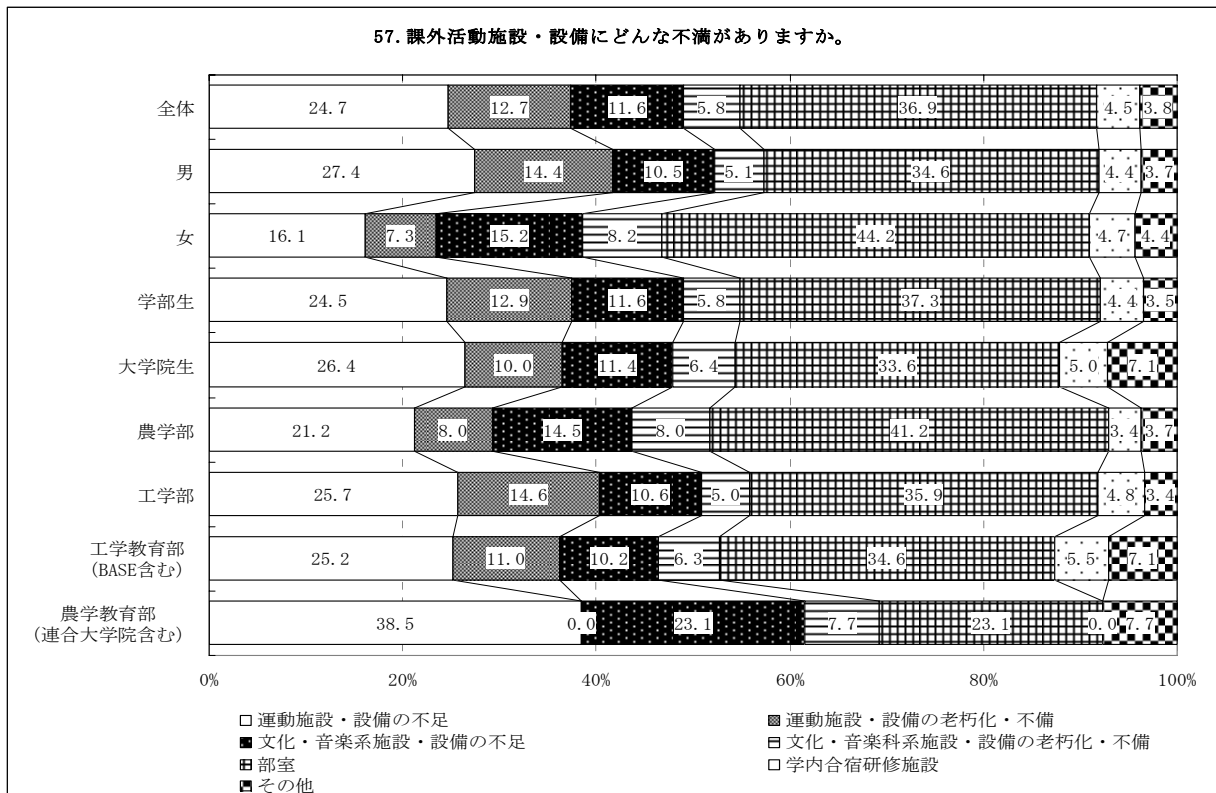
前回と比較すると、全体では「満足している」者の割合が5.5ポイント増加している。個別的にみると、農学教育部生では「満足している」者が15ポイント増加し、過半数を超えている(65.7%)、しかし、工学教育部生ではわずか0.5ポイントしか増加していない。



## 5.7. 課外活動施設・設備への不満の種類（複数回答）

全回答数は1407件であり、以下のカッコ内のパーセントは全回答数に占める各項目の件数割合を表している。全体的にみると、「部室」(36.9%)に対する不満をあげる者の割合が最も高く、ついで運動施設・設備に関し、それらが「不足している」(24.7%)、「老朽化している」(12.7%)をあげている。また、文化・音楽系施設・設備についても同様であり、「不足している」(11.6%)、「老朽化している」(5.8%)ことをあげている。男子学生と女子学生を比較すると、男子学生は「運動施設・設備の不足」(27.4%)の割合が高く、女子学生は「部室」(44.2%)の割合が高い。学部生と大学院生を比較すると、大学院生は「運動施設・設備の不足」(26.4%)をあげる者の割合が学部生に比較して高い。両学部生を比較すると、農学部生では「部室」(41.2%)、工学部生では「運動施設・設備の不足」(25.7%)をあげる者の割合が高い。両教育部生を比較すると、農学教育部生は「運動施設・設備の不足」(38.5%)や「文化・音楽系施設の不足」(23.1%)に不満を持っている者の割合が高く、工学教育部生は「部室」(34.6%)、「運動施設・設備の不足」(11.0%)が高い。

前回と比較すると、全体的には、「部室」に対しては相変わらず不満を持っている者の割合は高い(36.9%)。昨年より不満を持つ者の割合が増加した項目は「運動施設・設備の不足」であり(4.9ポイント増)、逆に減少した項目は「文化・音楽系施設・設備の老朽化・不備」(4.3ポイント減)である。個別にみると、特に女子学生は「部室」(7ポイント増)、農学教育部生は「運動施設・設備の不足」(25.5ポイント増)に不満を持つ者が顕著に増加している。



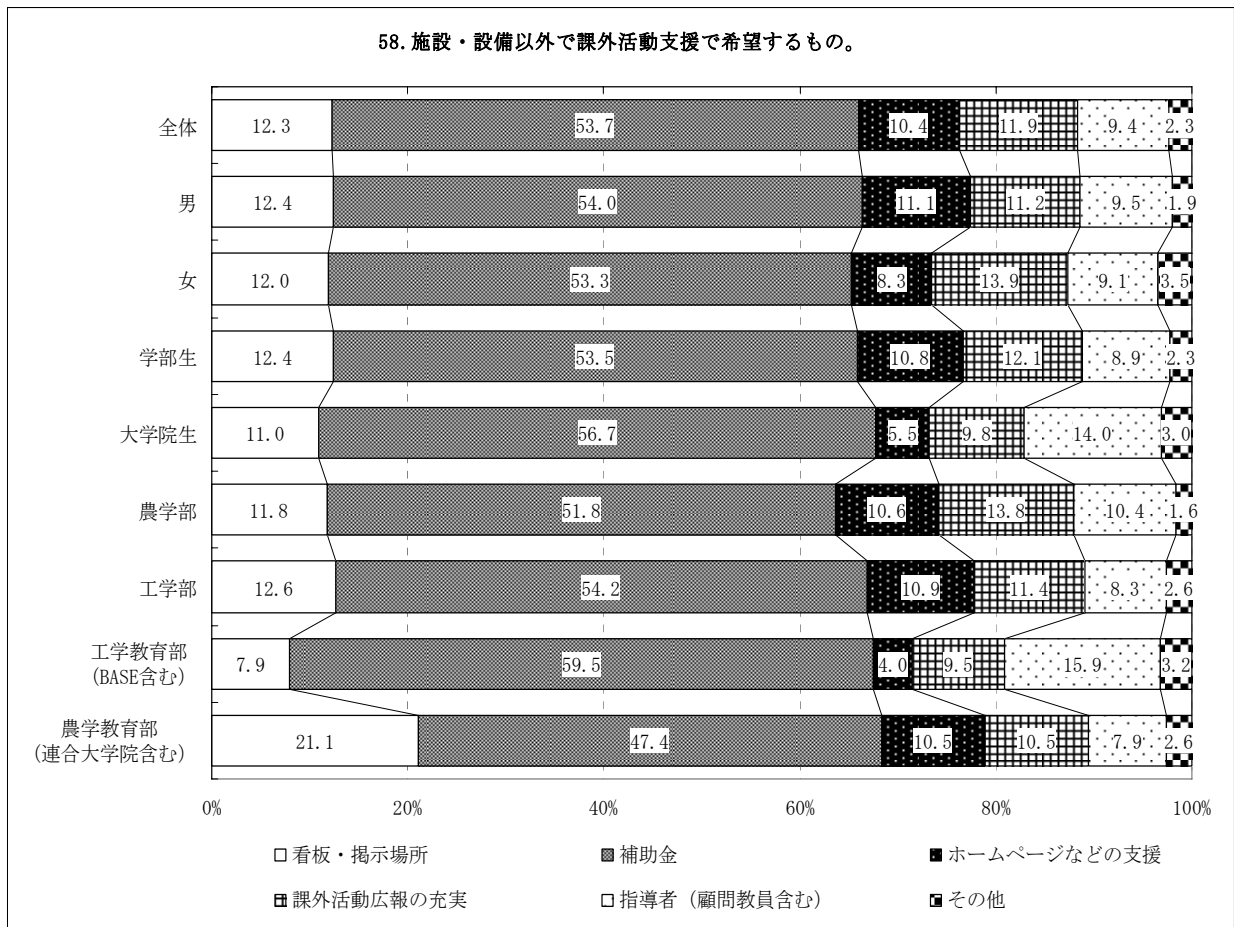
【回答数】

	合計	運動施設・設備の不足	運動施設・設備の老朽化・不備	文化・音楽系施設・設備の不足	文化・音楽系施設・設備の老朽化・不備	部室	学内合宿研修施設	その他
全体	904	348	178	163	82	519	63	54
男	664	290	152	111	54	366	47	39
女	236	55	25	52	28	151	16	15
学部生	811	310	163	146	73	471	56	44
大学院生	90	37	14	16	9	47	7	10
農学部	229	69	26	47	26	134	11	12
工学部	582	241	137	99	47	337	45	32
工学教育部 (BASE含む)	78	32	14	13	8	44	7	9
農学教育部 (連合大学院含む)	12	5	0	3	1	3	0	1

### 5.8. 施設・設備以外で課外活動支援を希望するもの（複数回答）

全回答数は1802件であり、以下のカッコ内のパーセントは全回答数に占める各項目の件数割合を表している。全体的には、「補助金」(53.7%)の支援の割合がもっとも高く、残りは「看板・掲示場所」(12.3%)、「課外活動の広報の充実」(11.9%)、「ホームページなどの支援」(10.4%)などの部員獲得手段の充実を希望している。また、「指導者（顧問教員含む）」(9.4%)の支援を希望している。大学院生、特に工学教育部生は「指導者（顧問教員含む）」(15.9%)の支援を希望する者の割合が他の群に比較して高い。

今回の調査から新たな選択肢として「指導者（顧問教員含む）」が加わったので単純に比較することはできないが、前回と比較すると、「補助金」の支援を希望する者の割合が減少している(5.5ポイント減)。



【回答数】

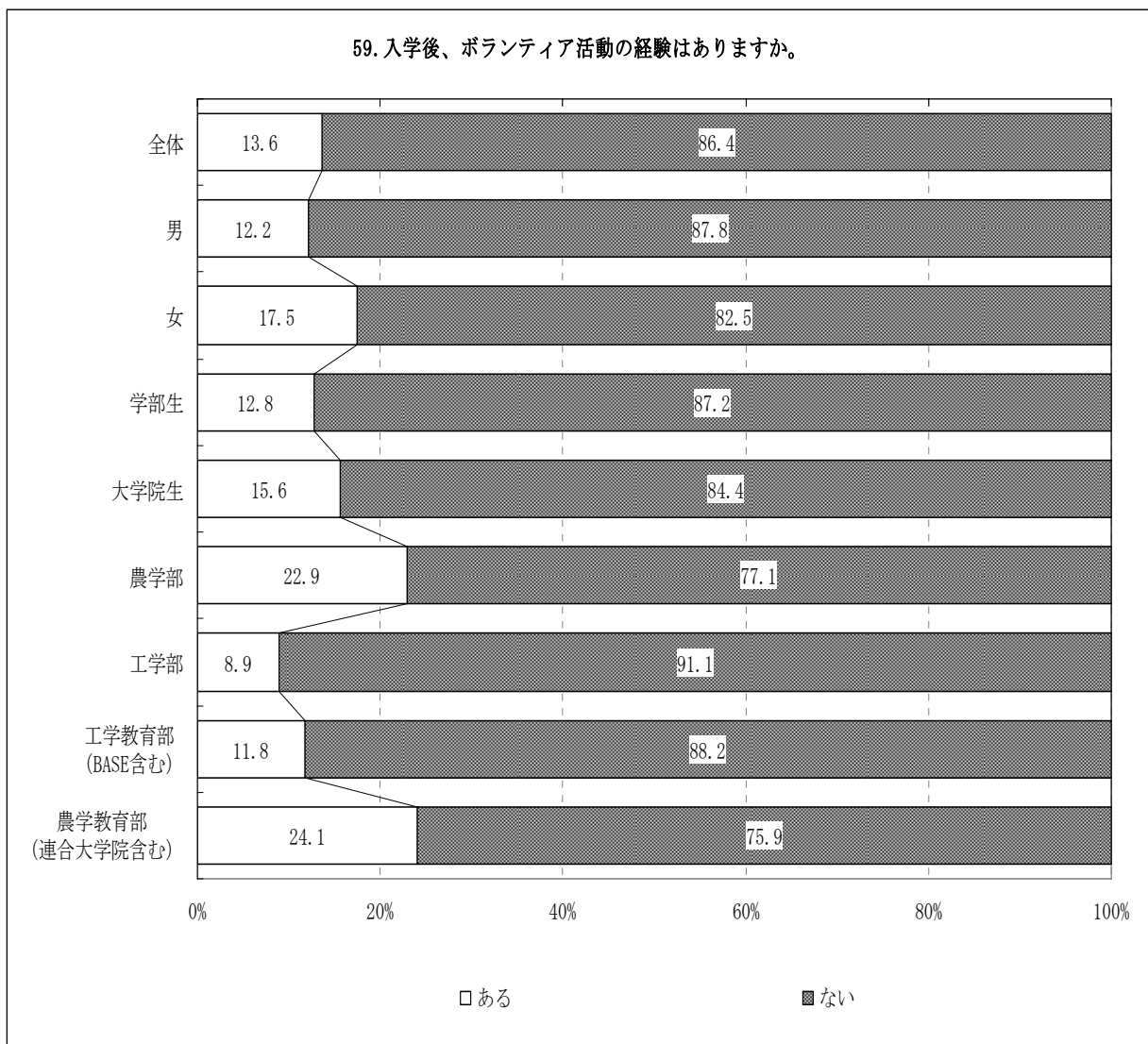
	合計	看板・掲示場所	補助金	ホームページ などの支援	課外活動 広報の充実	指導者 (顧問教員含む)	その他
全体	1507	221	968	187	215	169	42
男	1112	165	721	148	149	127	26
女	390	55	245	38	64	42	16
学部生	1359	202	873	177	198	146	37
大学院生	144	18	93	9	16	23	5
農学部	388	59	259	53	69	52	8
工学部	971	143	614	124	129	94	29
工学教育部 (BASE含む)	112	10	75	5	12	20	4
農学教育部 (連合大学院含む)	32	8	18	4	4	3	1

## 第Ⅶ章 ボランティア活動

### 59. 入学後・ボランティア活動の経験の有無

全体では「ある」と回答した者の割合は13.6%で、残りの86.4%はボランティア活動の経験はない。男子学生と女子学生を比較すると、女子学生(17.5%)の方が男子学生(12.2%)より、さらに、大学院生(15.6%)の方が学部生(12.8%)よりボランティア活動の経験を有している割合が高い。両学部生をみると、ボランティア活動の経験は農学部生(22.9%)の方が工学部生(8.9%)より、さらに農学教育部生(24.1%)は工学教育部生(11.8%)に比較してそれぞれ高い。

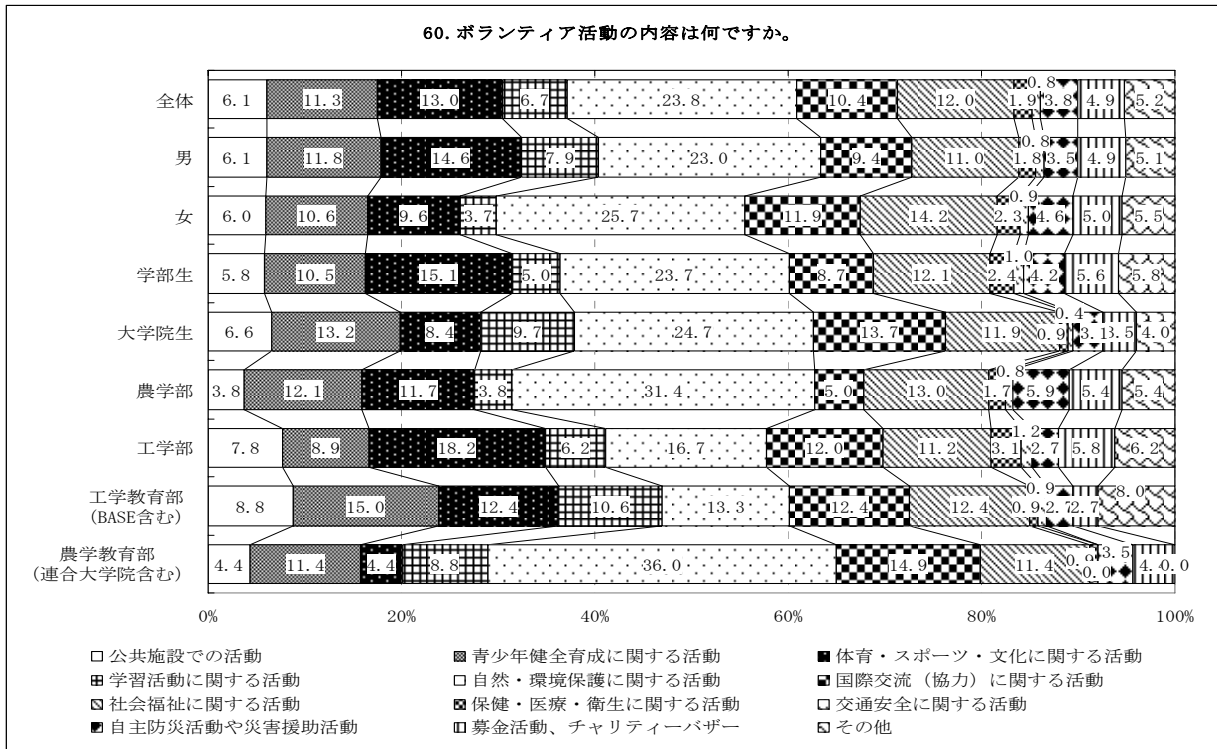
前回と比較すると、全体的にはボランティア活動の経験を有する者の割合は減少している(2.4ポイント減)。しかし、ボランティア活動の参加機会は年度中に発生した大きな災害等の有無にも影響を受けるので、単年度におけるボランティア活動の経験した者の割合の増減を単純に比較するのは好ましくない。



## 60. ボランティア活動の内容（複数回答）

全回答数は732件であり、以下のカッコ内のパーセントは全回答数に占める各項目の件数割合を表している。全体では、「自然・環境保護に関する活動」(23.8%)の割合が最も高く、順に「体育・スポーツ・文化に関する活動」(13.0%)、「社会福祉に関する活動」(12.0%)、「青少年健全育成に関する活動」(11.3%)、「国際交流（協力）に関する活動」(10.4%)と続いている。その他にも割合は低いさまざまな活動内容があげられている。男子学生と女子学生を比較すると、男子学生は「体育・スポーツ・文化に関する活動」(14.6%)や「青少年健全育成に関する活動」(11.8%)、女子学生は「自然・環境保護に関する活動」(25.7%)、「社会福祉に関する活動」(14.2%)や「国際交流（協力）に関する活動」(11.9%)に参加した者の割合が高い。学部生と大学院生とを比較すると、学部生は「体育・スポーツ・文化に関する活動」(15.1%)および「保健・医療・衛生に関する活動」(2.4%)、大学院生は「国際交流（協力）に関する活動」(13.7%)や「学習活動に関する活動」(9.7%)に参加した割合が高い。両学部生を比較すると、農学部生では圧倒的に「自然・環境保護に関する活動」(31.4%)の割合が高く、工学部生では「体育・スポーツ・文化に関する活動」(18.2%)や「国際交流（協力）に関する活動」(12.0%)に参加した者の割合が高い。両教育部生を比較すると、農学教育部生では「自然・環境保護に関する活動」(36.0%)に参加した者の割合が高く、工学教育部生ではあまり偏りがなくいろいろなボランティア活動にほぼ同じ割合で参加している。

前回と比較すると、全体では明らかに増加した項目は「体育・スポーツ・文化に関する活動」(2.5ポイント増)、「学習活動に関する活動」(2.3ポイント増)、「公共施設での活動」(1.2ポイント増)であり、逆に明にか減少した項目は「自然・環境保護に関する活動」(3.0ポイント減)、「国際交流（協力）に関する活動」(2.9ポイント減)、「社会福祉に関する活動」(2.9ポイント減)である。しかし、個別にみると全体の傾向とは反対の結果を示した群も散見できる。すなわち、女子学生の「学習活動に関する活動」、農学部生の「公共施設での活動」(0.8ポイント減)、農学教育部生の「体育・スポーツ・文化に関する活動」(1.7ポイント減)は減少しており、「自然・環境保護に関する活動」は農学教育部生(7ポイント増)および工学部生(2.3ポイント増)で増加している。



【回答数】

	合計	公共施設での活動	青少年健全育成に関する活動	体育・スポーツ・文化に関する活動	学習活動に関する活動	自然・環境保護に関する活動	国際交流（協力）に関する活動	社会福祉に関する活動	保健・医療・衛生に関する活動	交通安全に関する活動	自主防災活動や災害援助活動	募金活動、チャリティイベント	その他
全体	732	45	83	95	49	174	76	88	14	6	28	36	38
男	508	31	60	74	40	117	48	56	9	4	18	25	26
女	218	13	23	21	8	56	26	31	5	2	10	11	12
学部生	497	29	52	75	25	118	43	60	12	5	21	28	29
大学院生	227	15	30	19	22	56	31	27	2	1	7	8	9
農学部	239	9	29	28	9	75	12	31	4	2	14	13	13
工学部	258	20	23	47	16	43	31	29	8	3	7	15	16
工学教育部 (BASE含む)	113	10	17	14	12	15	14	14	1	1	3	3	9
農学教育部 (連合大学院含む)	114	5	13	5	10	41	17	13	1	0	4	5	0

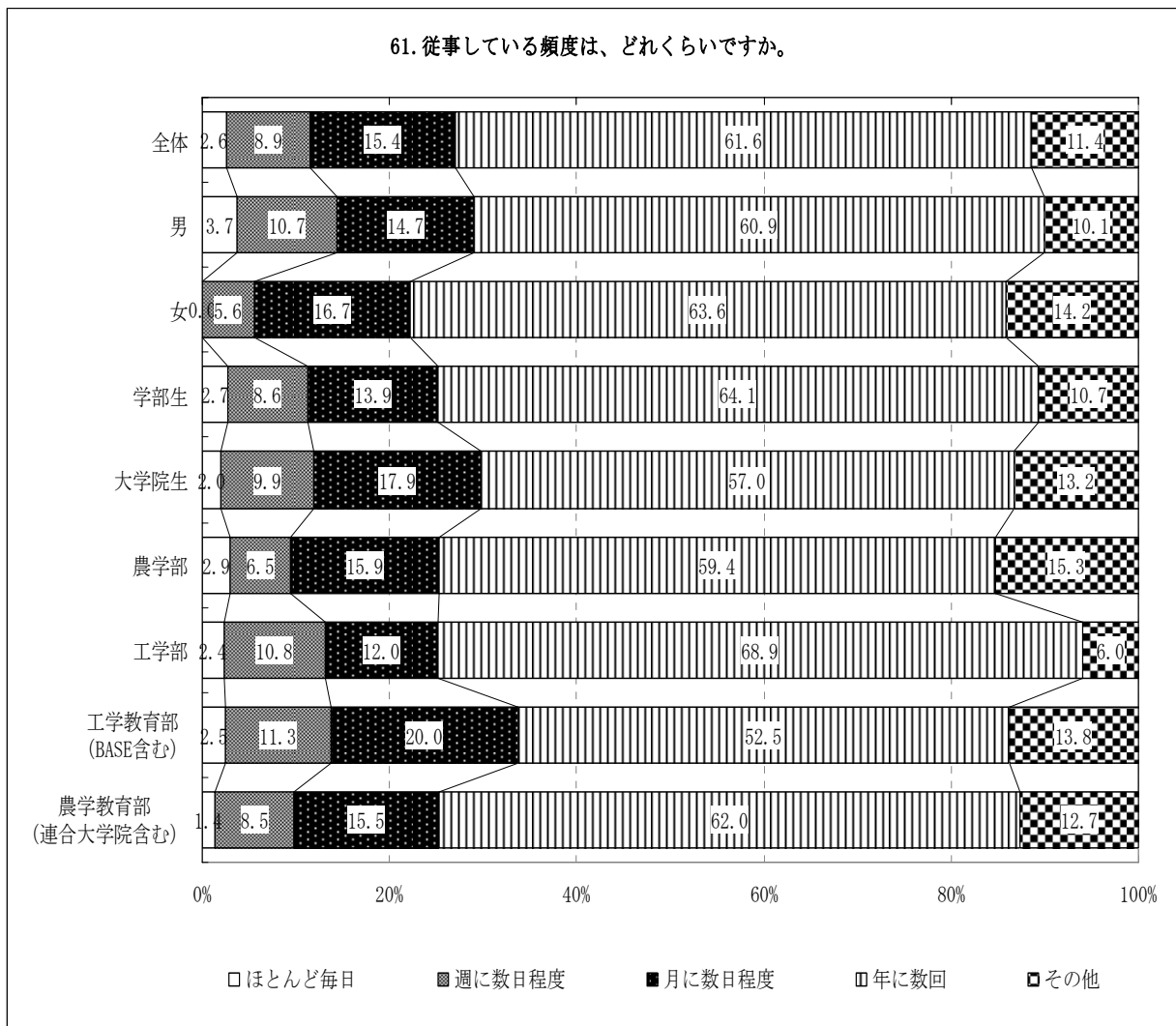


## 6.1. ボランティア活動に従事している頻度

全体的にみると、「年に数回」の割合が最も高く(61.6%)、順に「月に数日程度」(15.4%)、「週に数日程度」(8.9%)である。また、「ほとんど毎日」(2.6%)参加している者も存在している。男子学生と女子学生を比較すると、女子学生は「ほとんど毎日」(0.0%)はごくわずかである。また、学部生と大学院生を比較すると、大学院生は、「月に数日程度」(17.9%)の参加割合が他の群に比較して高い。

両学部生を比較すると、農学部生は「月に数日程度」(15.9%)、工学部生は「年に数回」(68.9%)の参加割合がそれぞれに比較して高い。両教育部生を比較すると、工学教育部生は「月に数日程度」(20.0%)、農学教育部生は「年に数回」(62.0%)の参加割合がそれぞれに比較して高い。

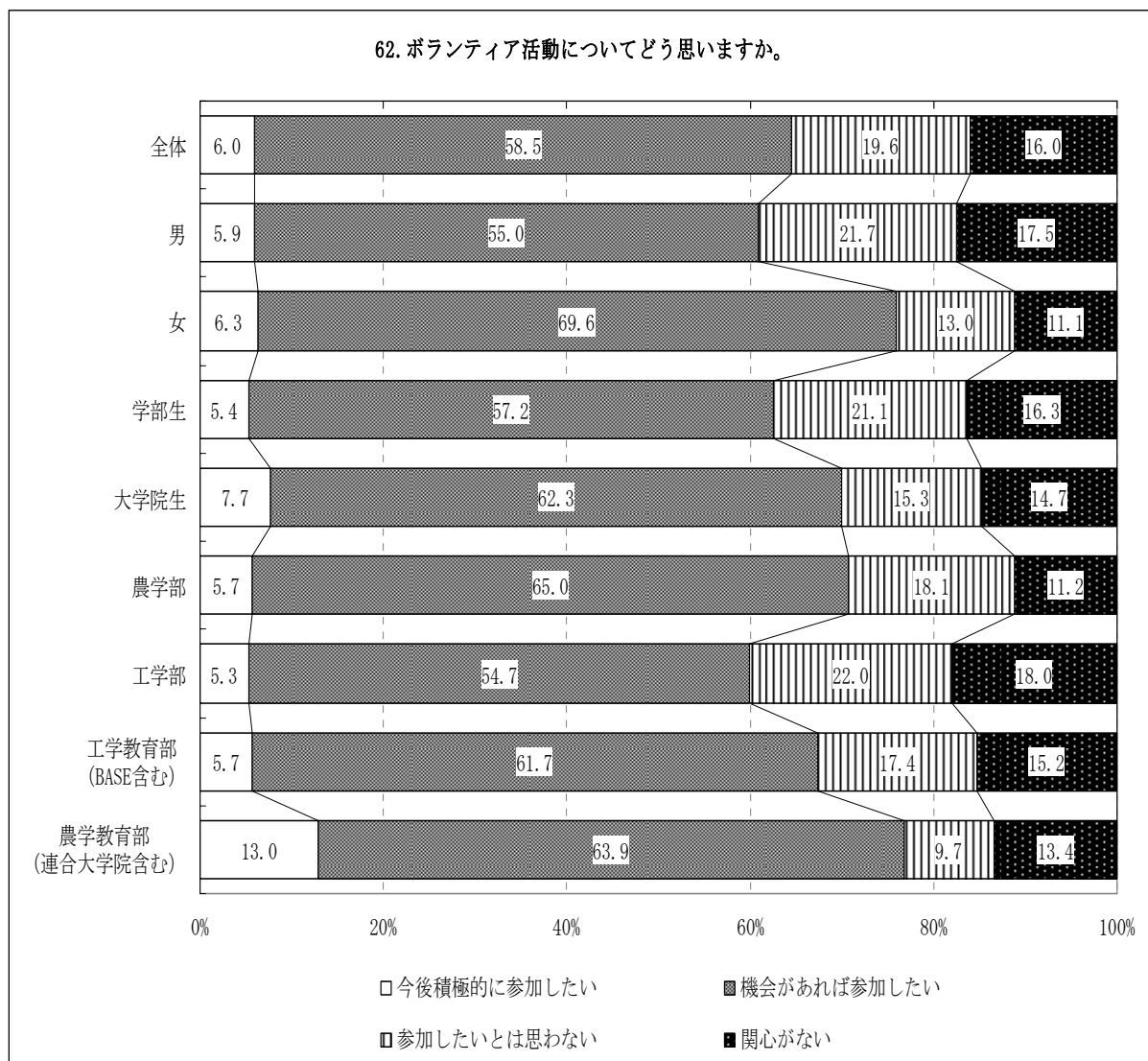
前回と比較すると、全体では「年に数回」(3.6ポイント減)が減少し、「月に数日程度」(0.4ポイント増)、「週に数日程度」(2.8ポイント増)、「ほとんど毎日」(1.0ポイント増)が増加する傾向がみられ、全体としてはボランティアに従事する頻度が高くなる傾向がみられる。これらのことは女子学生より男子学生の方が、また学部生より大学院生(特に工学教育部生)の方がより明らかである。しかし、全体との傾向とは逆に工学部生や農学教育部生はわずかではあるが「ほとんど毎日」や「月に数回」の参加割合が減少し、「年に数回」の参加割合が増加する傾向がみられる。



## 6.2. ボランティア活動参加希望の有無

全体的には、「今後積極的に参加したい」および「機会があれば参加したい」と考えている者が約65%で、「参加したいとは思わない」や「関心がない」が約35%である。男子学生と女子学生を比較すると、女子学生は「今後積極的に参加したい」(6.3%)および「機会があれば参加したい」(69.6%)と考えている者は75%を超え、男子学生(約61%)と比較してボランティア活動に関する関心は高い。学部生と大学院生とを比較すると、大学院生の方が「今後積極的に参加したい」、「機会があれば参加したい」者の割合が高く(合わせて70%)、ボランティア活動に関する関心は高い。両学部生を比較すると、農学部生は「今後積極的に参加したい」、「機会があれば参加したい」者の割合は約70%、工学部生は60%であり、農学部生の方が関心は高い。両教育部生を比較すると、農学教育部生は「今後積極的に参加したい」、「機会があれば参加したい」者の割合が75%を超え、工学教育部生より関心は高い。

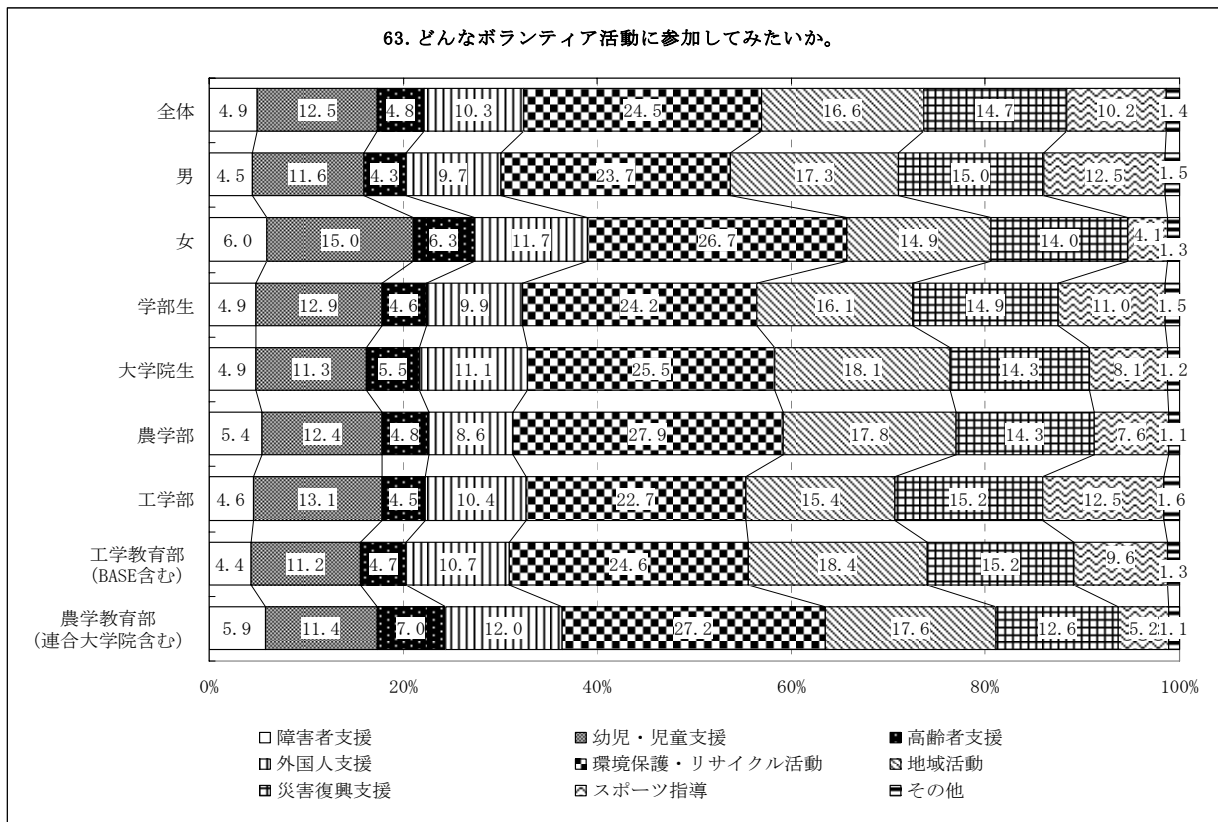
前回と比較すると、全体では「参加したいとは思わない」(15.7%)や「関心がない」(16.0%)と考える者の割合が増加する傾向がみられる。しかし、個別にみると大学院生(特に農学教育部生)は「今後積極的に参加したい」と考えている者の割合が増加している。



### 6.3. してみたいボランティア活動の種類（複数回答）

全回答数は7628件であり、以下のカッコ内のパーセントは全回答数に占める各項目の件数割合を表している。全体的にみると、最も参加してみたいことは「環境保護・リサイクル活動」(24.5%)であり、ついで、「地域活動」(16.6%)、「災害者支援」(14.7%)、「幼児・児童支援」(12.5%)、「外国人支援」(10.3%)および「スポーツ指導」(10.2%)であり、幅広く分布している。男子学生と女子学生を比較すると、男子学生は「スポーツ指導」(12.5%)、女子学生は「幼児・児童支援」(15.0%)がそれぞれに比較して高い割合を示している。学部生と大学院生を比較すると、学部生は「幼児・児童支援」(12.9%)や「スポーツ指導」(11.0%)、大学院生は「環境保護・リサイクル活動」(25.5%)、「地域活動」(18.1%)、「外国人支援」(11.1%)に参加してみたい者の割合がそれぞれに比較して高い。両学部生を比較すると、農学部生は「環境保護・リサイクル活動」(27.9%)、工学部生は「スポーツ指導」(12.5%)に参加してみたい者の割合がそれぞれに比較して高い。両教育部生を比較すると、農学教育部生は「高齢者支援」(7.0%)、「外国人支援」(12.0%)、「環境保護・リサイクル活動」(27.2%)、工学教育部生は「スポーツ指導」(9.6%)、「災害復興支援」(15.2%)、「地域活動」(18.4%)に参加してみたい者の割合が高い。

前回と比較すると、全体では「スポーツ指導」(1.6ポイント増)、「災害復興支援」(1.6ポイント増)、「地域活動」(1.3ポイント増)に参加してみたい者の割合が増加し、「環境保護・リサイクル活動」(2.3ポイント減)が明らかに減少し、「障害者支援」や「高齢者支援」もわずかであるが減少している。また、個別では学部生(工学部生)は「環境保護・リサイクル活動」(3.2ポイント減)に参加してみたい者の割合が減少し、「スポーツ指導」(1.8ポイント増)では増加している。興味深いことに、農学教育部生では他の群が減少した「障害者支援」、「高齢者支援」、「外国人支援」にわずかではあるが増加している。



【回答数】

	合計	障害者支援	幼児・児童支援	高齢者支援	外国人支援	環境保護・リサイクル活動	地域活動	災害復興支援	スポーツ指導	その他
全体	7628	373	952	369	783	1870	1270	1123	780	108
男	5561	248	643	237	542	1320	960	836	694	81
女	2034	122	306	129	237	543	303	285	83	26
学部生	5548	270	717	254	549	1343	892	829	613	81
大学院生	2054	100	232	113	229	523	372	294	166	25
農学部	1636	89	203	79	141	456	291	234	125	18
工学部	3912	181	514	175	408	887	601	595	488	63
工学教育部 (BASE含む)	1355	59	152	64	145	333	249	206	130	17
農学教育部 (連合大学院含む)	699	41	80	49	84	190	123	88	36	8

## 第Ⅷ章 学 生 生 活

### 6 4. 学生生活上の悩み

第1位にあげられた悩みでは多い順に、「学業・研究」33.7%、「進路・就職」26.4%、「対人関係」6.2%「経済事情」5.7%、「精神健康（不安、憂うつ等）」3.4%、「身体健康（体調不調、不眠等）」3.3%、「学外の活動（アルバイト等）」2.0%、「学内の課外活動（サークル等）」1.7%、「その他」0.6%であった。

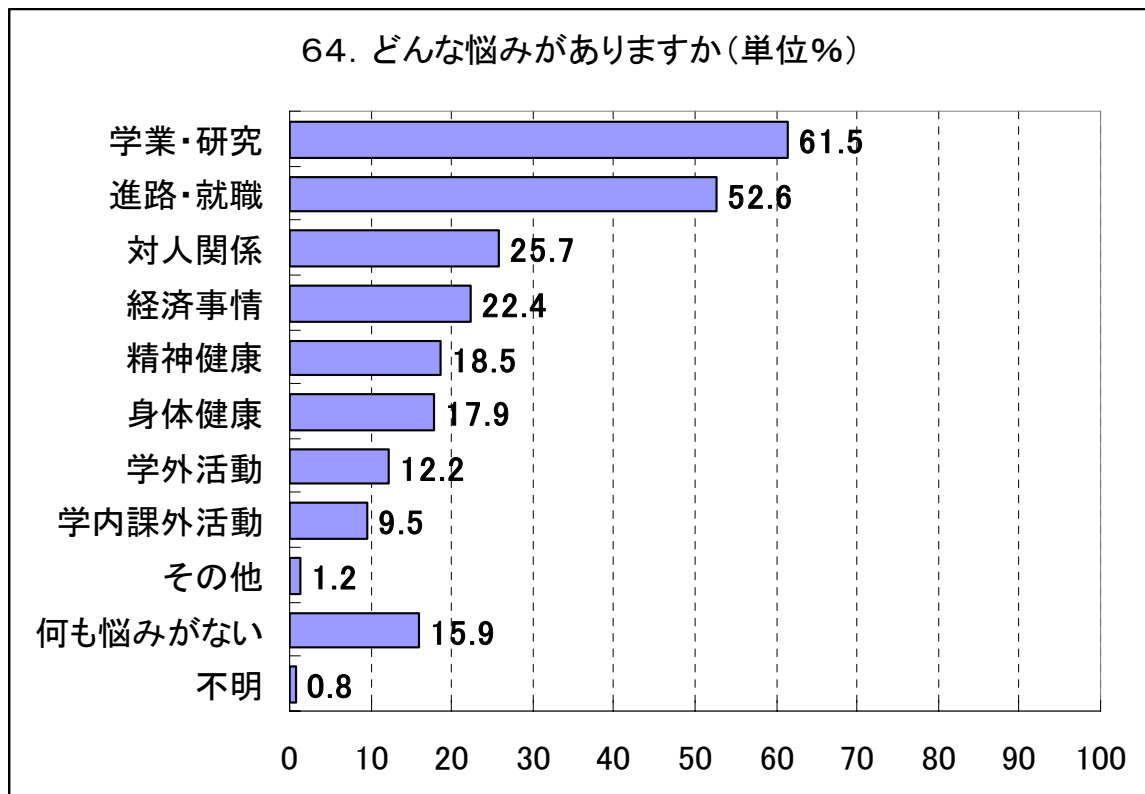
「何も悩みがない」は15.2%、「不明（無回答）」は1.9%であった。したがって何らかの悩みがあったのは、少なく見積もって82.9%と推計される。

総合で見ても、「学業・研究」61.5%、「進路・就職」52.6%、「対人関係」25.7%、「経済事情」22.4%、「精神健康」18.5%、「身体健康」17.9%、「学外の活動」12.2%、「学内の課外活動」9.5%、「その他」1.2%となり、上記の第1位にあげられた順番と同一であった。

第1位にあげられたものを男女別で比較すると、「進路・就職」において男子が25.2%に対して女子は32.0%と男子より約7ポイント高い。総合でも「進路・就職」が男子に比べ約7%高く、「対人関係」において男子の24.2%に対して女子は31.0%というように、これも約7ポイント高い。他の項目に大きな男女差は見られない。

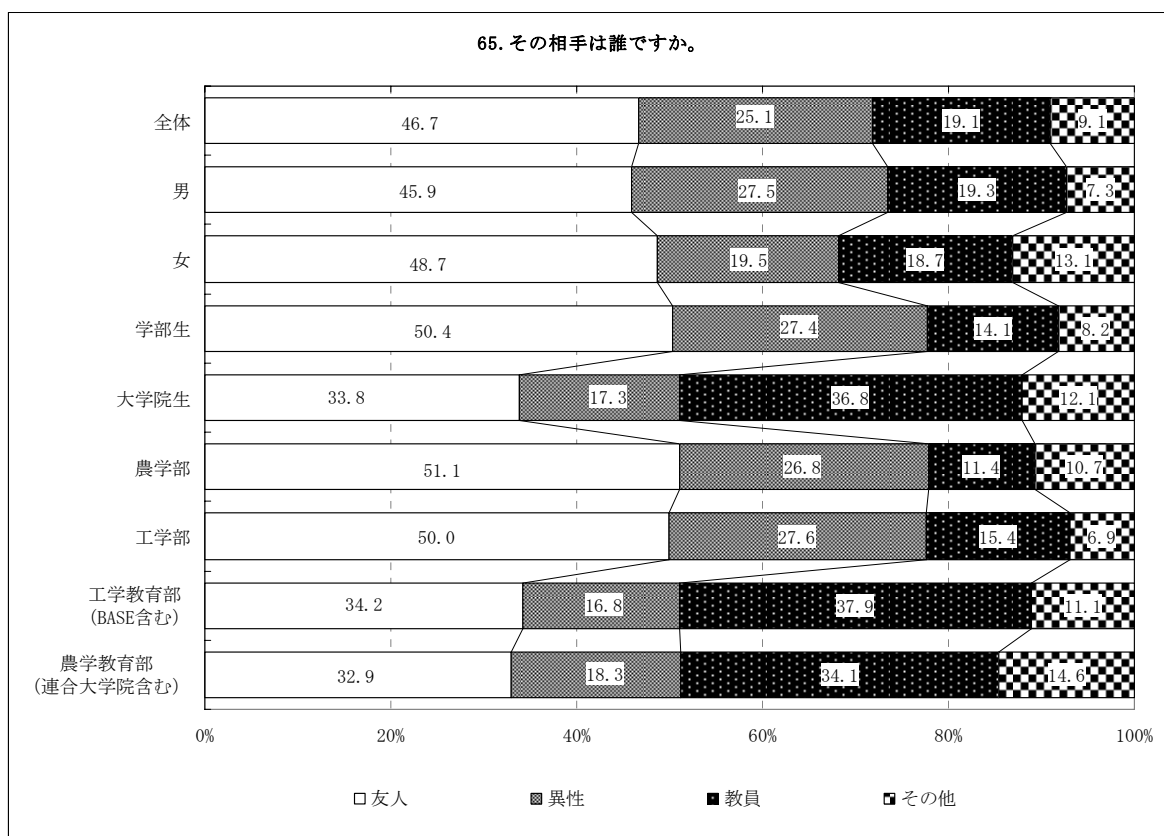
次に総合を所属別で比較すると、学部生と大学院生では「進路・就職」では学部生55.3%、大学院生47.4%と学部生の方がやや高かった。学内外の活動では当然ながら学部生が大学院生より著しく高かった。すなわち、「学内の課外活動」で学部生12.6%、大学院生1.4%、「学外の活動」で学部生15.1%、大学院生4.9%であった。その他の項目では大きな差は見られなかった。すべての項目で学部間に大きな差はなく、教育部同士でも差は見られない。

これを所属4集団で比較すると学内外の活動の他にも、差がやや見られた。「学業・研究」では、悩みの割合の多い順に農学部63.6%、工学部62.6%、工学教育部60.5%、農学教育部56.4%、同じように「進路・就職」では農学部56.7%、工学部54.7%、農学教育部49.7%、工学教育部46.4%、「経済事情」では差がなく、「対人関係」では、農学部31.0%、工学部26.0%、工学教育部22.4%、農学教育部21.2%、「身体健康」では農学部22.9%、工学部17.1%、工学教育部16.4%、農学教育部15.7%、「精神健康」では、農学部22.5%、工学部19.2%、工学教育部15.8%、農学教育部11.9%と、所属により最大約10ポイントの差が認められる。



## 6 5. 対人関係の悩みの相手（複数回答）

958名の有効回答のうち、悩みの相手を「友人」としたものが最も多く61.1%（前回調査67.9%）、次に「異性」が32.9%（前回調査24.0%）、「教員」24.9%（前回調査25.0%）、「その他」11.9%（前回調査14.4%）の順となった。男女差は友人、教員において差が認められないが、「異性」において男子では25.3%、女子では36.5%と割合が約11ポイント男子より高い（前回調査では女子の割合が男子より約1ポイント低い）。所属別では「友人」とした割合は、学部生（67.1%）が大学院生（41.6%）より顕著に高く、また「異性」とした割合も学部生（36.5%）が大学院生（21.3%）より顕著に高かった。それに対して、「教員」は、大学院生（45.2%）が学部生（18.8%）より顕著に高かった。数値は前回調査とほぼ同一である。学部、教育部では農学、工学の差は認められない。

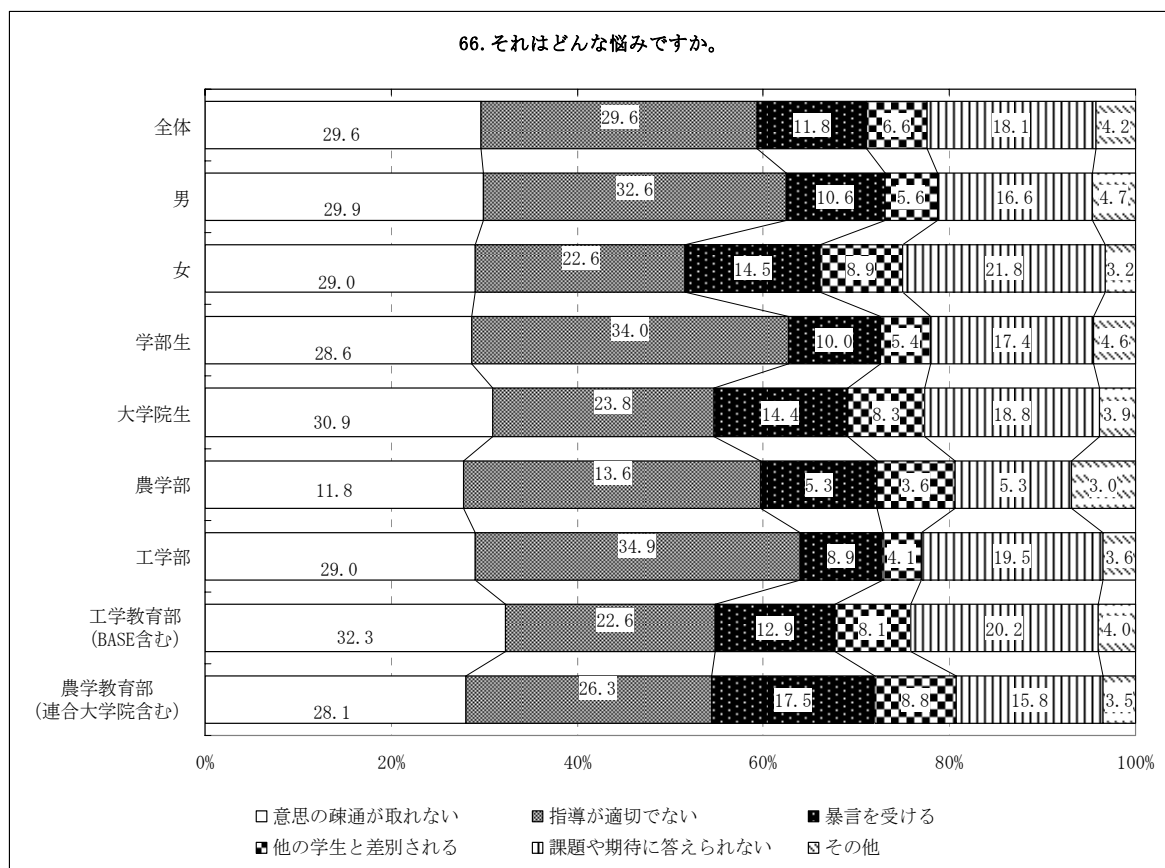


【回答数】

	合計	友人	異性	教員	その他
全体	1253	585	315	239	114
男	876	402	241	169	64
女	374	182	73	70	49
学部生	979	493	268	138	80
大学院生	272	92	47	100	33
農学部	317	162	85	36	34
工学部	662	331	183	102	46
工学教育部 (BASE含む)	190	65	32	72	21
農学教育部 (連合大学院含む)	82	27	15	28	12

## 6.6. 教員をめぐる悩み（複数回答）

悩みの相手を「教員」とした236名の悩みは、「意思の疎通が取れない」が53.4%（前回調査62.1%）、「指導が適切でない」が53.4%（前回53.1%）、「課題や期待に答えられない」32.6%（前回調査せず）、「暴言を受ける」21.2%（前回20.3%）、「他の学生と差別される」11.9%（前回19.8%）、「その他」7.6%（前回15.3%）であった。



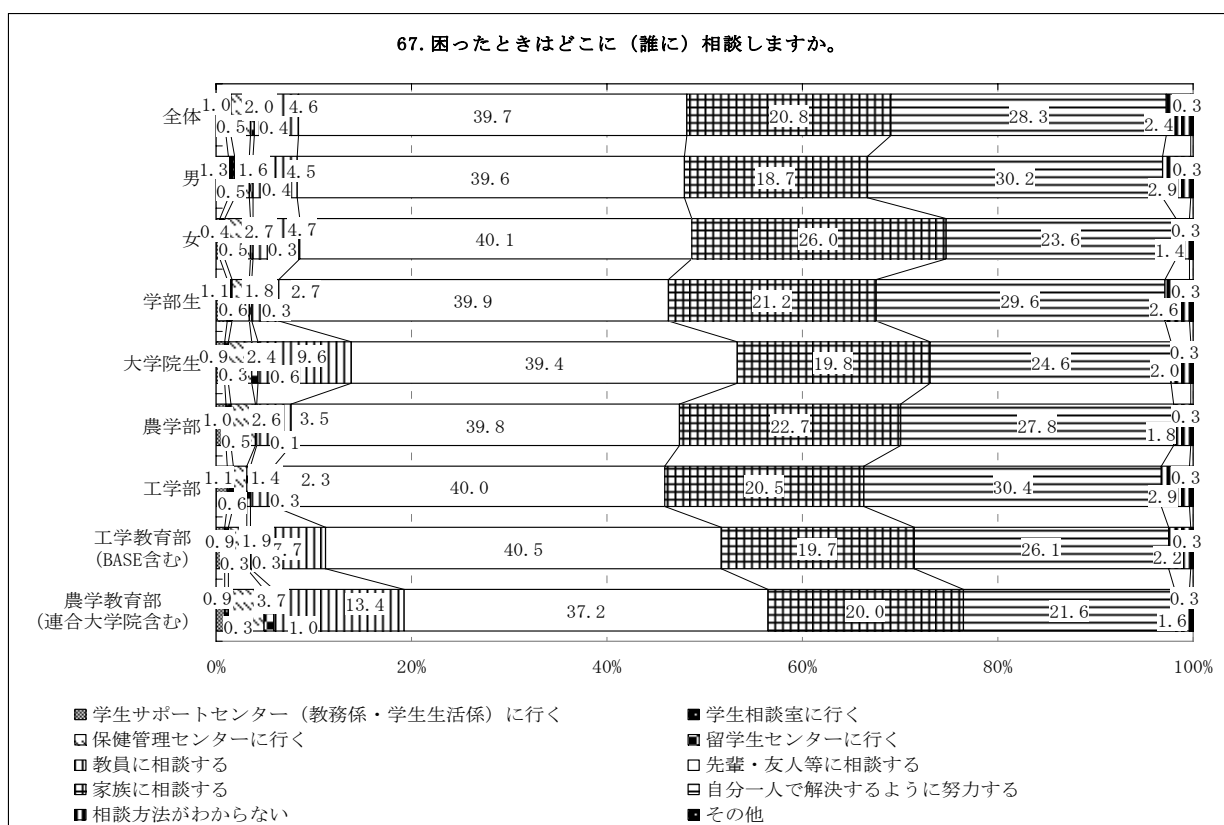
【回答数】

	合計	意思の疎通が取れない	指導が適切でない	暴言を受ける	他の学生と差別される	課題や期待に答えられない	その他
全体	425	126	126	50	28	77	18
男	301	90	98	32	17	50	14
女	124	36	28	18	11	27	4
学部生	241	69	82	24	13	42	11
大学院生	181	56	43	26	15	34	7
農学部	72	20	23	9	6	9	5
工学部	169	49	59	15	7	33	6
工学教育部 (BASE含む)	124	40	28	16	10	25	5
農学教育部 (連合大学院含む)	57	16	15	10	5	9	2

## 67. 相談相手（複数回答）

「先輩・友人等に相談する」70.1%（前回68.8%）、「自分一人で解決するように努力する」49.9%（前回53.7%）、「家族に相談する」36.7%（前回34.0%）であった。以下、割合は低い、「教員に相談する」8.1%（前回7.5%）、「相談方法がわからない」4.3%、「保健管理センターに行く」3.4%（前回2.7%）、「学生サポートセンター（教務係・学生生活係）に行く」1.8%（前回項目なし）「学生相談室に行く」0.9%（前回調査0.8%）、「留学生センターに行く」0.6%（0.4%）であった。「自分一人で解決するように努力する」は前回調査で男子に多かった（男子57.7%、女子47.6%）が、今回調査では大きな差が認められない。「家族」では男子31.2%、女子52.7%、「保健管理センター」では男子2.7%、女子5.5%と男女間に差が認められる。

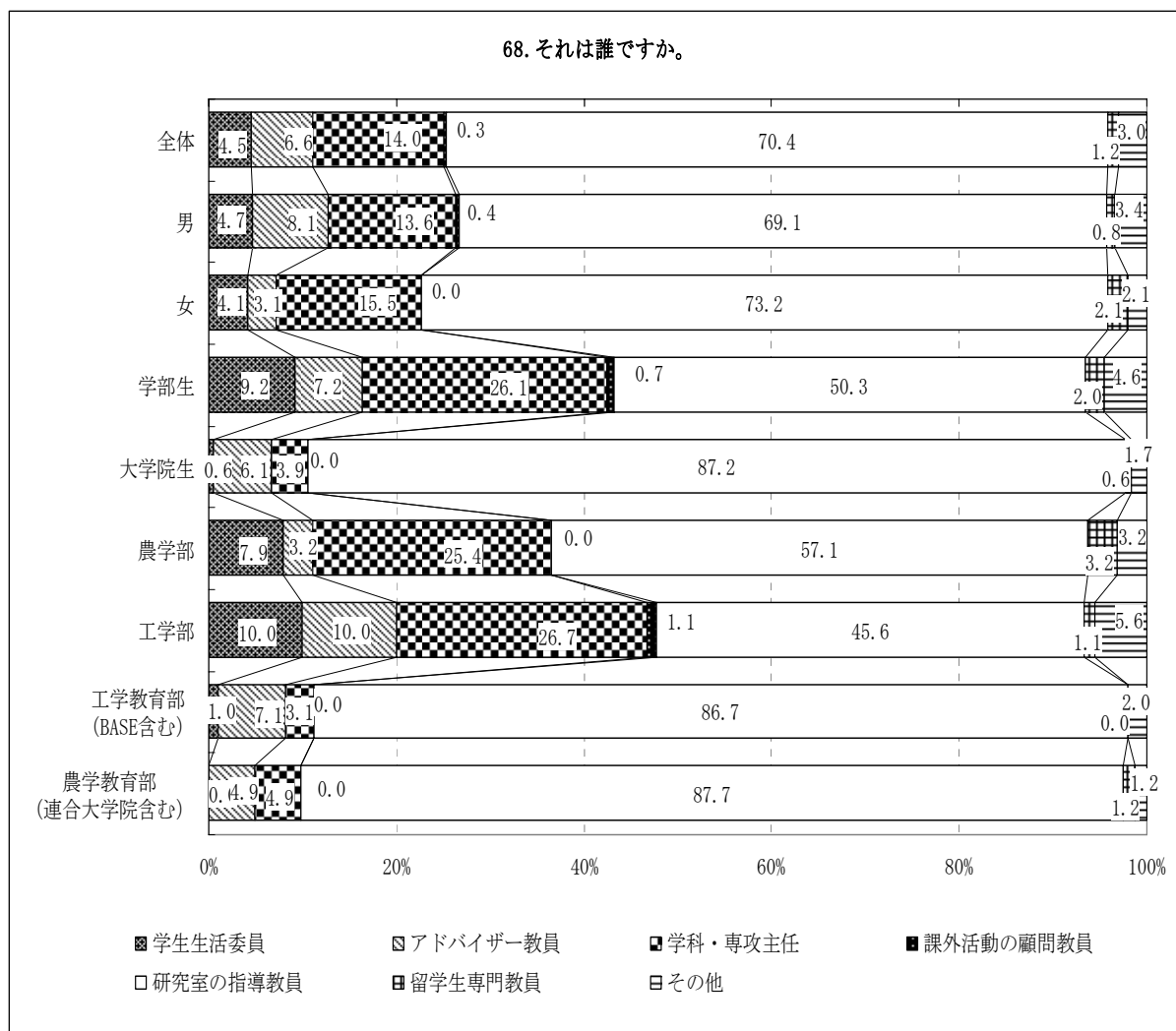
「教員に相談する」とした割合は、学部生4.8%（前回4.0%）に比べ大学院生17.1%（前回16.8%）が圧倒的に高く、大学院生では農学教育部25.5%が工学教育部の13.4%より顕著に高い。学部生では農学部6.9%の方が工学部4.0%より高い。



	合計	学生サポートセンター（教務係・学生生活係）に行く	学生相談室に行く	保健管理センターに行く	留学生センターに行く	教員に相談する	先輩・友人等に相談する	家族に相談する	自分一人で解決するように努力する	相談方法がわからない	その他
全体	100.0	1.0	0.5	2.0	0.4	4.6	39.7	20.8	28.3	2.4	0.3
男	100.0	1.3	0.5	1.6	0.4	4.5	39.6	18.7	30.2	2.9	0.3
女	100.0	0.4	0.5	2.7	0.3	4.7	40.1	26.0	23.6	1.4	0.3
学部生	100.0	1.1	0.6	1.8	0.3	2.7	39.9	21.2	29.6	2.6	0.3
大学院生	100.0	0.9	0.3	2.4	0.6	9.6	39.4	19.8	24.6	2.0	0.3
農学部	100.0	1.0	0.5	2.6	0.1	3.5	39.8	22.7	27.8	1.8	0.3
工学部	100.0	1.1	0.6	1.4	0.3	2.3	40.0	20.5	30.4	2.9	0.3
工学教育部 (BASE含む)	100.0	0.9	0.3	1.9	0.3	7.7	40.5	19.7	26.1	2.2	0.3
農学教育部 (連合大学院含む)	100.0	0.9	0.3	3.7	1.0	13.4	37.2	20.0	21.6	1.6	0.3

## 68. どの教員に相談するか（複数回答）

教員に相談する際、「それは誰ですか。」（複数回答可）の質問には、「研究室の指導教員」80.3%（前回調査83.5%）が圧倒的に多く、次に「学科・専攻主任」16.0%（前回調査8.5%）、「アドバイザー教員」7.5%（前回調査9.0%）、「学生生活委員」5.1%（前回調査5.3%）、「その他」3.4%（前回調査7.4%）、「留学生専門教員」1.4%（前回調査1.6%）、「課外活動の顧問教員」0.3%（前回調査1.6%）であった。

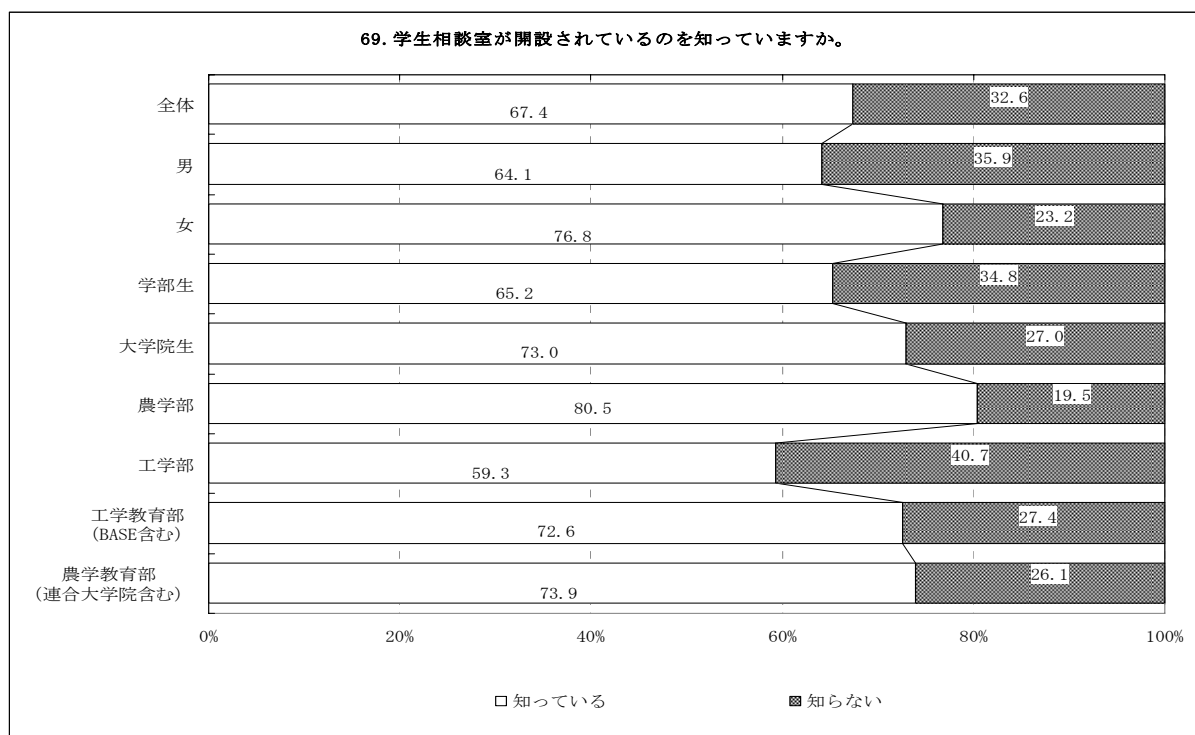


	合計	学生生活委員	アドバイザー教員	学科・専攻主任	課外活動の顧問教員	研究室の指導教員	留学生専門教員	その他
全体	100.0	4.5	6.6	14.0	0.3	70.4	1.2	3.0
男	100.0	4.7	8.1	13.6	0.4	69.1	0.8	3.4
女	100.0	4.1	3.1	15.5	0.0	73.2	2.1	2.1
学部生	100.0	9.2	7.2	26.1	0.7	50.3	2.0	4.6
大学院生	100.0	0.6	6.1	3.9	0.0	87.2	0.6	1.7
農学部	100.0	7.9	3.2	25.4	0.0	57.1	3.2	3.2
工学部	100.0	10.0	10.0	26.7	1.1	45.6	1.1	5.6
工学教育部 (BASE含む)	100.0	1.0	7.1	3.1	0.0	86.7	0.0	2.0
農学教育部 (連合大学院含む)	100.0	0.0	4.9	4.9	0.0	87.7	1.2	1.2



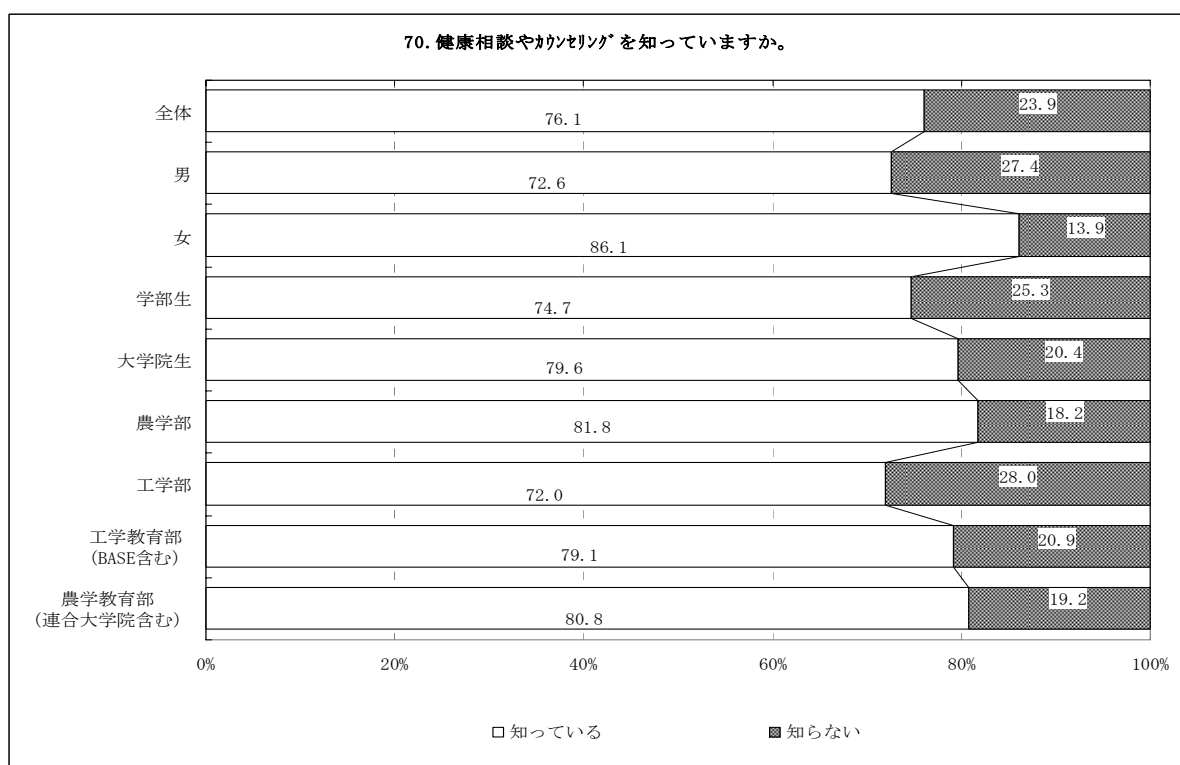
## 69. 学生相談室の認知度

「知っている」と答えた割合が67.4%（前回63.7%）、「知らない」が32.6%（前回36.3%）であった。認知度に学部差と男女差が見られ、「知っている」が男子で64.1%（前回59.3%）、女子で76.8%（前回72.9%）、農学部で80.5%（前回74.6%）、工学部で59.3%（前回55.1%）であった。



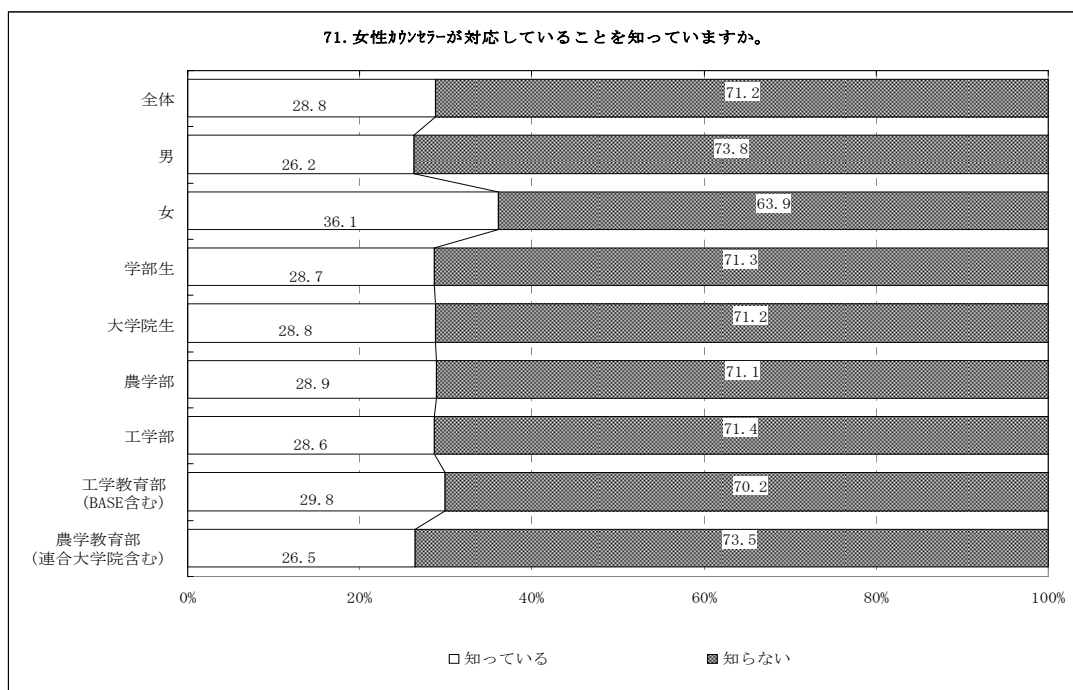
## 70. 保健管理センター専任医師の認知度

「知っている」と答えたもの76.1%、「知らない」23.9%であった。男子72.6%より女子86.1%が知っているとした割合が高く、工学部72.0%より農学部81.8%が知っている割合が高い。



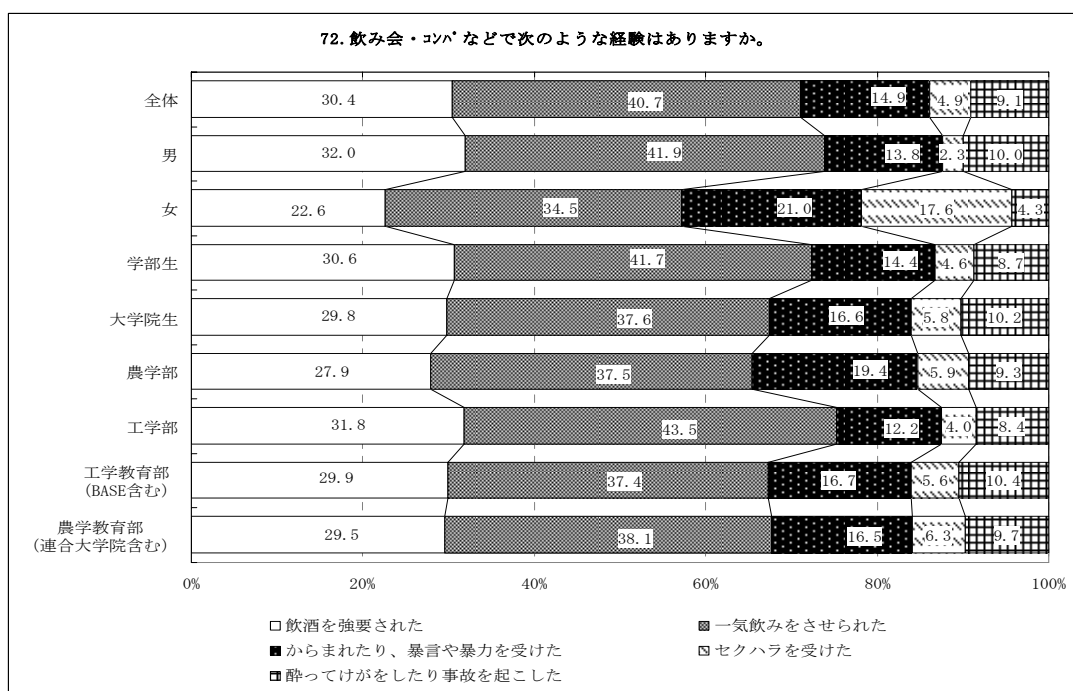
## 7 1. 保健管理センター女性心理カウンセラーの認知度

「知っている」と答えたもの28.8%（前回13.8%）、「知らない」71.2%（前回86.2%）であった。男子26.2%（前回11.3%）より女子36.1%（19.0%）が知っているとした割合が高く、学部間等所属別に差は認められない。



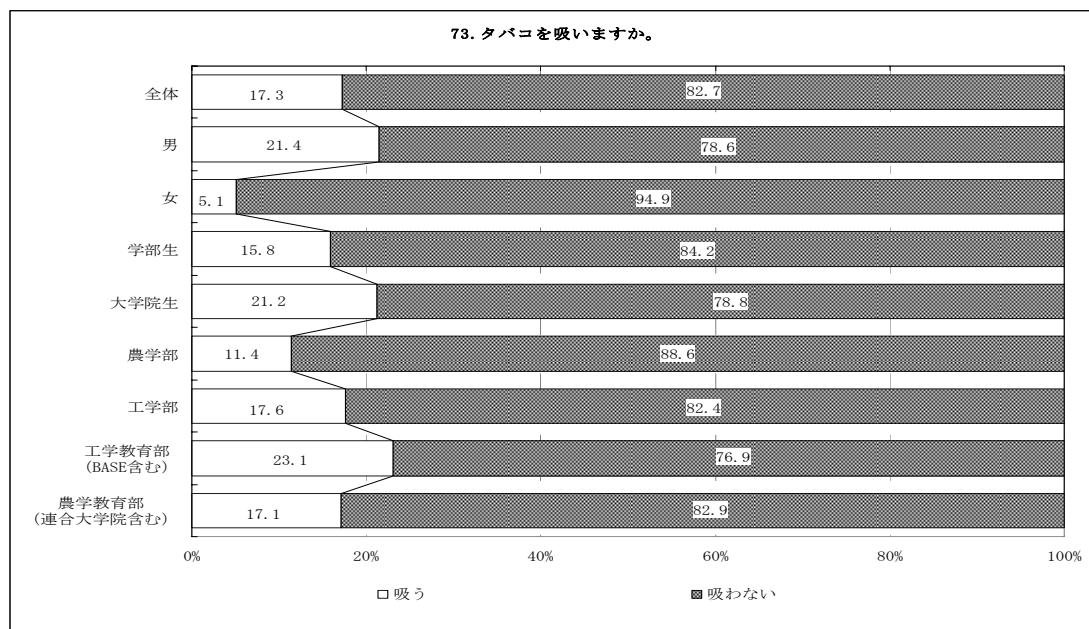
## 7 2. 飲み会・コンパなどでの経験

「飲酒を強要された」20.6%（前回22.2%）、「一気飲みをさせられた」27.3%（前回28.3%）、「酔ったうえでからまれたり、暴言や暴力を受けた」10.0%（前回11.0%）、「酔ったうえでセクハラされた」3.3%（前回3.7%）、「酔ってけがを起こしたり事故を起こした」6.1%（前回6.8%）、無回答27.1%であった。飲み会・コンパなどでセクハラされたと回答した女子は951名中74名で7.8%（前回5.7%）、男子は2808名中49名で1.7%（前回2.8%）であった。



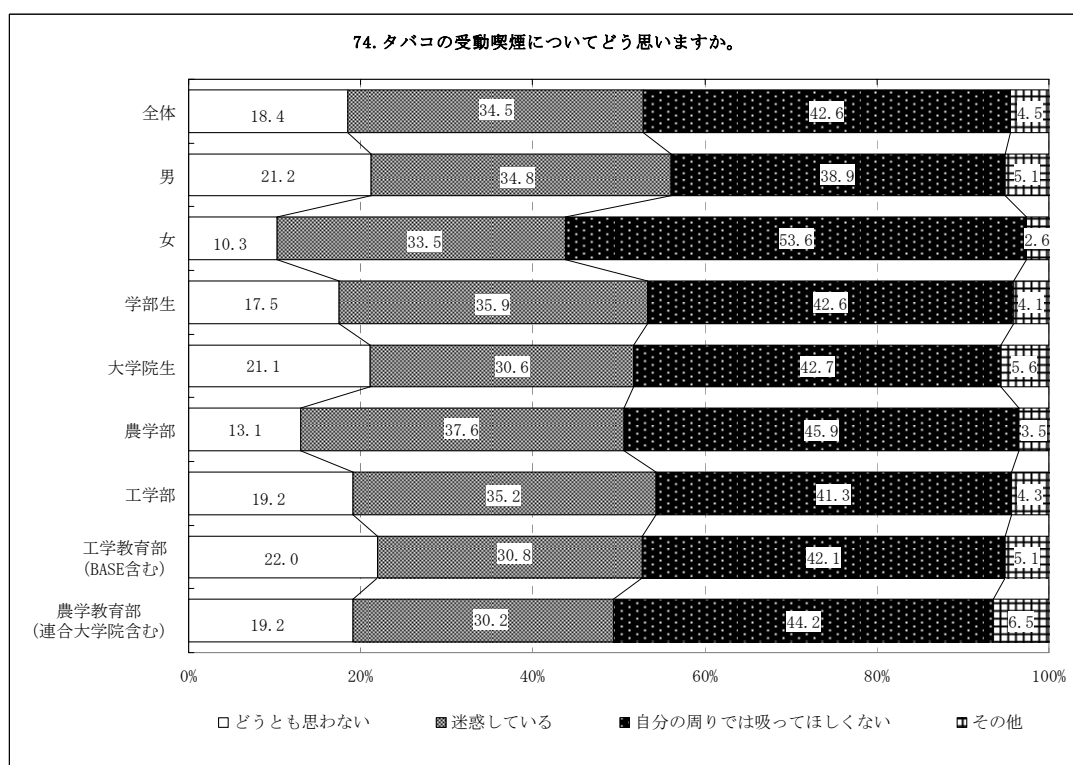
### 73. 喫煙率

「吸う」と回答した割合が17.3%（前回18.5%）、「吸わない」が82.7%（前回81.5%）であった。男子では、「吸う」が21.4%（前回24.9%）、女子では5.1%（前回5.0%）であった。所属別では、農学部の喫煙率が11.4%（前回12.1%）と工学部17.6%（前回18.9%）に比べて低い。大学院生の喫煙率が21.2%（前回24.0%）と学部生15.8%（前回16.2%）より高い。



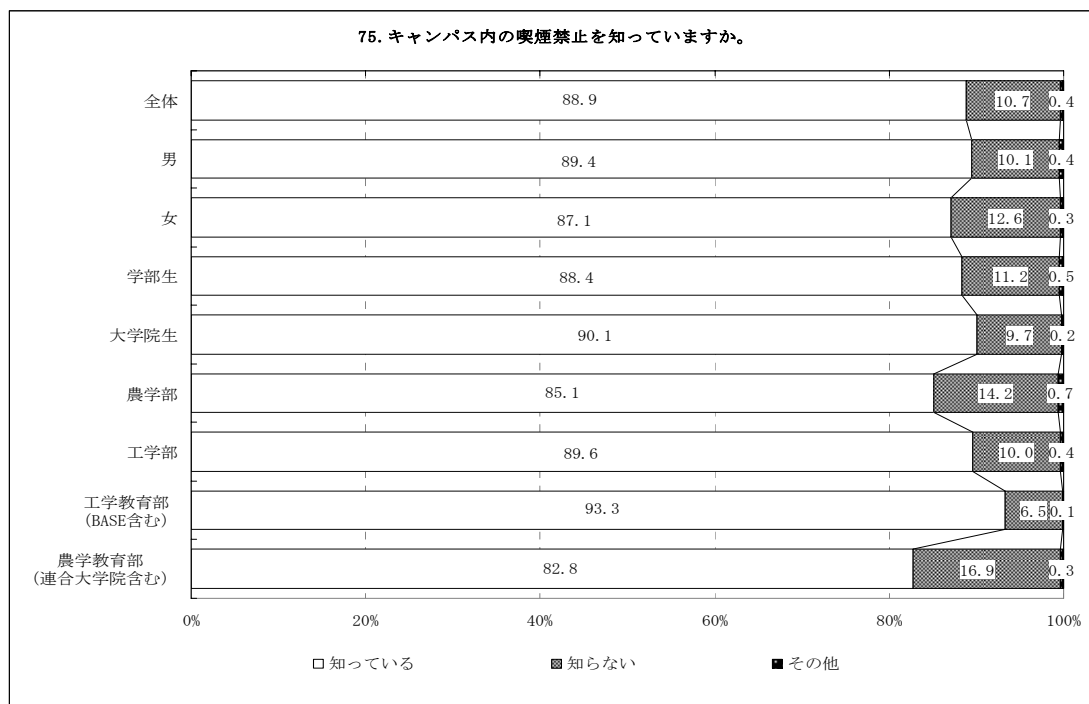
### 74. 受動喫煙について

「自分の周りでは吸ってほしくない」の割合が42.6%（前回42.0%）ともっとも高く、「迷惑している」34.5%（前回35.1%）、「どうとも思わない」18.4%（前回17.4%）、「その他」4.5%（前回5.5%）であった。男子が女子より「どうとも思わない」の割合が顕著に高く、女子が男子より「自分の周りでは吸ってほしくない」と回答した割合が顕著に高い。所属別で大きな差は認められない。



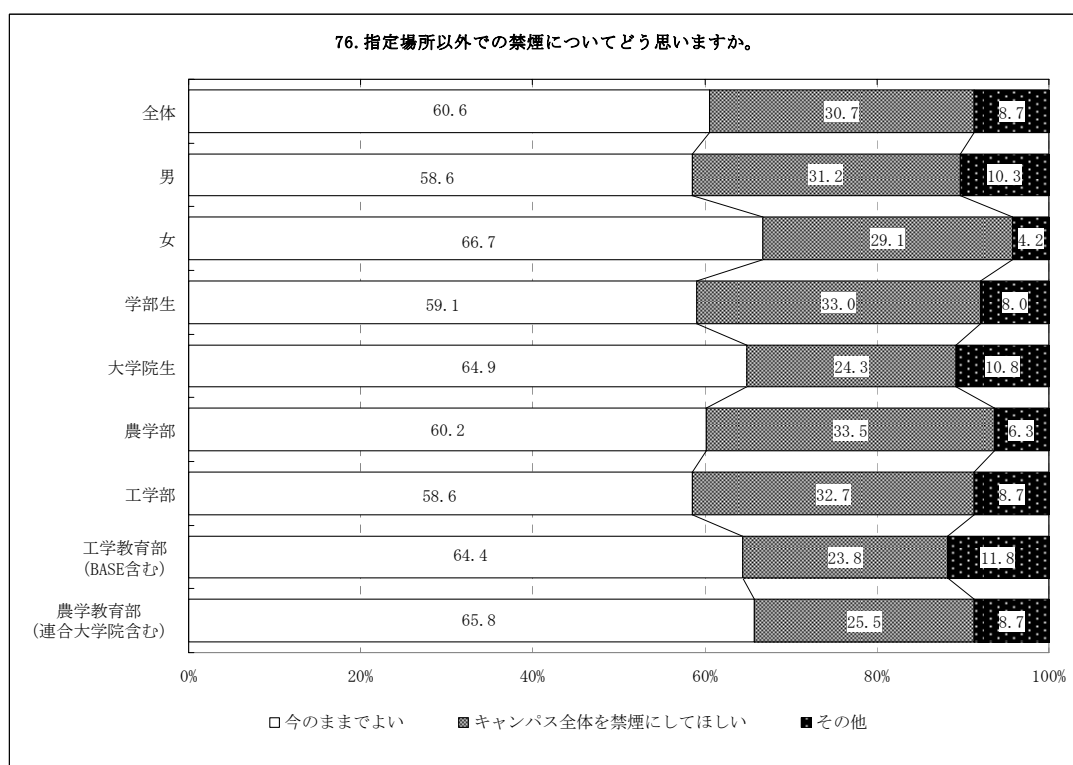
## 75. キャンパス内の喫煙禁止について

「知っている」88.9%、「知らない」10.7%、「その他」0.4%であった。「知らない」と回答した割合は、工学教育部16.9%が農学教育部6.5%よりかなり高い。



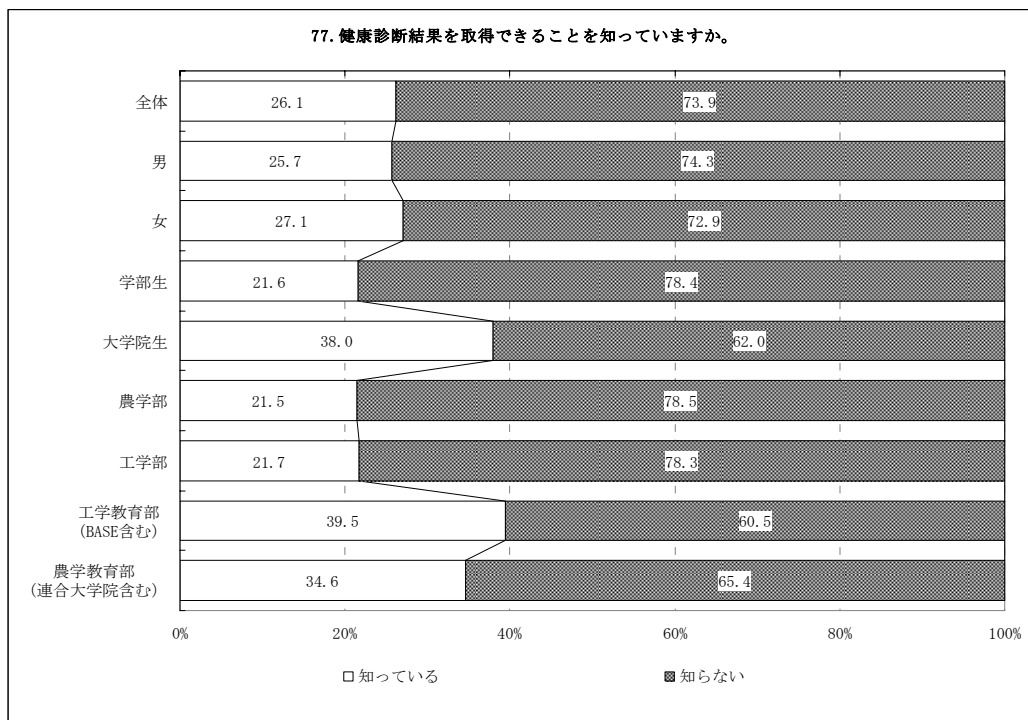
## 76. 指定場所以外の禁煙について

「今のままでよい」60.6%（前回33.6%）、「キャンパス全体を禁煙にしてほしい」30.7%（前回21.4%）、その他8.7%（4.7%）であった。平成17年4月より指定場所以外は全面禁止となり、「今のままでよい」が前回より27ポイント高くなった。



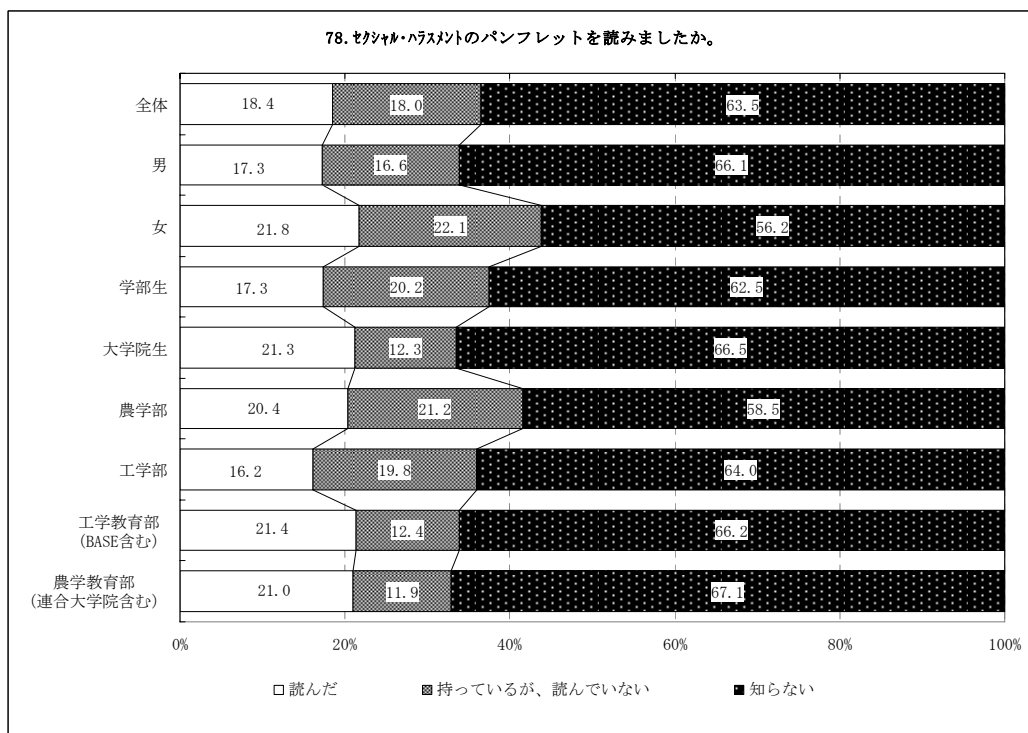
### 77. 健康診断自動閲覧機の認知度

「知っている」26.1%（前回14.7%）、「知らない」73.9%（前回85.3%）であった。



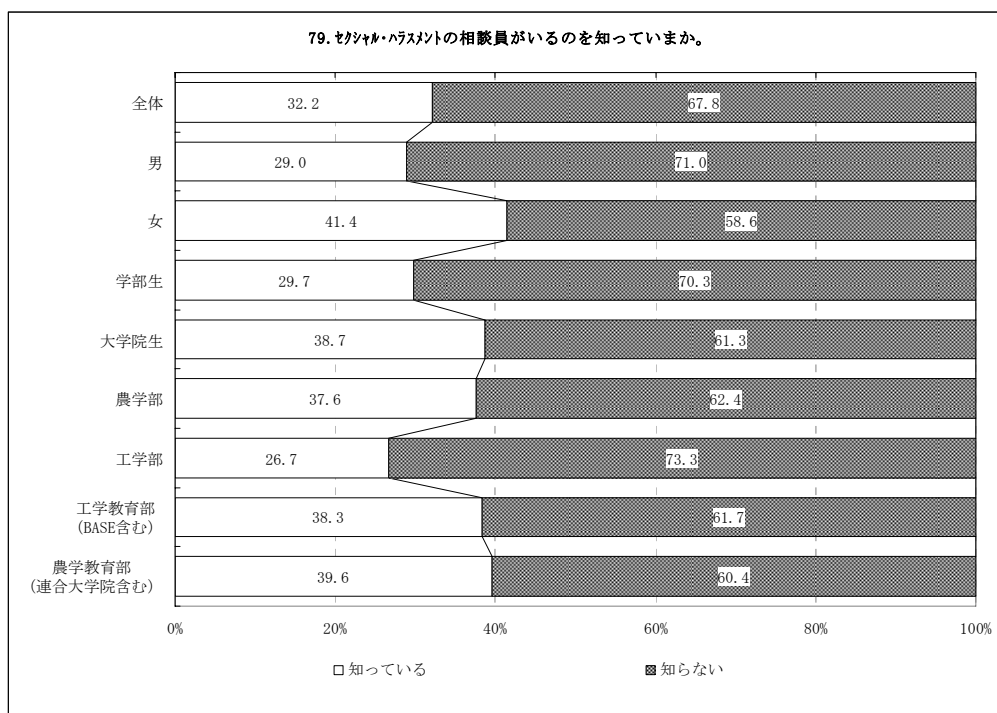
### 78. セクシュアル・ハラスメントのパamフレット

パンフレットを「読んだ」18.4%（前回17.1%）、「持っているが、読んでない」18.0%（前回14.1%）、「知らない」63.5%（前回68.8%）であった。



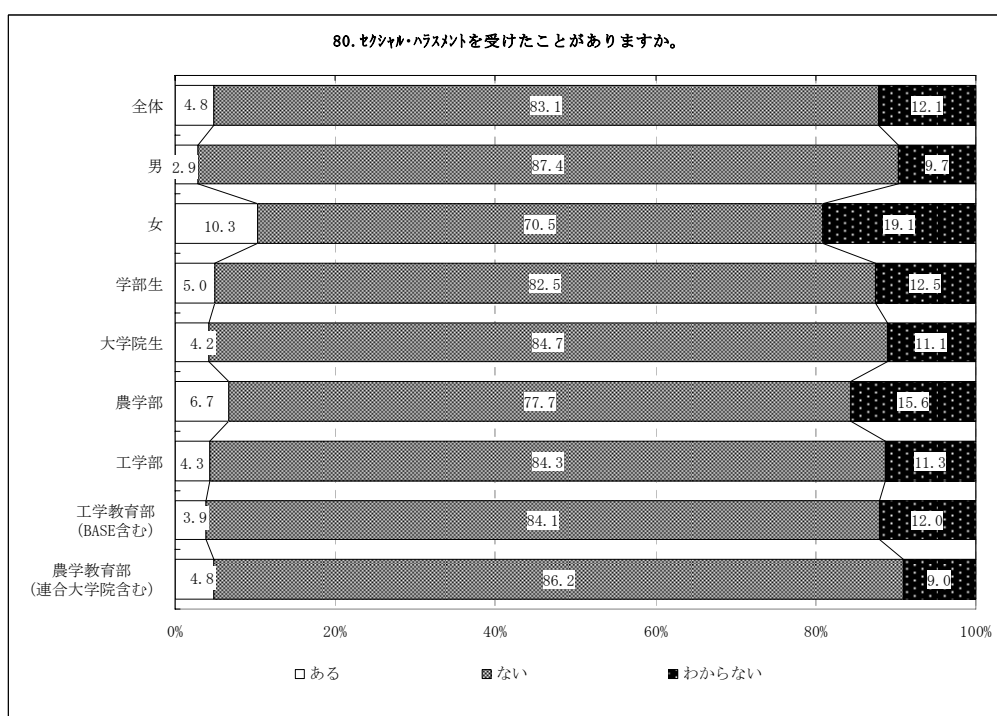
## 79. セクシュアル・ハラスメント相談員

「セクシュアル・ハラスメントについて相談員が対応しているのを知っていますか。」の質問に、「知っている」が32.2%、「知らない」が67.8%であった。



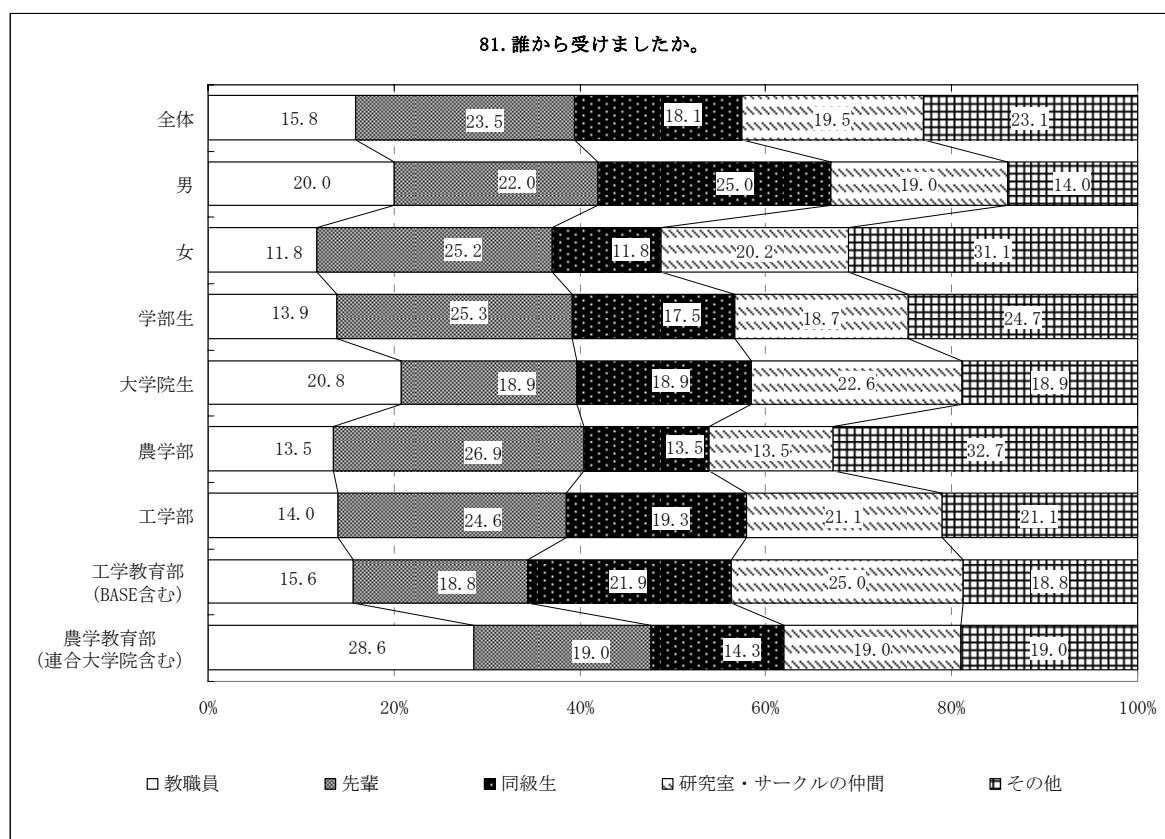
## 80. セクシュアル・ハラスメントを受けた経験

「ある」が4.8%（男子2.9%、女子10.3%）であった。



## 8 1. セクシュアル・ハラスメントを受けた相手（複数回答）

「ある」と回答した178名のうち177名（男子79名、女子96名、性別不明2名）から回答を得た。受けた相手は多い順に、「先輩」29.4%、「その他」28.8%、「研究室・サークルの先輩」24.3%、「同級生」22.6%、「教職員」19.8%であった。グラフのように割合で比較すると、男子が女子に比べ「同級生」、「教職員」の割合が顕著に高く、女子は相手が「その他」の割合が顕著に高い。

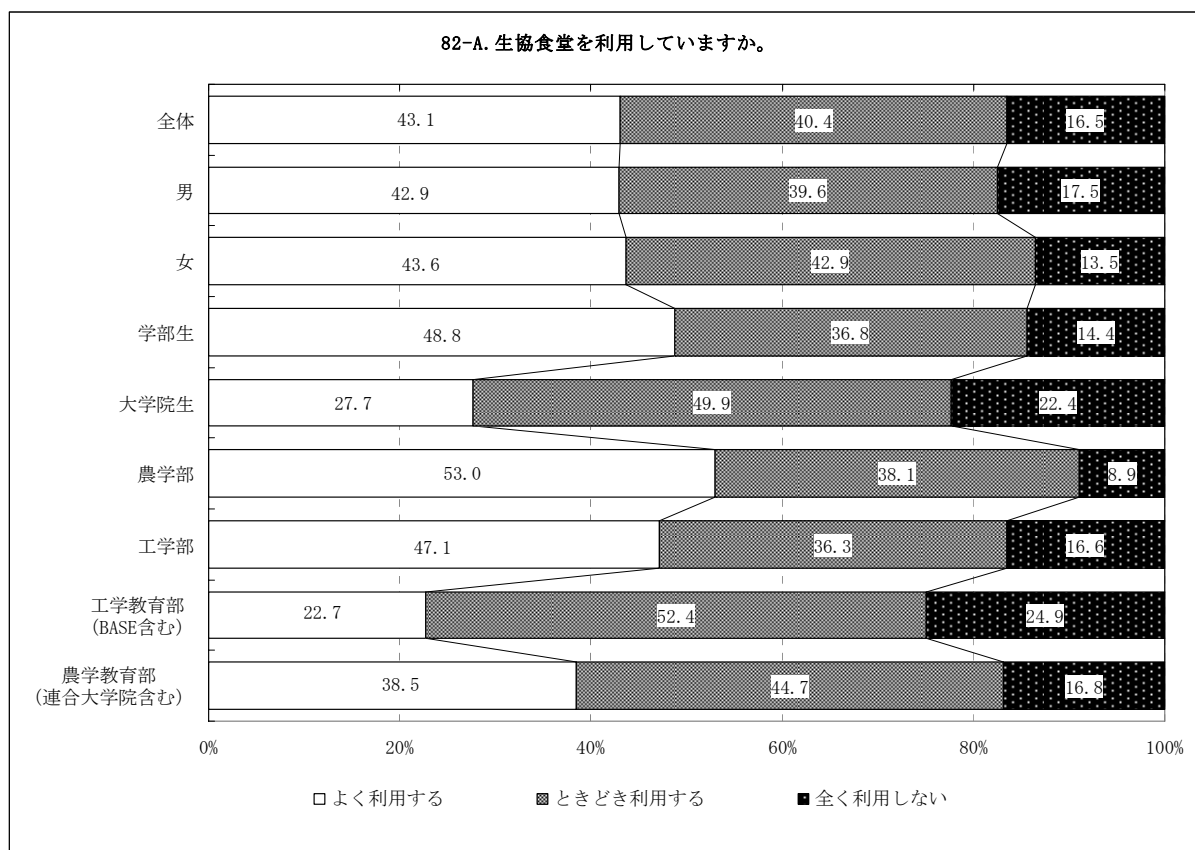


【回答数】

	合計	教職員	先輩	同級生	研究室・サークルの仲間	その他
全体	177	35	52	40	43	51
男	79	20	22	25	19	14
女	96	14	30	14	24	37
学部生	133	23	42	29	31	41
大学院生	42	11	10	10	12	10
農学部	49	7	14	7	7	17
工学部	84	16	28	22	24	24
工学教育部 (BASE含む)	27	5	6	7	8	6
農学教育部 (連合大学院含む)	15	6	4	3	4	4

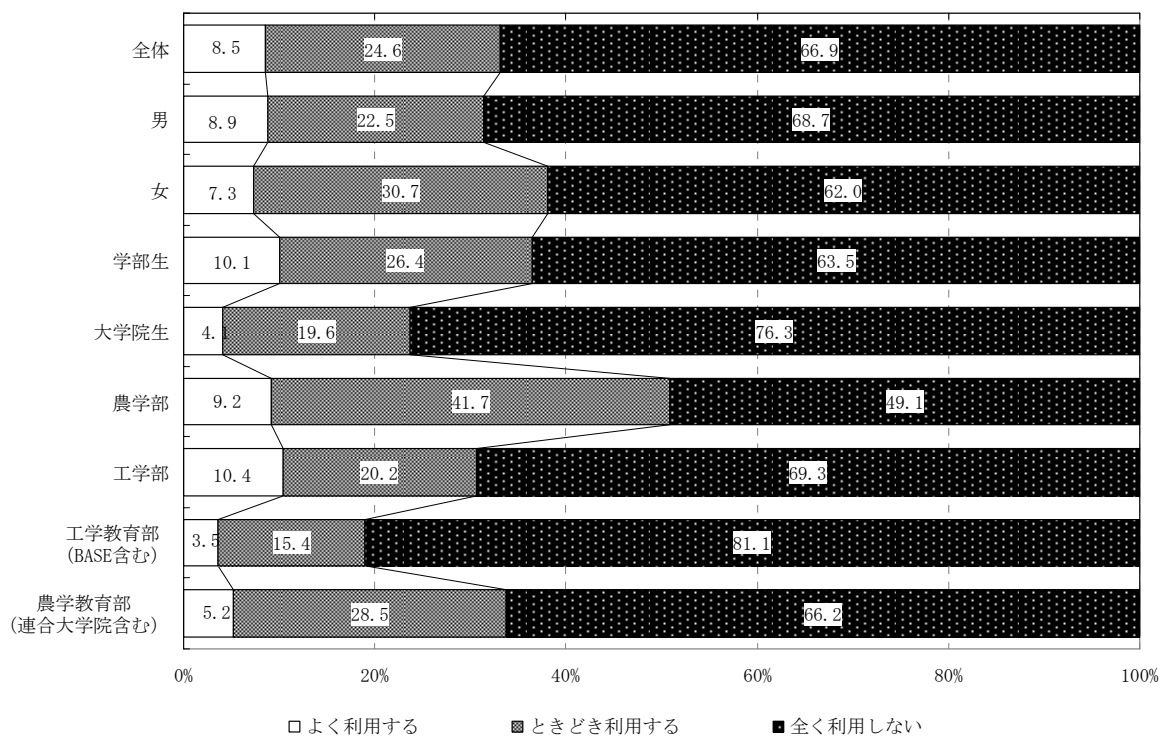
## 8 2. 農学部福利厚生センター及び工学部総合会館の利用状況

- A. 「生協食堂」については、「よく利用する」43.1%（前回45.4%）、「ときどき利用する」40.4%（前回39.9%）、「全く利用しない」16.5%（前回14.7%）であった。男女差はなく、よく利用する割合は、農学部が工学部より高く、学部生48.8%（前回52.5%）が大学院生27.7%（前回28.3%）の2倍弱高い。
- B. 「喫茶室」については、「よく利用する」8.5%（前回7.3%）、「ときどき利用する」24.6%（前回25.2%）、「全く利用しない」66.9%（前回67.5%）であった。男女差はなく、よく利用する割合は、学部間に大きな差は認められない（前回農学部6.3%、工学部11.0%）。
- C. 「売店」については、「よく利用する」43.1%（前回52.8%）、「ときどき利用する」44.2%（前回50.1%）、「全く利用しない」7.8%（前回6.8%）であった。前回の調査より売店の利用が低下している。

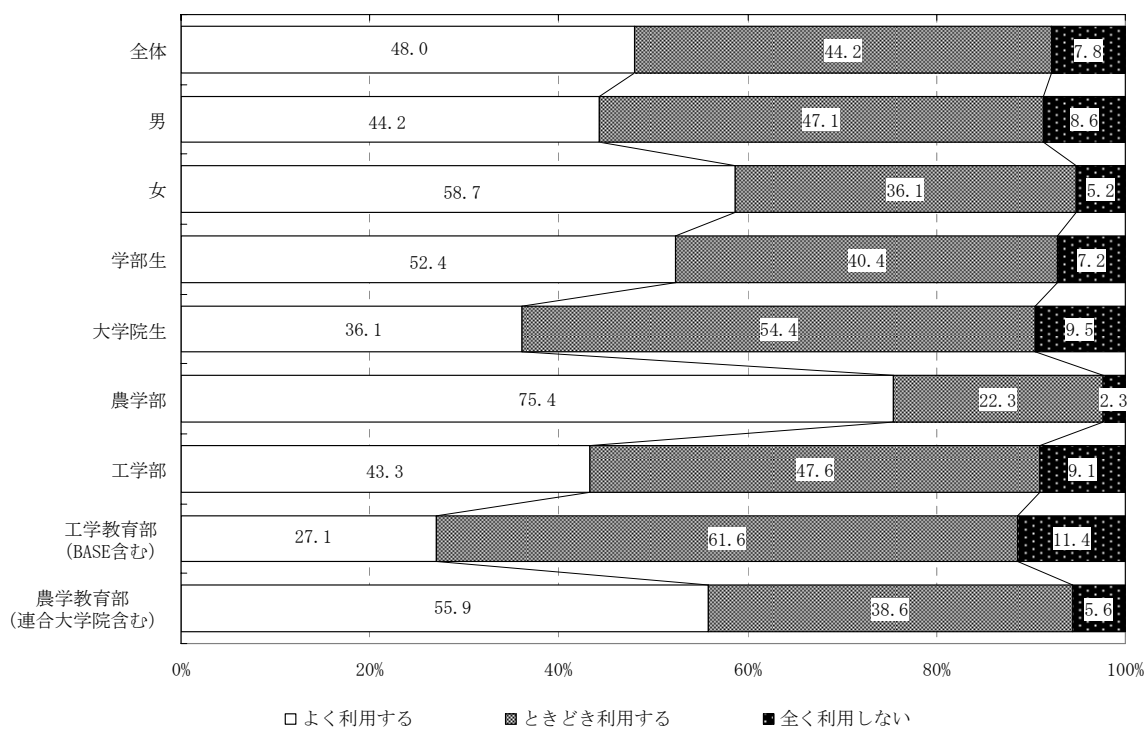




82-B. 喫茶室を利用していますか。

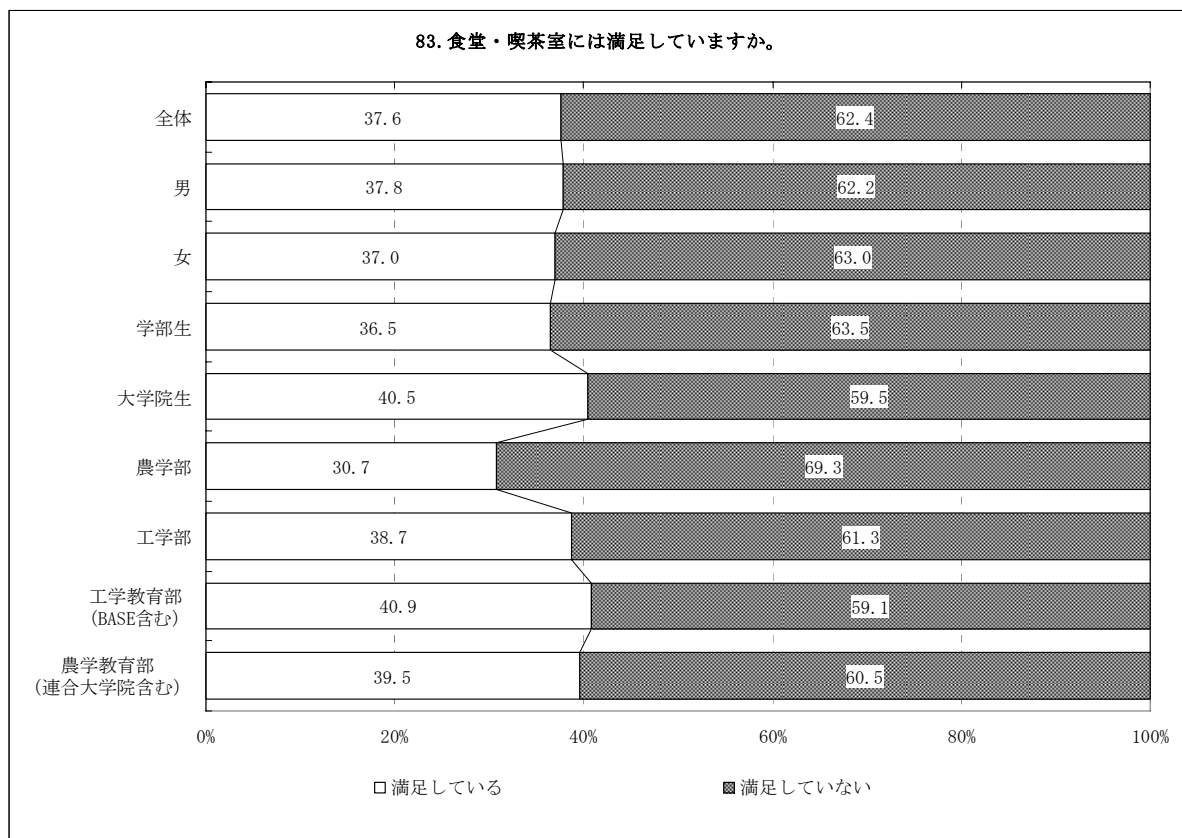


82-C. 売店を利用していますか。



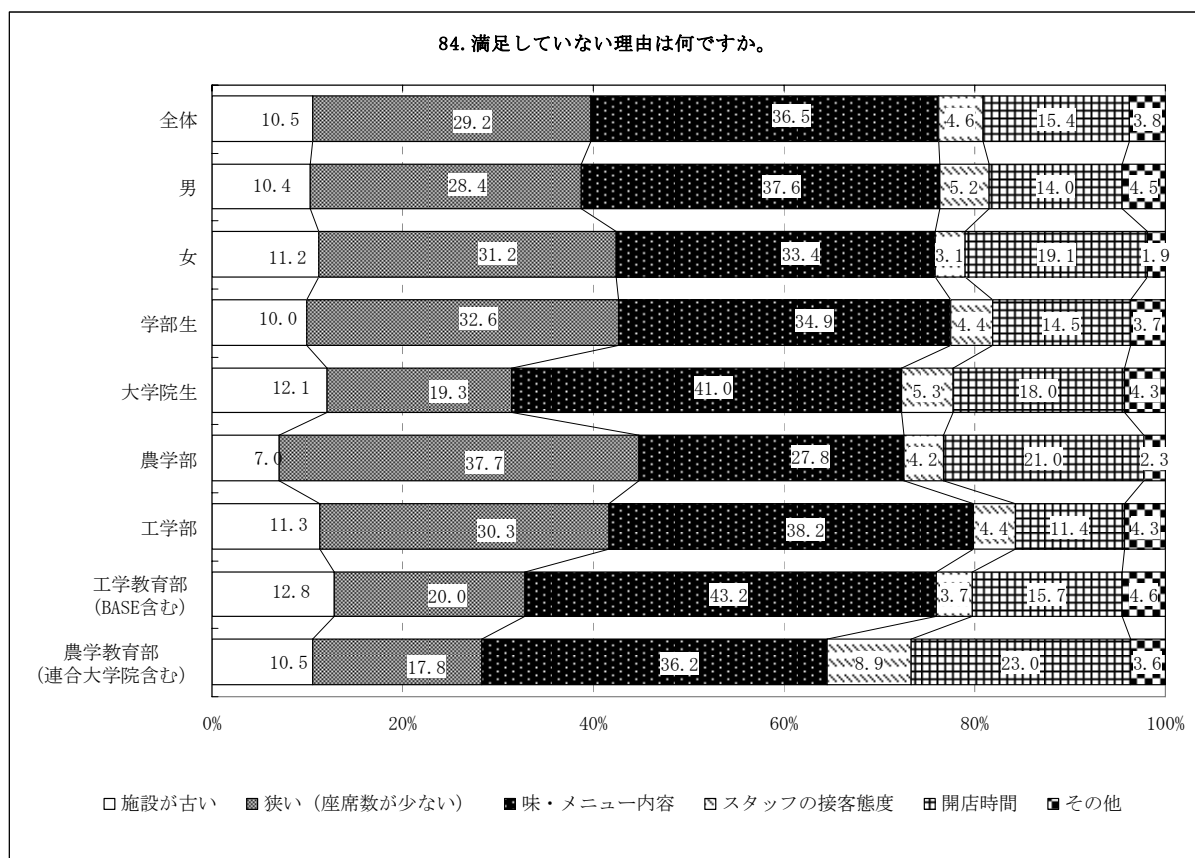
### 83. 食堂・喫茶室の満足度

「満足している」が37.6%（前回35.3%）、「満足していない」が62.4%（前回64.7%）であった。男女差はなく、学部生において農学部（30.7%）より工学部（38.7%）の方が満足している割合が8ポイント高い。



#### 8 4. 食堂・喫茶室に満足していない理由（複数回答）

理由の第1位は、「味・メニュー内容」60.6%、以下順に「狭い（座席数が少ない）」48.4%、「開店時間」25.5%、「施設が古い」17.5%、「スタッフの接客態度」7.7%、「その他」6.3%であった。上位の二つを所属別でみると、「味・メニュー内容」に関して、学部生においては農学部（48.0%）より工学部（67.5%）の方が約20ポイント高く、大学院生においては農学教育部（61.5%）より工学教育部（70.2%）が約9ポイント高い。

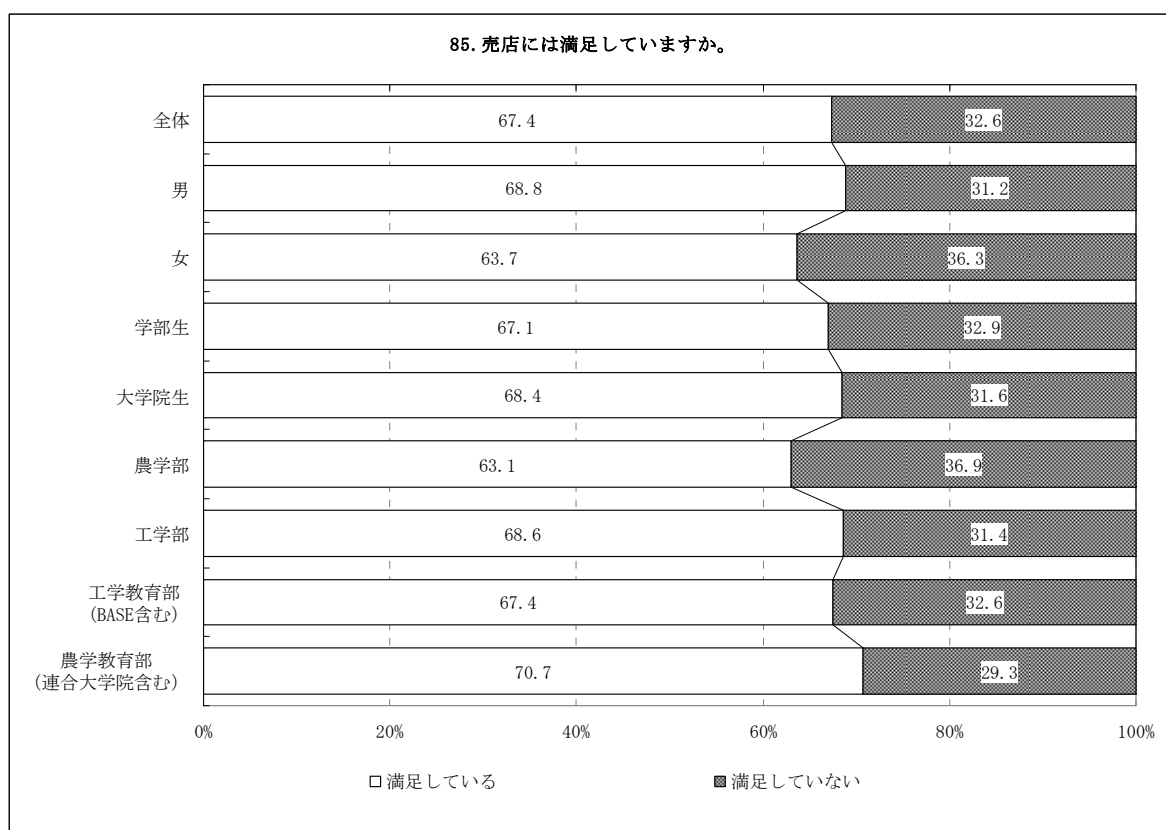


【回答数】

	合計	施設が古い	狭い (座席数が少ない)	味・メニュー内容	スタッフの接客態度	開店時間	その他
全体	3764	397	1098	1374	174	578	143
男	2761	286	783	1039	143	386	124
女	990	111	309	331	31	189	19
学部生	2794	279	911	976	122	404	102
大学院生	959	116	185	393	51	173	41
農学部	881	62	332	245	37	185	20
工学部	1913	217	579	731	85	219	82
工学教育部 (BASE含む)	655	84	131	283	24	103	30
農学教育部 (連合大学院含む)	304	32	54	110	27	70	11

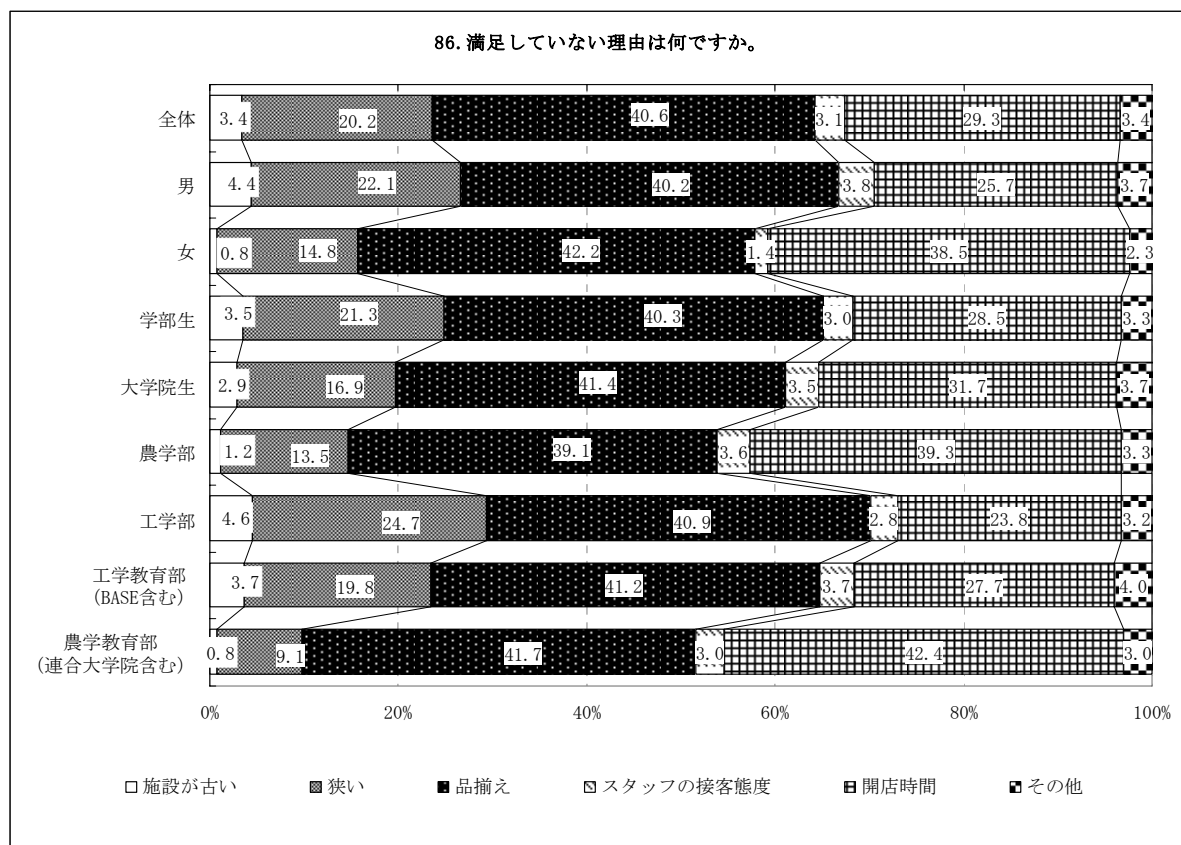
## 85. 売店の満足度

売店については、「満足している」67.4%（前回61.5%）、「満足していない」32.6%（38.5%）であった。性別、所属別で特に差は認められなかった。



## 86. 売店に満足していない理由（複数回答）

満足していない理由（複数回答）の第1位は、「品揃え」64.2%、以下順に「開店時間」46.3%、「狭い」31.9%、「施設が古い」5.4%、「その他」5.3%であった。「狭い」を理由としてあげた割合が農学部20.8%、農学教育部13.8%（府中キャンパス）に比べて、工学部39.5%、工学教育部31.8%（小金井キャンパス）が顕著に高かった。また、「開店時間」をあげた割合は逆に、工学部38.0%、工学教育部44.5%（小金井キャンパス）に比べて、農学部60.6%、農学教育部64.4%（府中キャンパス）が顕著に高かった。

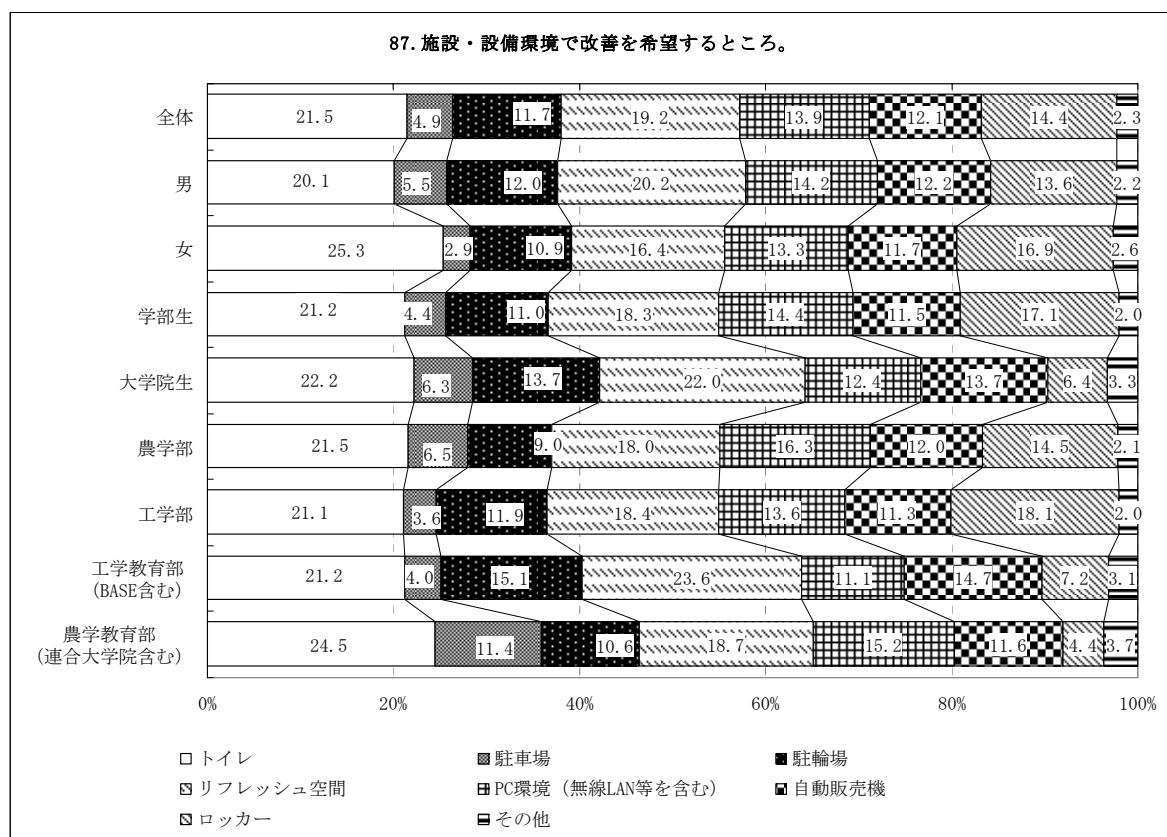


【回答数】

	合計	施設が古い	狭い	品揃え	スタッフの接客態度	開店時間	その他
全体	1878	64	379	763	59	550	63
男	1352	60	299	544	51	348	50
女	512	4	76	216	7	197	12
学部生	1384	49	295	558	42	395	45
大学院生	486	14	82	201	17	154	18
農学部	422	5	57	165	15	166	14
工学部	962	44	238	393	27	229	31
工学教育部 (BASE含む)	354	13	70	146	13	98	14
農学教育部 (連合大学院含む)	132	1	12	55	4	56	4

### 87. キャンパスの施設・設備（講義棟を除く）改善希望（複数回答）

第1位は、「トイレ」41.4%（男子38.5%、女子49.8%）、以下順に「リフレッシュ空間」37.0%、「ロッカー」27.8%、「PC環境」26.8%、「自動販売機」23.3%、「駐輪場」22.5%、「駐車場」（男子10.6%、女子5.7%）、「その他」4.4%であった。トイレ、駐車場以外に男女差は見られなかった。所属別では、「駐車場」改善希望の割合は、農学部14.0%、農学教育部20.4%（府中キャンパス）が、工学部6.8%、工学教育部6.9%（小金井キャンパス）に比べて顕著に高い。

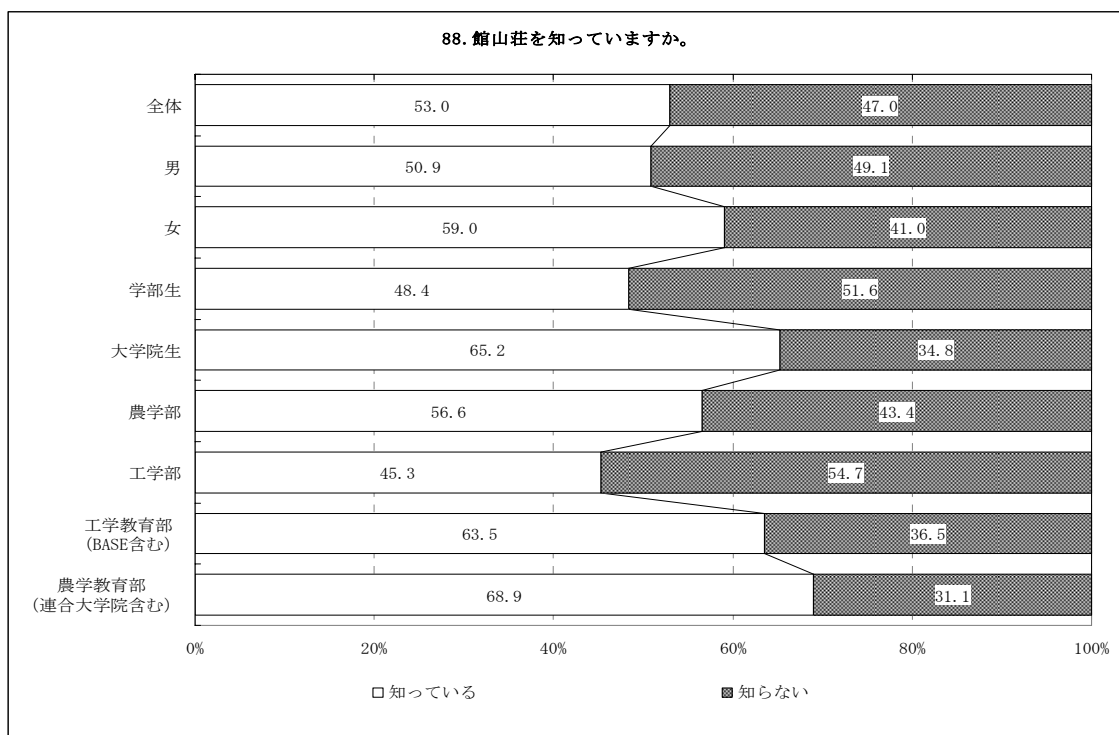


【回答数】

	合計	トイレ	駐車場	駐輪場	リフレッシュ空間	PC環境 (無線LAN等を含む)	自動販売機	ロッカー	その他
全体	6888	1480	336	805	1322	958	833	995	159
男	5082	1022	282	609	1025	720	620	691	113
女	1788	453	52	195	294	237	209	302	46
学部生	5213	1106	231	576	953	751	602	889	105
大学院生	1652	367	104	226	364	205	227	105	54
農学部	1555	335	101	140	280	253	187	226	33
工学部	3658	771	130	436	673	498	415	663	72
工学教育部 (BASE含む)	1133	240	45	171	267	126	167	82	35
農学教育部 (連合大学院含む)	519	127	59	55	97	79	60	23	19

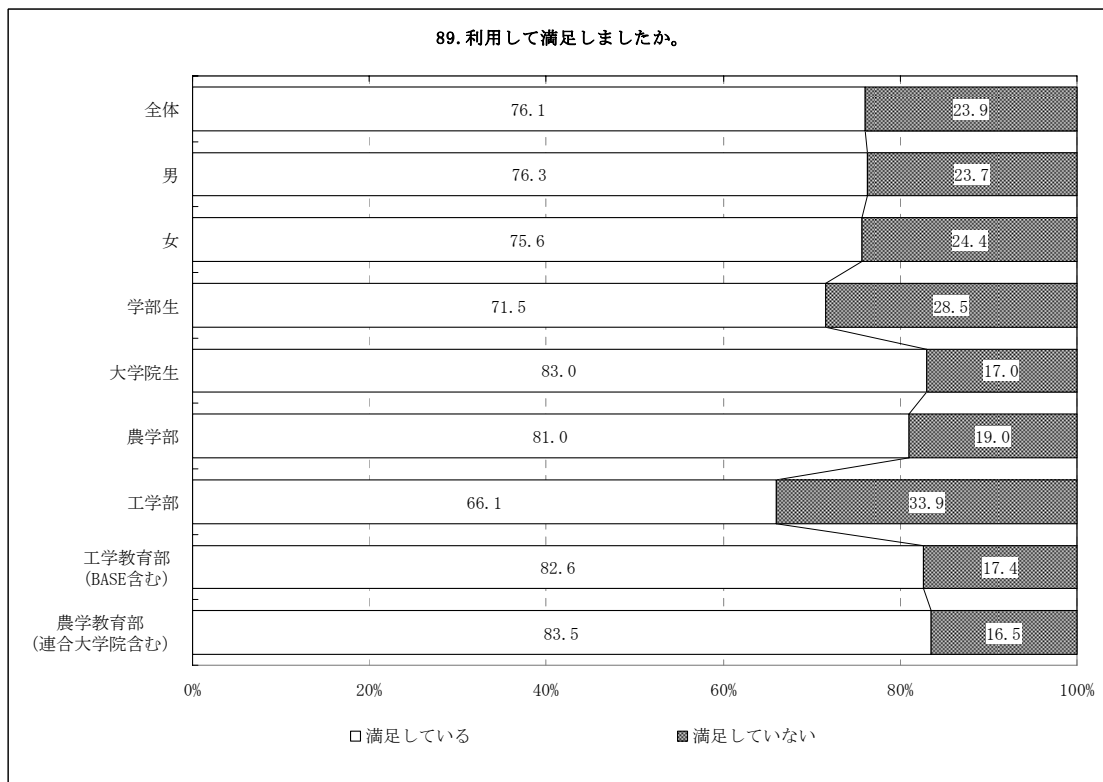
### 88. 合宿研修施設「館山荘」の認知度

「知っている」が53.0%であった。



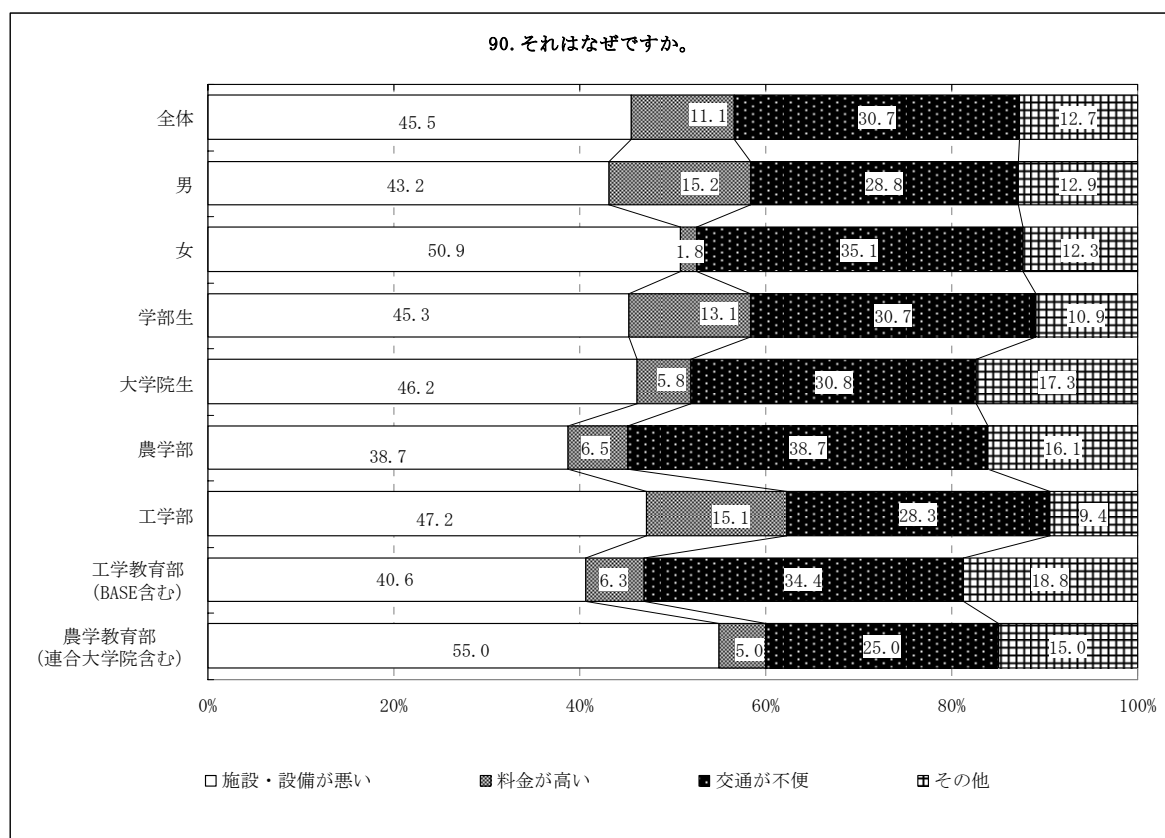
### 89. 館山荘の満足度

「利用して満足しましたか。」の質問には、「満足した」が76.1%であった。学部生より大学院生、工学部より農学部の方が満足したと回答した。



## 90. 館山荘に満足していない理由

理由の第1位は「施設・設備が悪い」54.4%（男子51.4%、女子61.7%）、以下順に「交通が不便」36.7%（男子34.2%、女子42.6%）、「料金が高い」（男子18.0%、女子2.1%）、「その他」15.2%であった。



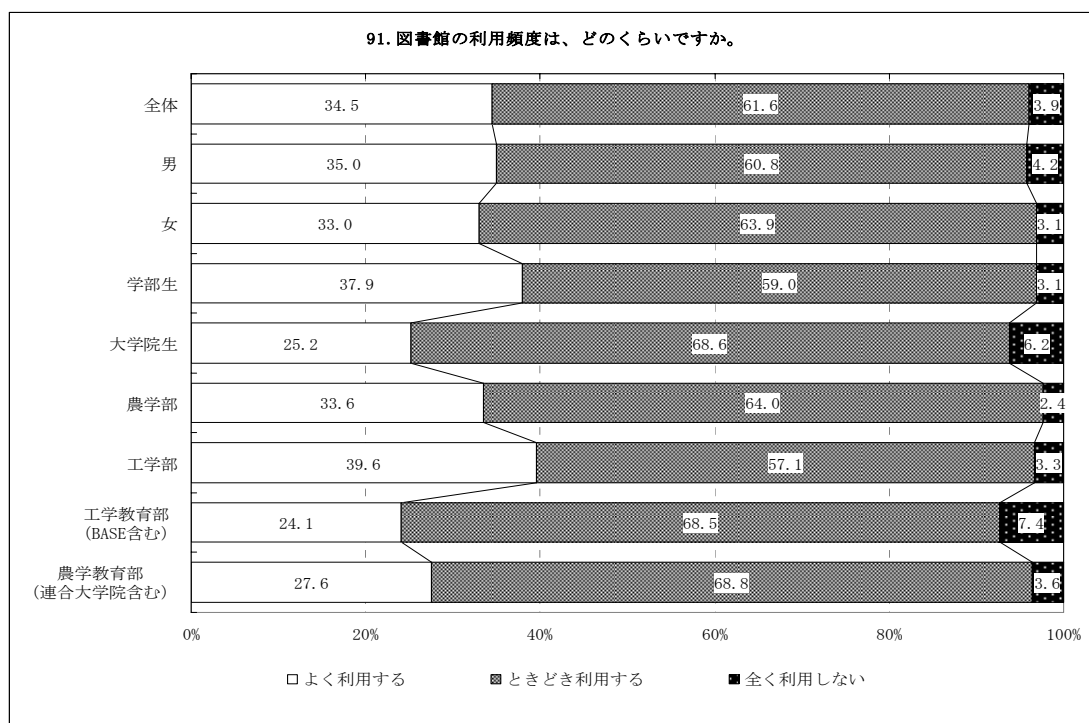
【回答数】

	合計	施設・設備が 悪い	料金が高い	交通が不便	その他
全体	189	86	21	58	24
男	132	57	20	38	17
女	57	29	1	20	7
学部生	137	62	18	42	15
大学院生	52	24	3	16	9
農学部	31	12	2	12	5
工学部	106	50	16	30	10
工学教育部 (BASE含む)	32	13	2	11	6
農学教育部 (連合大学院含む)	20	11	1	5	3



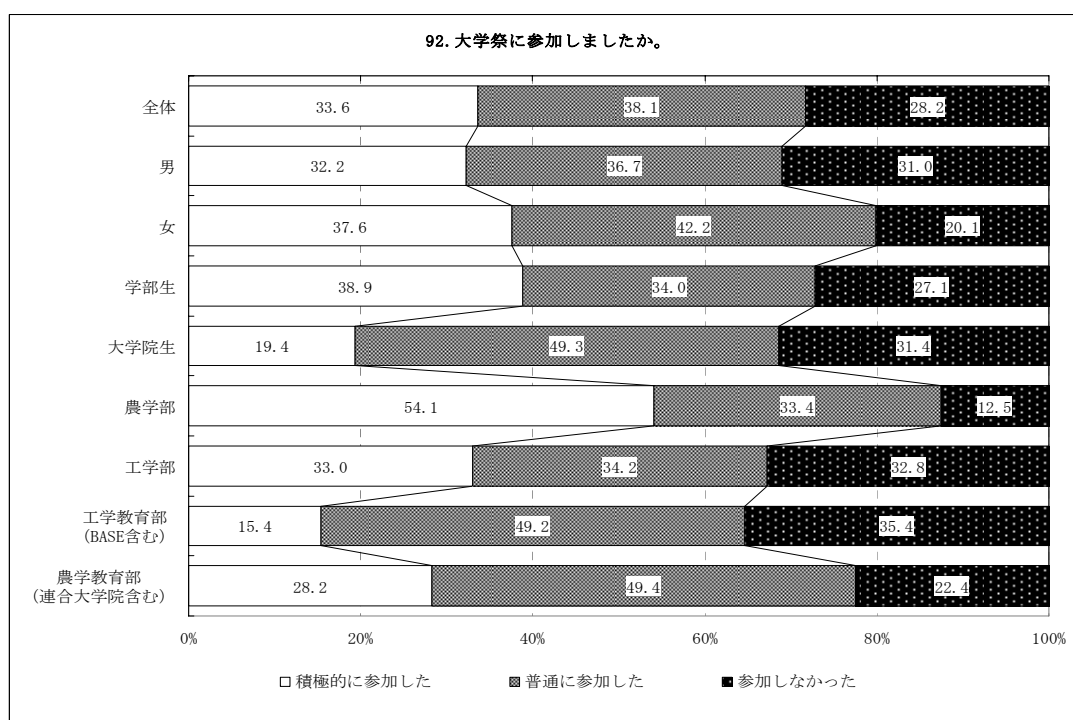
## 9 1. 図書館の利用頻度

「よく利用する」34.5%（前回40.2%）、「ときどき利用する」が61.6%（前回56.9%）、「全く利用しない」3.9%（前回3.0%）であった。「よく利用する」と回答したのは、大学院生25.2%より学部生37.9%の方が高かった。



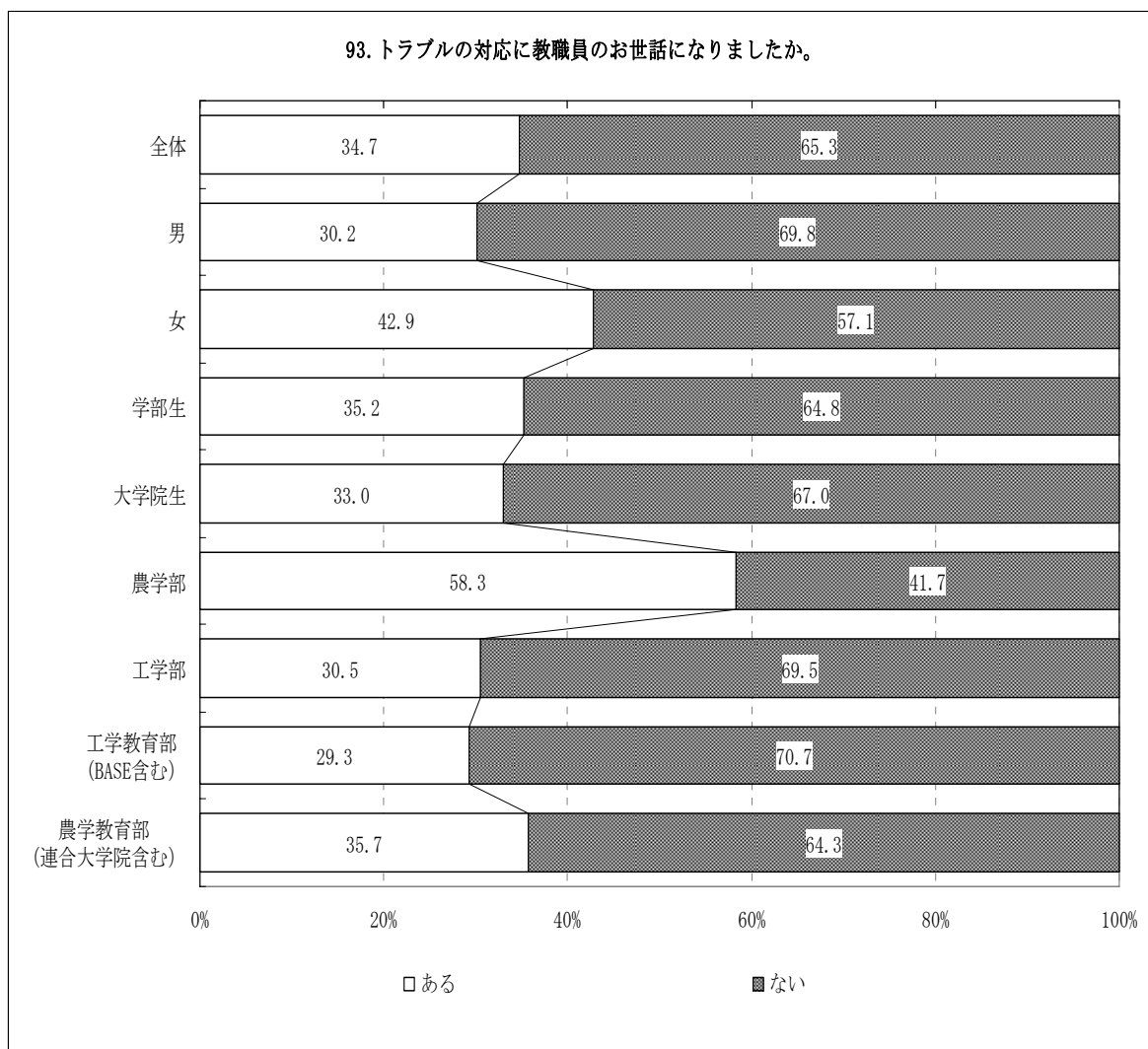
## 9 2. 大学祭への参加

「積極的に参加した」が33.6%（前回35.3%）、「普通に参加した」が38.1%（前回38.0%）、「参加しなかった」28.2%（前回26.7%、前々回24.0%）であった。積極的に参加したと回答した割合は、農学部54.1%（前回57.4%）が工学部33.0%（前回30.3%）より顕著に高い。大学院においても、農学教育部28.2%が工学教育部15.4%より高い。



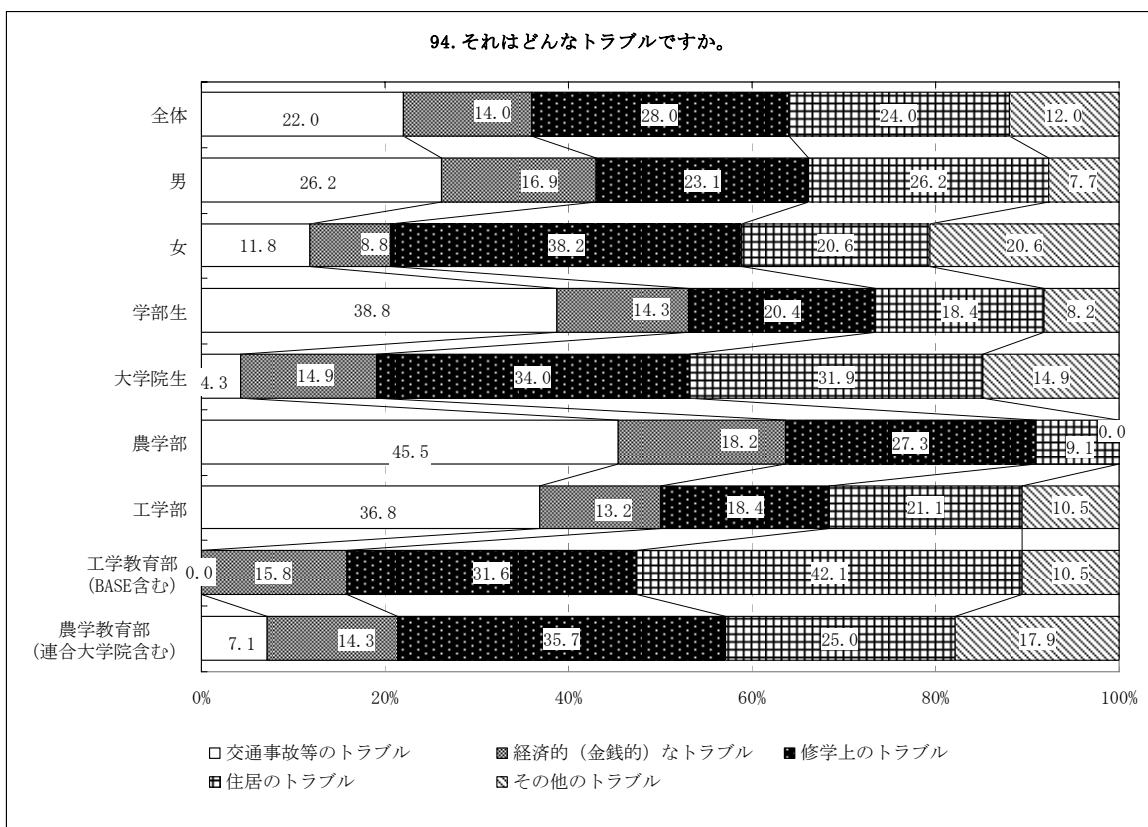
### 9 3. 外国人留学生への質問（トラブルの教職員対応）

170名（前回131名）が回答し、「ある」が34.7%（前回44.4%、前々回48.0%）、「ない」が65.3%（前回55.6%、前々回52.0%）であった。「ある」と回答した割合は、男子30.2%（前回48.6%）が女子42.9%（前回38.5%）より低く、大学院生33.0%（前回55.4%）と学部生35.2%（前回24.4%）の間に差は見られない。所属差については、数が少ないので比較できない。



#### 94. 外国人留学生への質問（トラブルの種類）

上記で「ある」と回答した59名に対し「それはどんなトラブルですか。」との質問に、59名より多い76名から回答があった（教職員の世話にならなかった学生からの回答があったと思われる）。多かった順に「修学上のトラブル」36.8%（新規追加項目）、「住居のトラブル」31.6%（前回21.7%、前々回20.7%）、「交通事故等のトラブル」28.9%（前回8.3%、前々回6.9%）、「経済的（金銭的）なトラブル」18.4%（前回30.0%、前々回17.2%）、「その他のトラブル」15.8%（前回40.9%、前々回55.2%）であった。



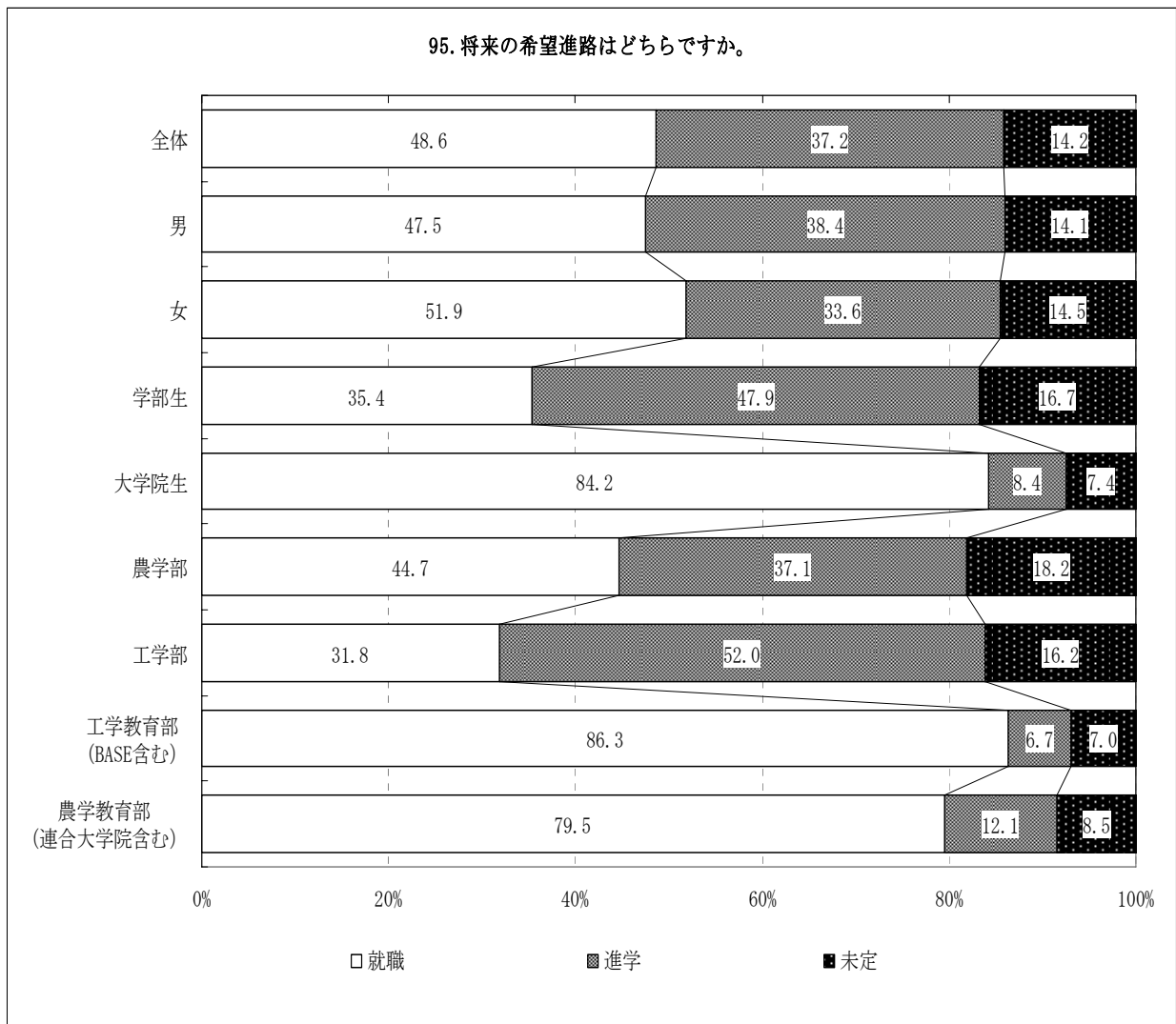
【回答数】

	合計	交通事故等の トラブル	経済的（金銭 的）なトラブル	修学上の トラブル	住居のトラブル	その他の トラブル
全体	100	22	14	28	24	12
男	65	17	11	15	17	5
女	34	4	3	13	7	7
学部生	49	19	7	10	9	4
大学院生	47	2	7	16	15	7
農学部	11	5	2	3	1	0
工学部	38	14	5	7	8	4
工学教育部 (BASE含む)	19	0	3	6	8	2
農学教育部 (連合大学院含む)	28	2	4	10	7	5

## 第IX章 進路（就職・進学）

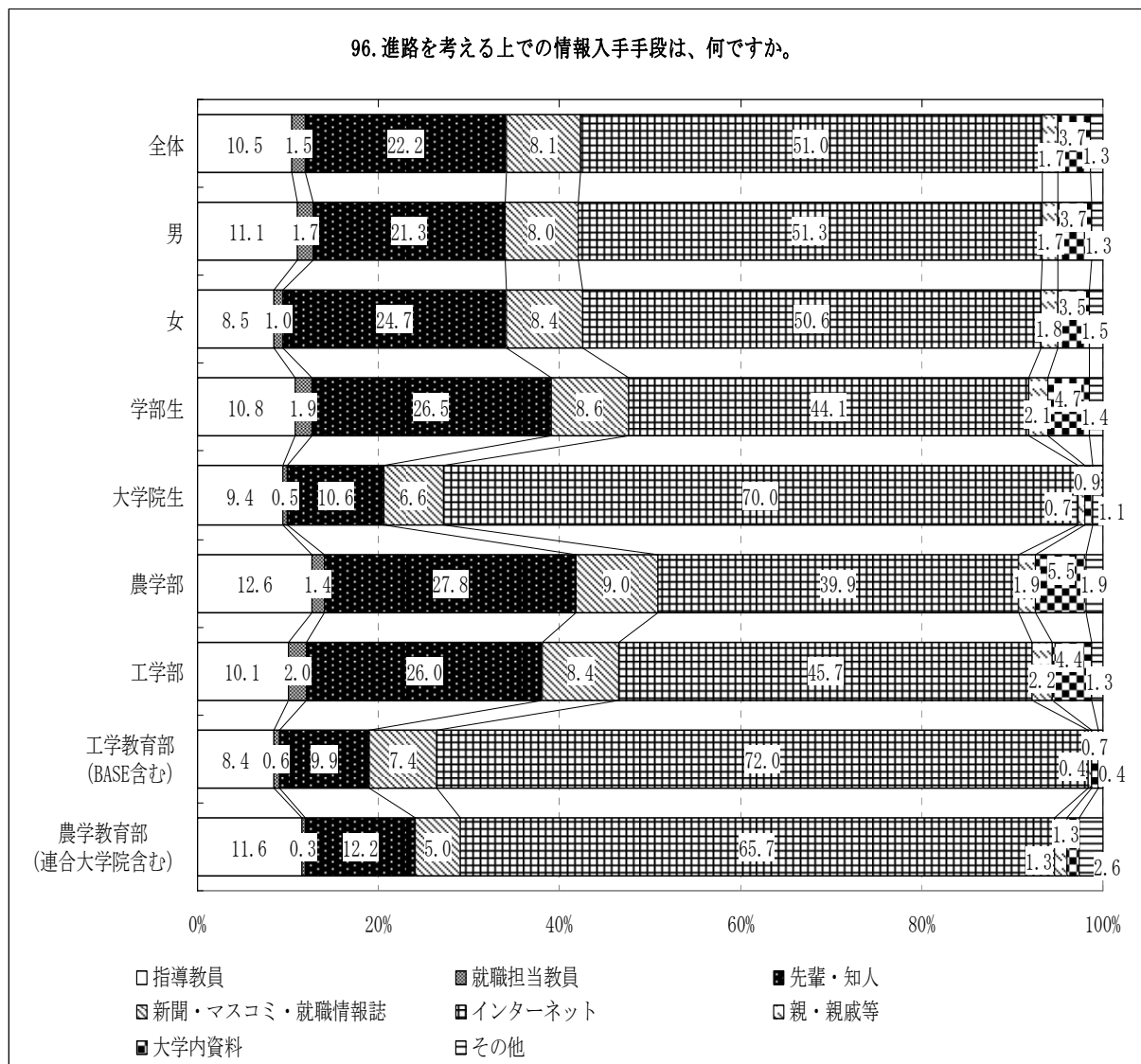
### 95. 希望進路

希望する進路は「就職」が全体の48.6%、「進学」が同37.2%を占める。「未定」は14.2%である。男女別に見てもそれらの割合に大きな違いは見られない。学部全体を見ると「進学」が47.9%と多く、学部生の多くが大学院への進学を志望しており、「就職」は35.4%である。この傾向は工学部（52.0%）が農学部（37.1%）より顕著である。大学院全体では「就職」が84.2%、「進学」が8.4%であり、大学院生の多くは修士課程を修了した後は就職を志望していると思なされる。



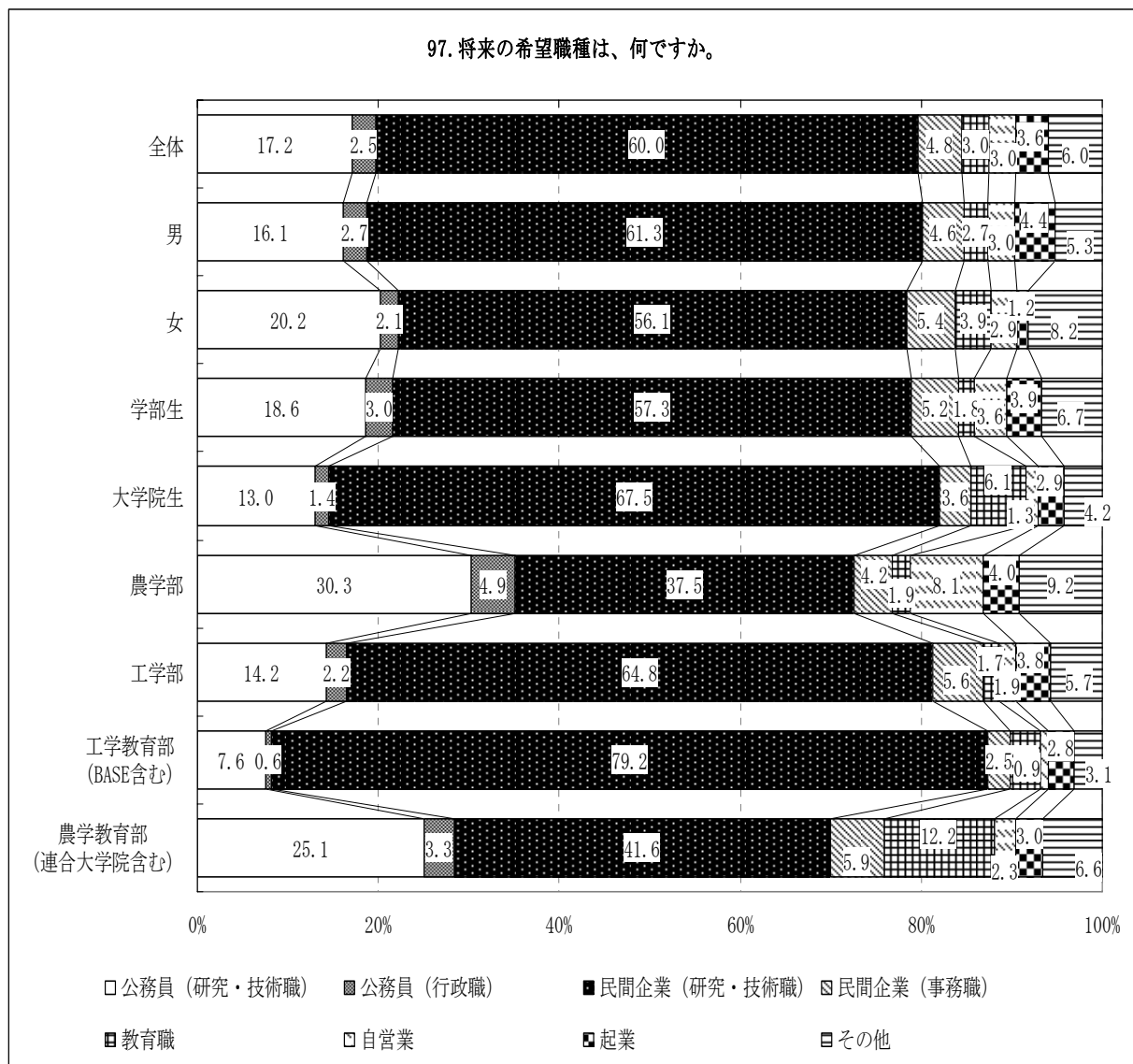
## 9 6. 進路情報の入手手段

情報の入手手段として、「インターネット」への依存率が最も高い。インターネットへの依存率は全体で51.0%と前回調査の56.1%とほぼ同割合である。その内訳は学部全体が44.1%であるのに対し、大学院全体は70.0%であり、大学院生の依存率が高い。一方、「就職担当教員」(1.5%)や「大学内資料(3.7%)」への依存率は極めて低い。インターネットを介して簡単に情報を得てエントリーできることや、学生の自由応募が増加しているためであると考えられる。



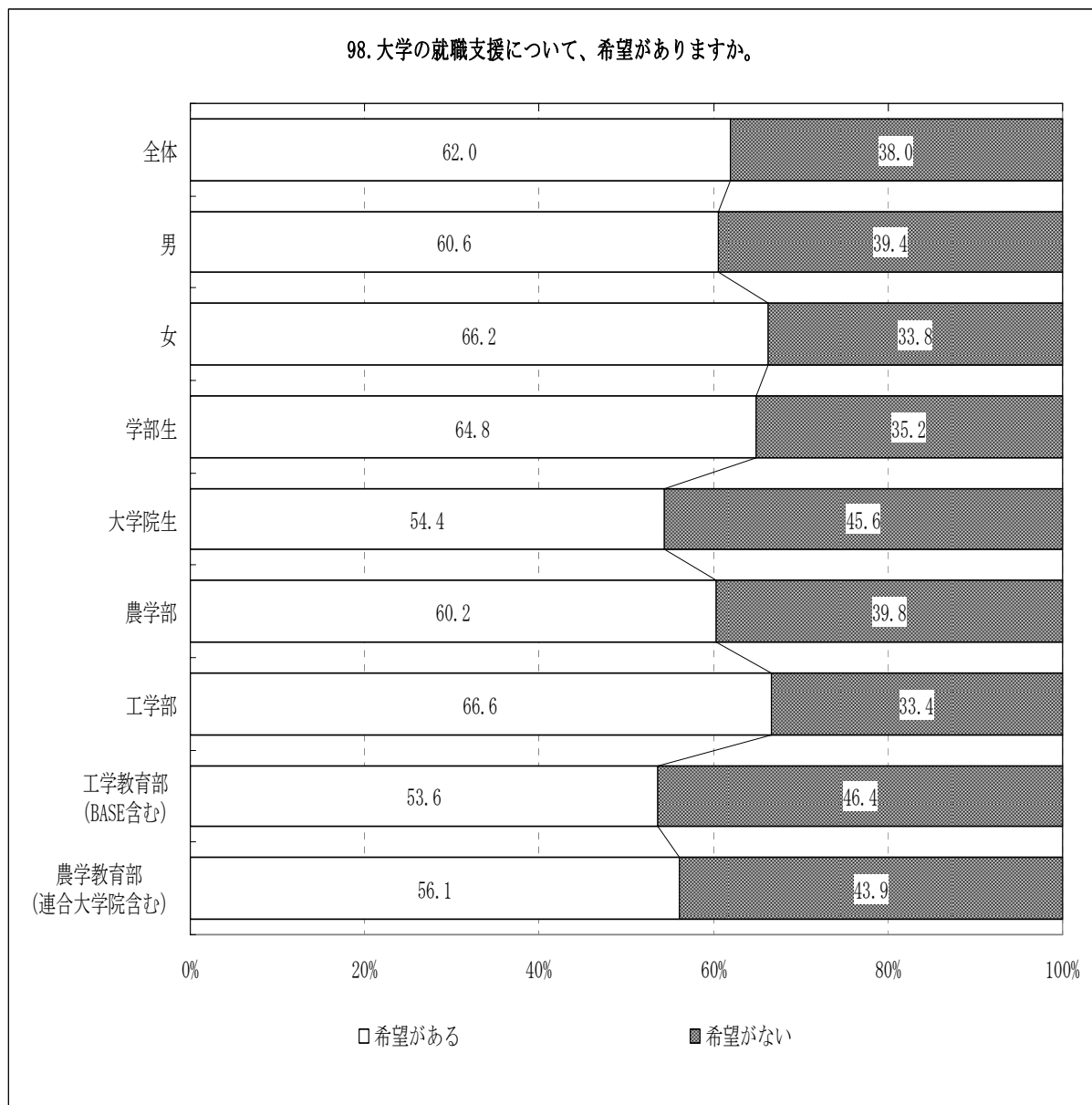
## 97. 希望職種

希望する職種は「民間企業（研究・技術職）」が全体の60.0%を占めている。第2位の「公務員（研究・技術職）」17.2%を合わせると、77.2%の学生が研究・技術職を志望していることになる。これに対して、公務員（行政職）、民間企業（事務職）、教育職を志望している学生は3～5%程度と少ない。男女別に見ても、それらの割合に大きな違いは見られないが、「公務員（研究・技術職）」志望が農学部で多いのに対し（農学部30.3%に対して工学部14.2%）、「民間企業（研究・技術職）」志望は工学部で圧倒的に多い（農学部37.5%に対して工学部では64.8%）。これは各学部の産業的背景の違いを表しており、大学院でも同様の傾向が見られる。



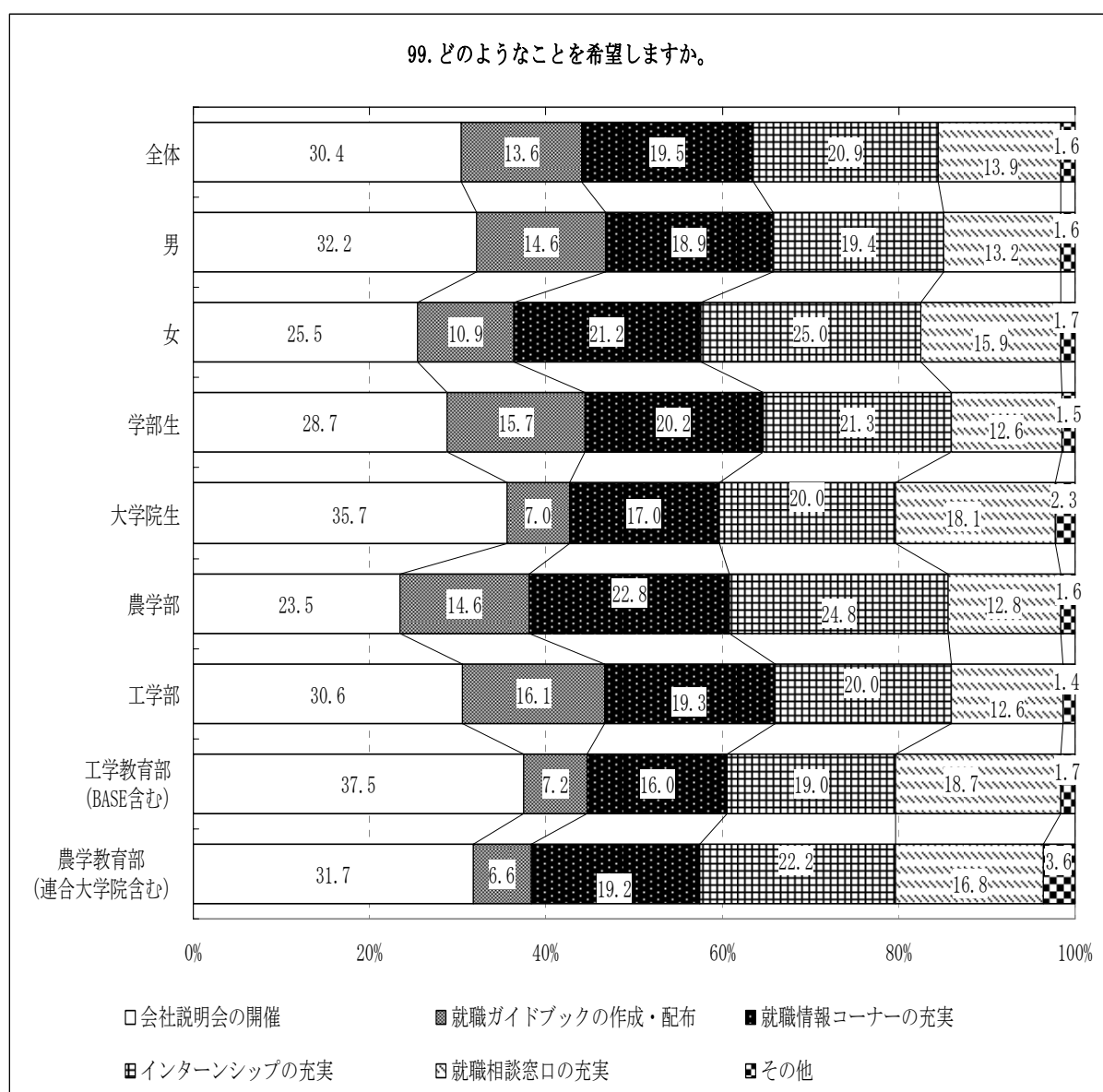
## 98. 大学の就職支援に対する希望

何らかの就職支援を大学に希望している学生の割合は約6割強であり、学部生（64.8%）が大学院生（54.4%）に比べて高い。



## 99. 就職支援として希望する内容

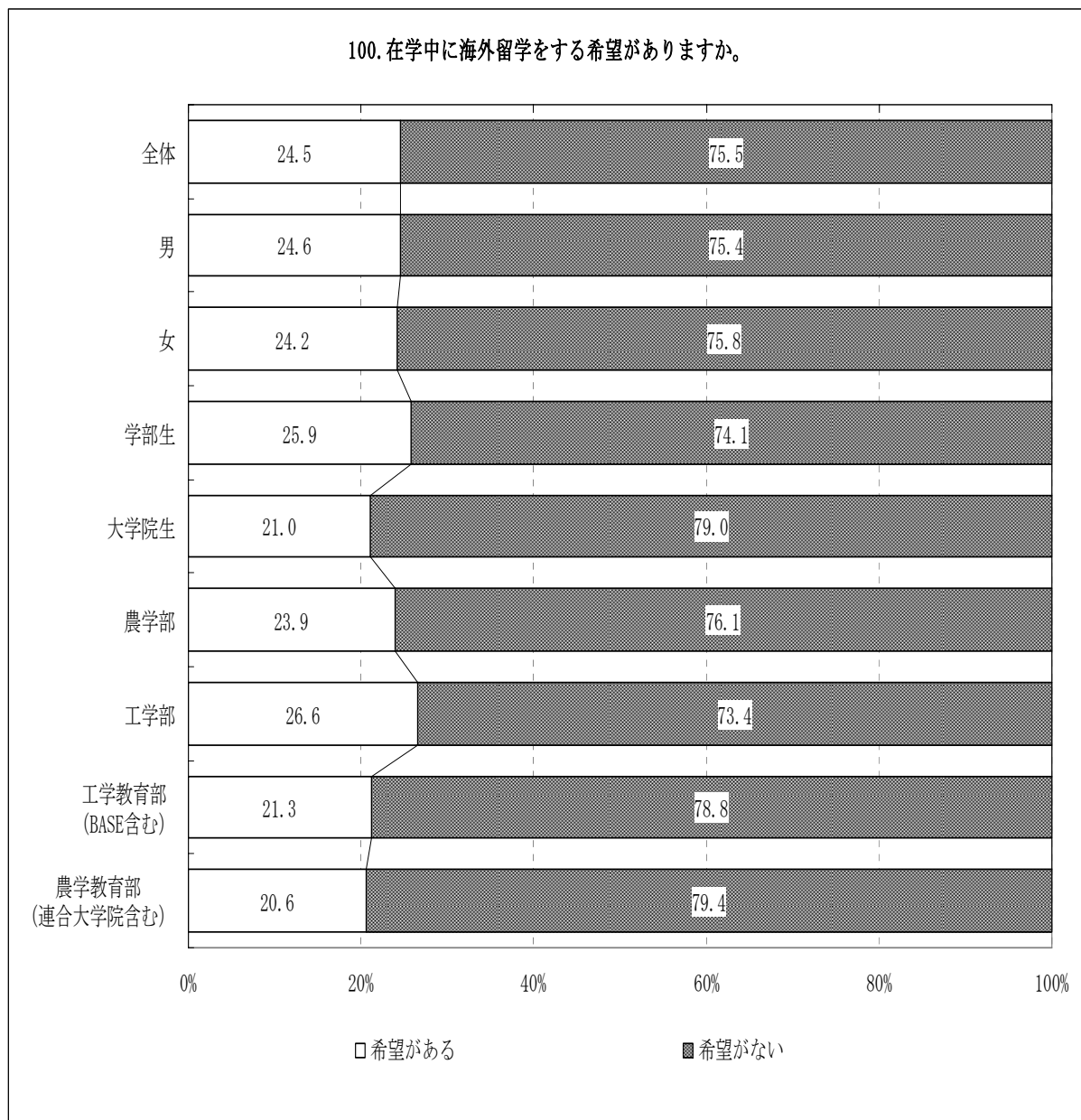
就職支援として希望する内容は「会社説明会の開催」(30.4%)が最も高率である。特に、大学院生からの「会社説明会の開催」の希望が高い。インターネットでは得られないような生の情報を、会社説明会から得たい希望があるのであろう。次に、「インターンシップの充実」(20.9%)、「就職相談窓口の充実」(13.9%)が挙げられている。「インターンシップの充実」については、実際に制度として実施されていないことから、実施に向けての早急な対応を検討する必要がある。また、その他については、前記の項目96「情報の入手手段」における「大学内資料」の活用頻度が極めて低いことから、学内での就職支援活動が学生に広く知られていない可能性がある。なお、前回調査で第1位であった「就職ガイダンスの開催」は、既に一昨年(平成15年)度から実施に移された。また、前回調査で第3位であった「就職ガイドブックの作成・配布」については、昨年(平成16年)度に第一版が作成・配布されたことから、今回の調査では第5位となった(前回16.4%→今回13.6%)。





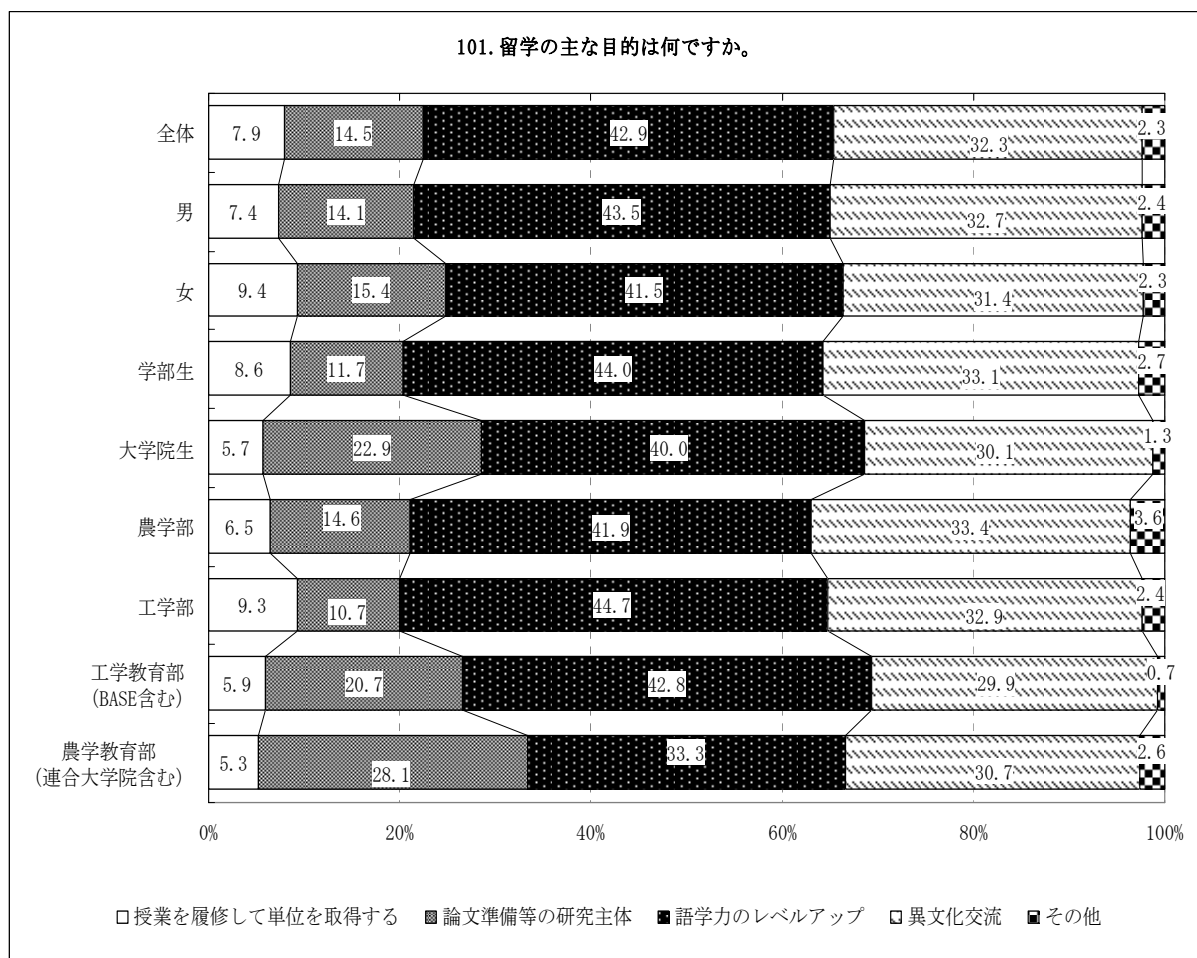
## 100. 海外留学の希望

海外留学を希望している学生は全体の24.5%である。その割合において、男女や学部による大きな違いは見られない。



### 101. 留学の目的（複数回答）

留学の目的として「語学力のレベルアップ」（42.9%）や「異文化交流」（32.3%）を考えている学生が多く、「単位取得」（7.9%）や「研究のため」（14.5%）は少ない。学部生と大学院生ともに同じ傾向が見られるが、「研究のため」に留学を希望している割合は学部生（11.7%）に比べて大学院生（22.9%）の方が多。

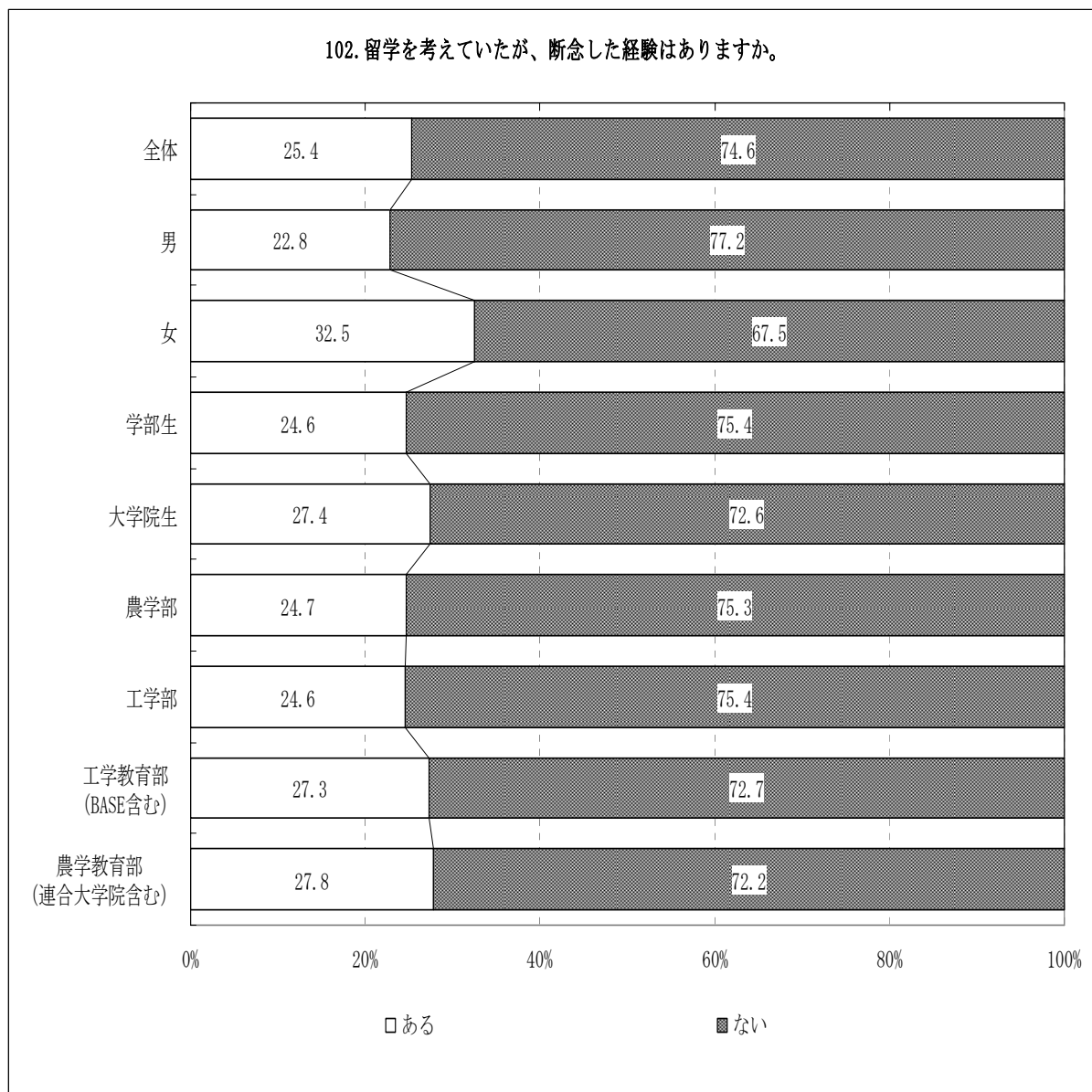


【回答数】

	合計	授業を履修して単位を取得する	論文準備等の研究主体	語学力のレベルアップ	異文化交流	その他
全体	1579	125	229	678	510	37
男	1179	87	166	513	385	28
女	395	37	61	164	124	9
学部生	1192	102	140	524	394	32
大学院生	385	22	88	154	116	5
農学部	308	20	45	129	103	11
工学部	884	82	95	395	291	21
工学教育部 (BASE含む)	271	16	56	116	81	2
農学教育部 (連合大学院含む)	114	6	32	38	35	3

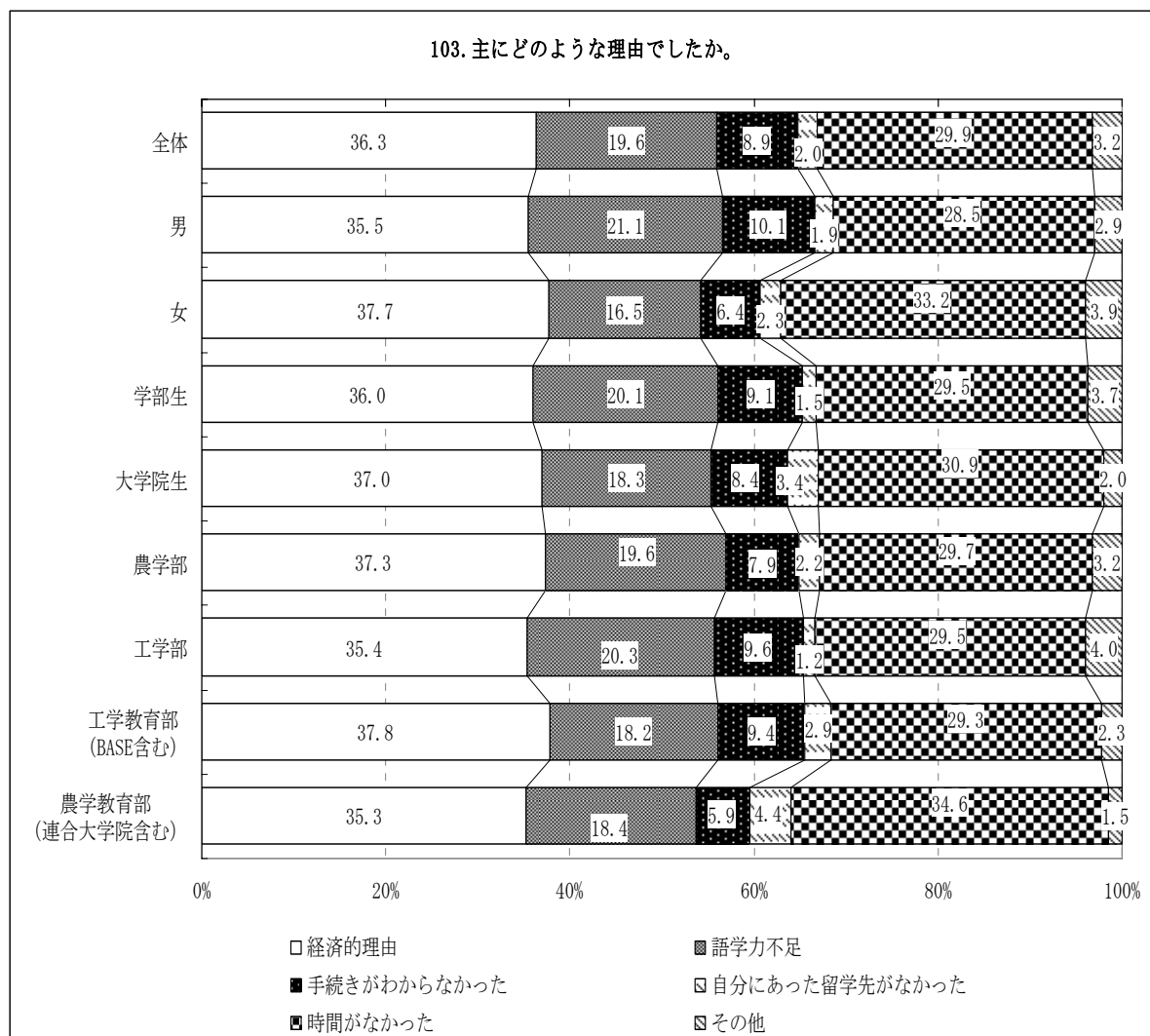
## 102. 留学を断念した経験

留学を断念した経験のある学生は全体の25.4%を占める。男子学生（22.8%）よりも女子学生（32.5%）、学部生（24.6%）よりも大学院生（27.4%）に断念した経験のある割合が高い。



### 103. 留学を断念した理由（複数回答）

留学を断念した理由として「経済的理由」（36.3%）を挙げている学生が最も多く、それに続いて「時間がなかった」（29.9%）、「語学力不足」（19.6%）、「手続きがわからなかった」（8.9%）の順となっている。

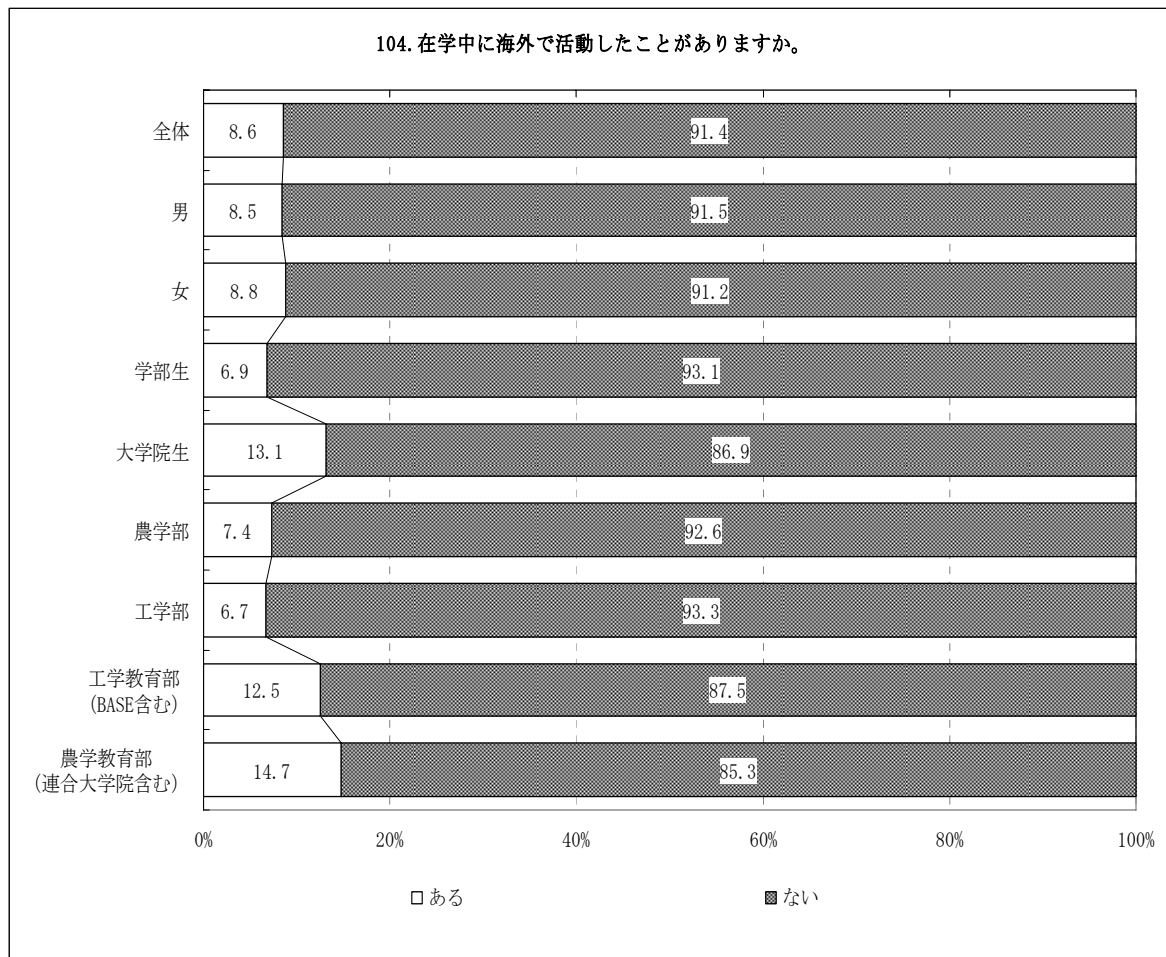


【回答数】

	合計	経済的理由	語学力不足	手続きがわからなかった	自分にあった留学先がなかった	時間がなかった	その他
全体	1517	551	297	135	31	454	49
男	1026	364	216	104	20	292	30
女	485	183	80	31	11	161	19
学部生	1073	386	216	98	16	317	40
大学院生	443	164	81	37	15	137	9
農学部	316	118	62	25	7	94	10
工学部	757	268	154	73	9	223	30
工学教育部 (BASE含む)	307	116	56	29	9	90	7
農学教育部 (連合大学院含む)	136	48	25	8	6	47	2

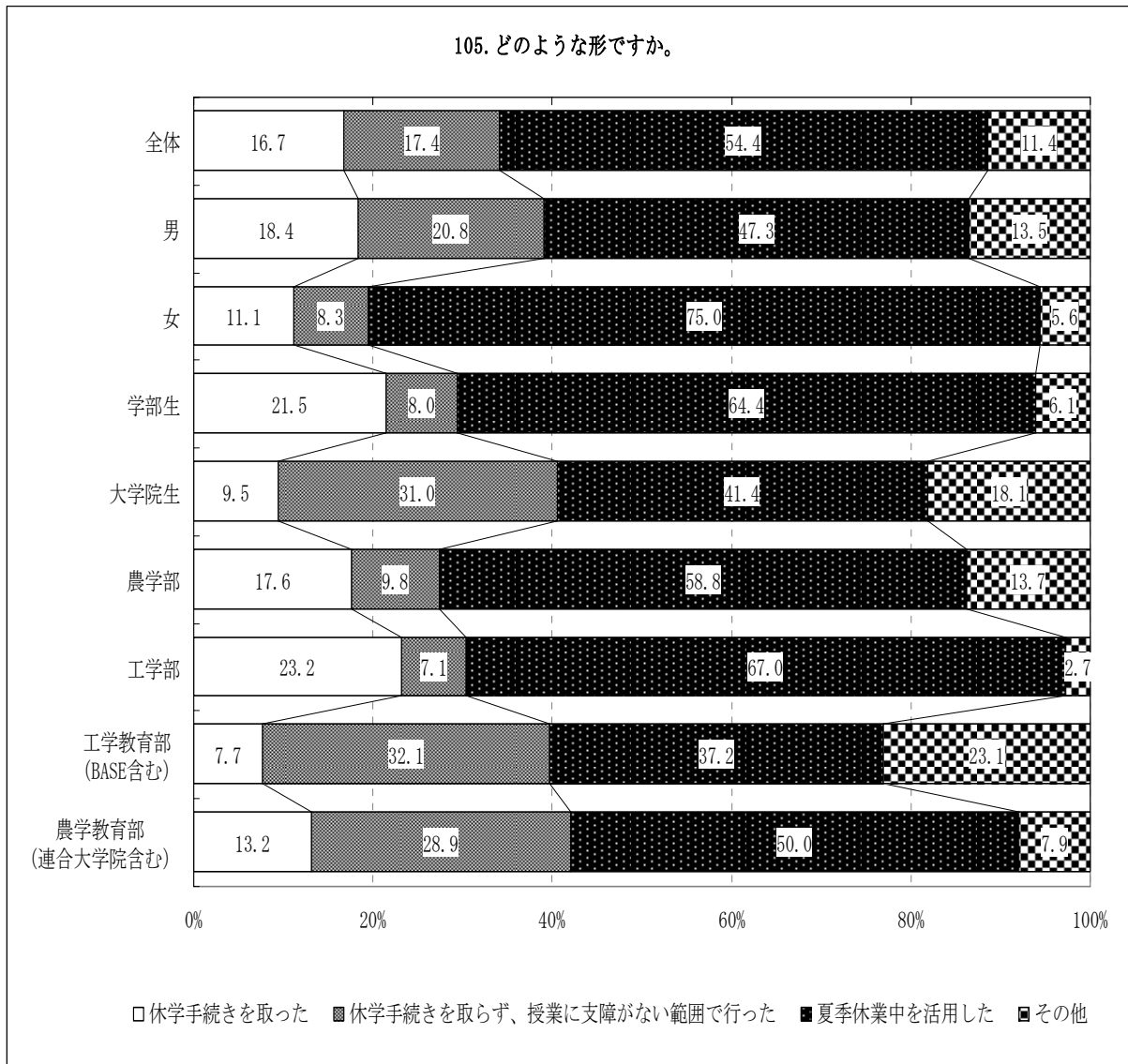
#### 104. 海外活動の経験

全体の8.6%の学生が海外で活動した経験があると答えている。学部生（6.9%）よりも大学院生（13.1%）において海外活動をした割合が高い。



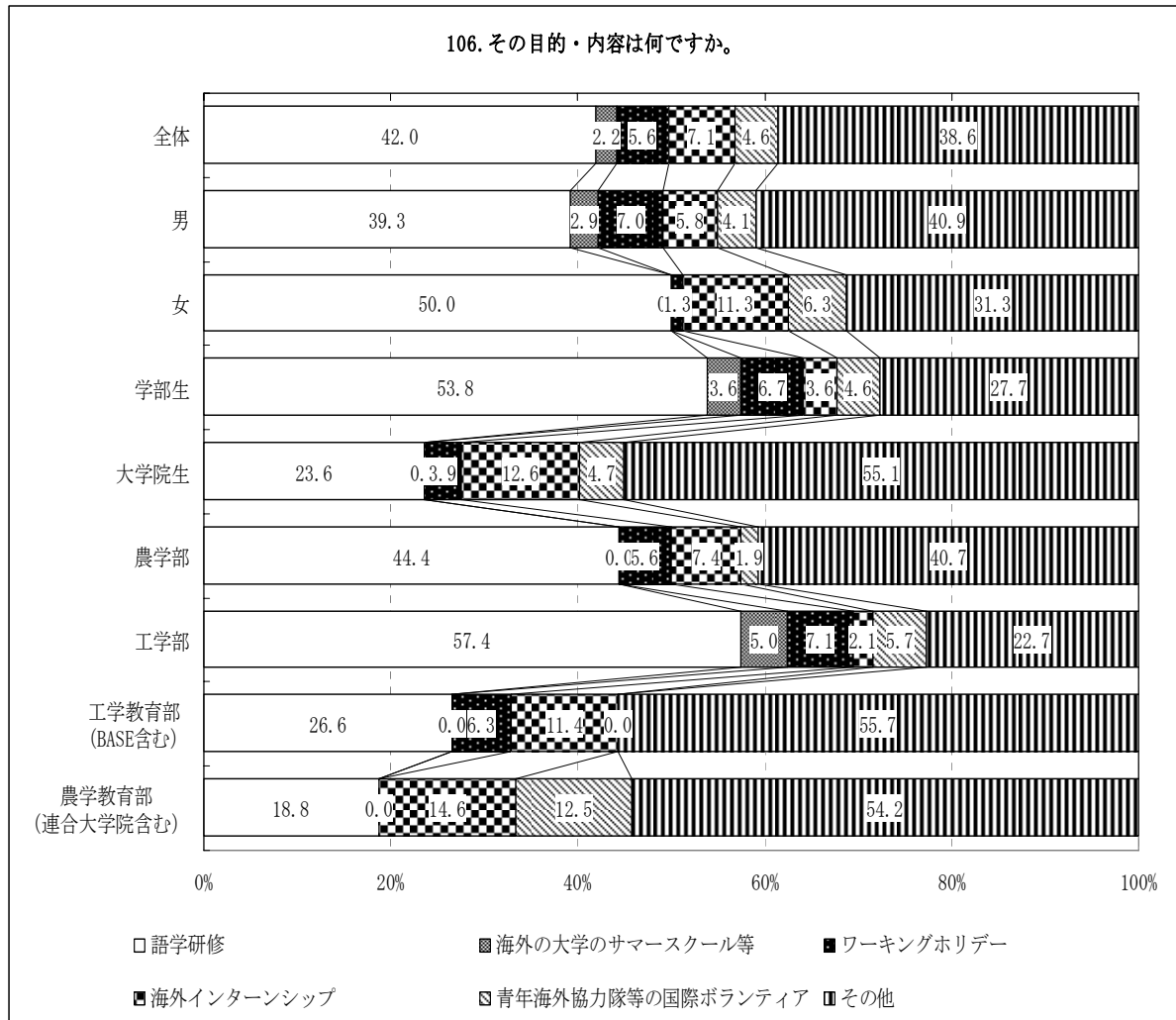
### 105. 海外活動の形式

過半数の学生が「夏季休業」を利用して海外活動を行っている。特に、学部生（64.4%）は大学院生（41.4%）に比べてその割合が高い。それに対して、「休学手続きを取らず、授業に支障のない範囲で行った」割合が大学院生（31.0%）では学部生（8.0%）に比べて高くなっており、その違いは学部と大学院の授業体系の違いによるものであろう。また、前回調査に比べ、「休学手続きを取って」海外活動を行った学生の割合が高くなったことも注目すべき点である（前回8.9%→今回16.7%）。



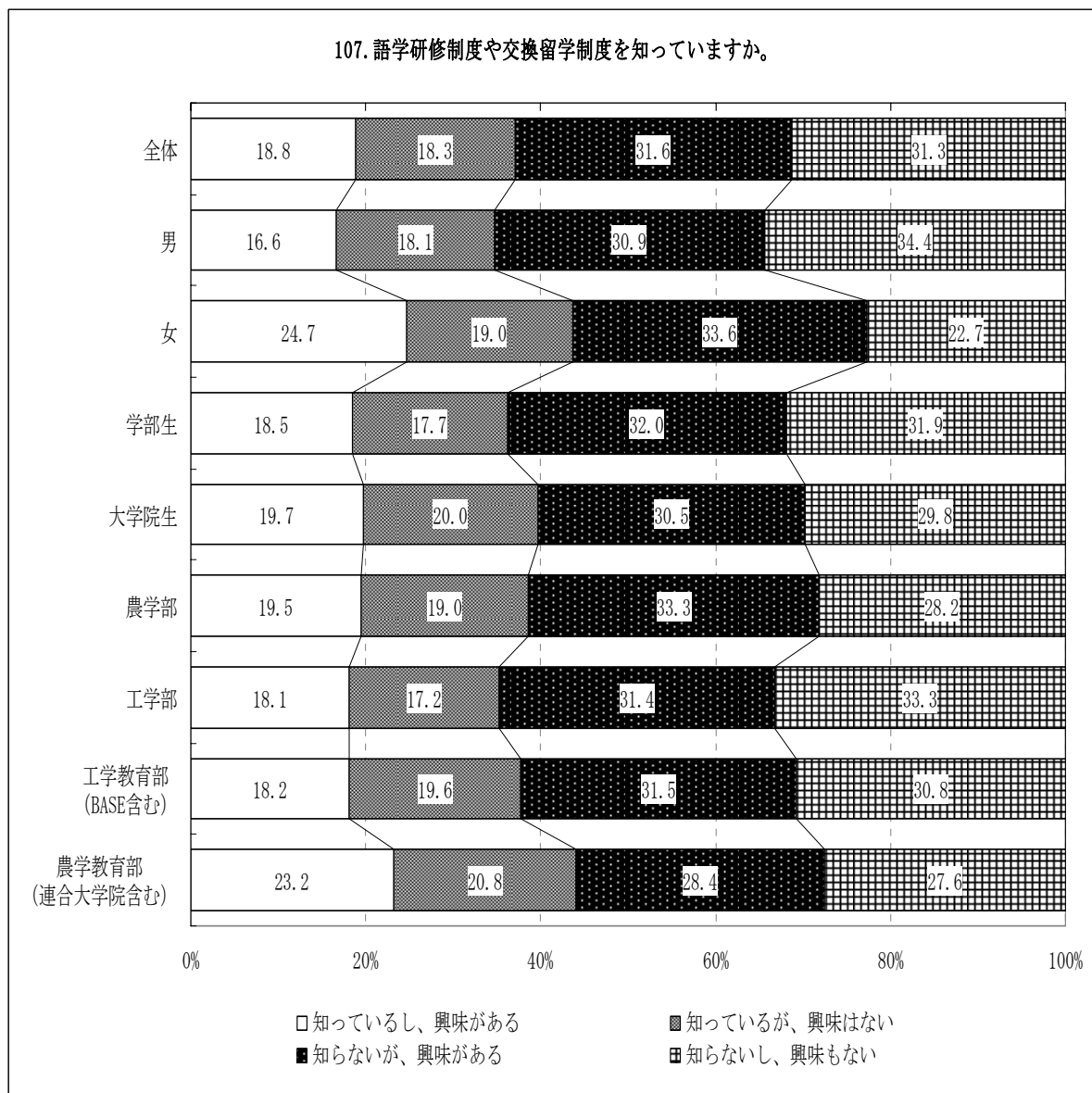
## 106. 海外活動を行った目的

海外活動の目的として、最も高い割合を示したのは「語学研修」(42.0%)であり、次に「その他」(38.6%)が続く。今回の調査による順位は、前回の調査の第1位と第2位が入れ替わった結果となっており、「語学研修」を目的に海外活動を行う学生が増加してきていることを反映するものであろう。それに対し、「海外大学のサマースクール等参加」(2.2%)、「ワーキングホリデー」(5.6%)、「海外インターンシップ」(7.1%)、「国際ボランティア」(4.6%)を目的として海外活動した学生の割合は非常に低い。



### 107. 語学研修制度・夏季交換留学生制度への興味

語学研修制度について興味を持っている学生は、「知っているし、興味がある」(18.8%)と「知らないが興味がある」(31.6%)を合計すると50.4%になる。しかしながら、語学研修制度を知っている学生は37.1%であり、語学研修制度の認知度は低い。前回の調査と同様に、女子学生(43.7%)よりも男子学生(34.7%)、大学院生(39.7%)よりも学部生(36.2%)、農学部生(38.5%)よりも工学部生(35.3%)の認知度が低いが、今回の調査では前回の調査に比べて工学教育部が高くなり(前回33.0%→今回44.0%)、農学教育部が低くなった(前回48.4%→今回37.8%)ことから、工学教育部よりも農学教育部での認知度が低くなった。





## 第X章 要望・意見等

### 1. 各キャンパスの学部生から多く寄せられた要望・意見等

区分	府中キャンパス	小金井キャンパス
V 学業	授業の質を上げて欲しい	授業の質を上げて欲しい
	図書館、PC室の開館時間を延ばして欲しい、土日の使いたい	図書館、PC室の開館時間を延ばして欲しい、土日の使いたい
	無線LANが使用できる範囲が狭い	時間割を考え直して欲しい
	早い段階で(1年生から)実験をしたい	レポート提出とテストなどが重なって苦しい
	レポートの結果(評価)が知りたい、成績評価を明確にして欲しい	必修科目が多すぎて単位取得が困難すぎる、留年率が高い
	専門科目をもっと早くから学びたい	必修科目を少なく、自由選択できる教科を充実して欲しい
	図書館の本・論文をもっと充実させて欲しい	学生の面倒を見て欲しい
	語学の授業が少ない	レポート、テストの結果を返して欲しい
	履修登録の期間が短い	図書館の蔵書(学術雑誌)を増やして欲しい
	CAP制の意義がわからない	図書館以外の学習室が欲しい
VI 課外活動	サークル棟を増設・改築して欲しい	サークル棟を増設・改築して欲しい
	サークルの公認化の手続きを明確にして欲しい	工学部のグラウンドに照明設備が欲しい
	体育館の利用時間をもっと延長して欲しい	体育館・武道場を改築(増築)して欲しい
		トレーニングルームを作って欲しい
		部員数に応じた部室が欲しい、部室が少ない
VII 学生生活	生協食堂をもっと広くして欲しい	トイレをきれいにして欲しい(6・10・11号館)
	生協の開店時間を延長して欲しい	生協食堂・購買部をもっと広くして欲しい
	トイレが汚い	教務系の態度が悪い
	教務・学生系の態度が悪い	駐輪場が狭い、もっと広くして欲しい
	教務・学生系の受付時間が短い、昼休みも開けて欲しい	ロッカーを充実して欲しい、1年生以外にも貸して欲しい
	歩きタバコは止めて欲しい	喫煙所を増やして欲しい
	自動販売機が欲しい(講義棟)	指定場所以外で喫煙している人がいる
	ファーストフード店を学内に作って欲しい	キャンパス内全面禁煙にして欲しい
IX 進路	就職についての情報をもっと欲しい	就職相談や情報を充実して欲しい
	もっとOB、OGを生かしてサポートして欲しい	もっと就職を支援して欲しい
	教員が後押ししてくれる研究室が少ない、もっと就職を支援して欲しい	先輩たちとの交流の場が欲しい
	就職課が欲しい	会社説明会などを増やして欲しい
	就職情報コーナーの公務員の情報を充実して欲しい	就職セミナーや説明会を早い時期から多くやって欲しい
	早い時期から就職を支援して欲しい	1・2年生から研究室や大学院の様子を知りたい
	先輩たちとの交流の場が欲しい	インターンシップの充実

## 2. 各キャンパスの博士前期課程(修士)学生から多く寄せられた要望・意見等

区分	府中キャンパス	小金井キャンパス
V 学業	教職課程の講義に対する配慮が少ない	授業の質の差が大きい
	大学院の新生生には情報が少ない	図書館、PC室の開館時間を延ばして欲しい、土日の使いたい
	シラバスを更新して欲しい	研究室によってレベルの差が大きすぎる
	学科・専攻内でもっと連携したカリキュラムを組んで欲しい	レポート提出とテストなどが重なって苦しい
	能力の低い指導教員を野放しにして欲しくない	カリキュラムに無駄が多い
	図書館の文献を充実して欲しい	図書館の文献を充実して欲しい
	図書館、PC室の開館時間を延ばして欲しい、土日の使いたい	シラバスと授業内容が一致していない
	開講されない授業があった	英語の授業が少ない
VI 課外活動	有益な課外活動には単位の認定、公休扱いをして欲しい	サークル・部活への補助金を充実して欲しい
	体育館の休館日が多い	部室が狭い
		グラウンドに照明設備が欲しい
		トレーニングルームを作って欲しい
VII 学生生活	生協の開店時間を延長して欲しい	駐輪場が狭い、もっと広くして欲しい
	6号館の耐震性に不安がある	生協食堂・購買部をもっと広くして欲しい
	大学職員の態度が悪い	教務系の態度が悪い
		喫煙所に屋根を設けて欲しい
		5号館の耐震性に不安がある
IX 進路	就職支援体制が学科ごとにばらばらである	就職サポートを充実して欲しい
	就職関連の質問を受けている場所がわからない	インターンシップの充実
	企業を招いて会社説明会を行って欲しい	就職説明会の内容が薄い、悪い
	先輩の体験談を聞ける場が欲しい	技術系公務員の情報の充実

## 3. 各キャンパスの博士後期課程(博士課程)学生から多く寄せられた要望・意見等

区分	府中キャンパス	小金井キャンパス
V 学業	図書館の文献を充実して欲しい	図書館の文献を充実して欲しい
	遺伝子実験施設を24時間利用できるようにして欲しい	英文校正の専門の先生がいて欲しい
	日本語のみの授業で留学生には困難	英語の授業を充実させて欲しい
		学会発表の金銭的サポートをして欲しい
VII 学生生活	生協の開店時間を延長して欲しい	生協食堂・購買部をもっと広くして欲しい
	大学職員の態度が悪い	留学生が勉強できる場を作って欲しい
	全面禁煙にして欲しい	大学職員の態度が悪い
		喫煙マナーが悪い
IX 進路	博士課程に対する就職支援がない	公務員の情報の充実
	博士課程学生用の相談窓口が欲しい	博士課程の就職支援、情報が欲しい

# 回 収 率 一 覧

学部等	備考	学科(女は計の内数)	在籍 学生数	対象 学生数	回収数	回収率	学部等	備考	学科(女は計の内数)	在籍 学生数	対象 学生数	回収数	回収率			
農学部	学科	生物生産学科	計	264	261	159	60.9%	工学教育部	前期課程	生命工学専攻	計	114	111	78	70.3%	
			女	103	102	61	59.8%				女	43	41	30	73.2%	
		応用生物科学科	計	332	329	170	51.7%			応用化学専攻	計	165	165	114	69.1%	
			女	138	138	81	58.7%				女	49	49	37	75.5%	
		環境資源科学科	計	292	287	116	40.4%			機械システム工学専攻	計	129	129	96	74.4%	
			女	101	101	50	49.5%				女	10	10	8	80.0%	
		地域生態システム学科	計	365	355	131	36.9%			物理システム工学専攻	計	64	64	35	54.7%	
			女	164	161	74	46.0%				女	7	7	5	71.4%	
		獣医学科	計	239	235	184	78.3%			電気電子工学専攻	計	125	125	102	81.6%	
			女	98	95	73	76.8%				女	10	10	8	80.0%	
		農学部計		計	1492	1467	760			51.8%	情報コミュニケーション工学専攻	計	76	74	53	71.6%
				女	604	597	339			56.8%		女	5	5	5	100.0%
	工学部	学科	生命工学科	計	366	363	266		73.3%	後期課程	生命工学専攻	計	60	58	26	44.8%
				女	142	141	115		81.6%			女	15	15	7	46.7%
応用分子化学科			計	233	233	208	89.3%	応用化学専攻	計		48	46	24	52.2%		
			女	62	62	56	90.3%		女		4	4	1	25.0%		
有機材料化学科			計	212	209	186	89.0%	機械システム工学専攻	計		38	38	20	52.6%		
			女	40	40	37	92.5%		女		4	4	3	75.0%		
化学システム工学科			計	183	180	137	76.1%	電子情報工学専攻	計		69	67	24	35.8%		
			女	42	41	31	75.6%		女		5	4	3	75.0%		
機械システム工学科			計	577	567	441	77.8%	後期課程計	計		215	209	94	45.0%		
			女	38	35	32	91.4%		女		28	27	14	51.9%		
物理システム工学科			計	272	264	182	68.9%	工学教育部計	計		888	877	572	65.2%		
			女	32	31	25	80.6%		女		152	149	107	71.8%		
電気電子工学科			計	512	506	370	73.1%	生物システム応用 科学教育部	博士前期課程		計	168	164	94	57.3%	
			女	39	37	28	75.7%				女	47	46	23	50.0%	
情報コミュニケーション工学科			計	315	314	190	60.5%		博士後期課程		計	75	72	13	18.1%	
			女	51	51	31	60.8%				女	16	15	2	13.3%	
応用化学科			計	2	2	2	100.0%	生物システム応用 科学教育部計	計		243	236	107	45.3%		
			女	0	0	0	0.0%		女		63	61	25	41.0%		
工学部計			計	2672	2638	1982	75.1%	連合農学 研究科	生物生産学専攻	計	191	92	35	38.0%		
			女	446	438	355	81.1%			女	62	32	11	34.4%		
学部合計		計	4164	4105	2742	66.8%	生物工学科	生物工学専攻	計	51	30	11	36.7%			
		女	1050	1035	694	67.1%			女	9	6	2	33.3%			
農学教育部	修士課程	生物生産科学専攻	計	48	48	22	45.8%	資源・環境学専攻	計	55	47	21	44.7%			
			女	19	19	8	42.1%		女	21	18	8	44.4%			
		共生持続社会学専攻	計	47	47	13	27.7%	連合農学計	計	297	169	67	39.6%			
			女	19	19	5	26.3%		女	92	56	21	37.5%			
		応用生命化学専攻	計	60	59	39	66.1%	技術経営 研究科	専門職学位課程	計	49	49	24	49.0%		
			女	23	23	18	78.3%			女	5	5	1	20.0%		
		生物制御科学専攻	計	52	51	31	60.8%	連合獣医学 研究科	連合獣医学専攻	計	31	31	10	32.3%		
			女	21	20	14	70.0%			女	11	11	3	27.3%		
		環境資源物質科学専攻	計	31	31	17	54.8%	大学院合計	計	1946	1794	1018	56.7%			
			女	9	9	3	33.3%		女	507	463	255	55.1%			
		物質循環環境科学専攻	計	46	46	21	45.7%	総合計	計	6110	5899	3760	63.7%			
			女	23	23	9	39.1%		女	1557	1498	949	63.4%			
		自然環境保全学専攻	計	49	47	33	70.2%	農学教育部計	計	438	432	238	55.1%			
			女	31	29	19	65.5%		女	184	181	98	54.1%			
		農業環境工学専攻	計	26	26	12	46.2%									
			女	5	5	0	0.0%									
	国際環境農学専攻	計	79	77	50	64.9%										
		女	34	34	22	64.7%										

## 第5回 学生生活実態調査

2005年度

..... お 願 い .....

この調査は、本学の学生の生活実態を把握し、今後の学生生活に役立てるための基礎資料を得ることを目的に、全学生を対象として実施するもので、1994年度に初回を実施し、定期的に行っているものです。これまでに調査結果を基に、『講義棟空調設備の設置(3年計画で実施)』と『サークル棟の改修{工学部(12年度)農学部(13年度)}』を行うことができました。

趣旨をご理解の上、是非、本年12月1日現在の状況について回答くださるようお願いいたします。

この調査により、知り得た情報は他の目的に流用したり、調査内容を他に提供することは一切ありません。

また、調査結果については、分析をした上で2005年に公表いたします。

調査票は、回答欄に記入後、来る12月16日(金)までに各所属学科等の担当者へ提出してください。

平成17年12月1日

東京農工大学 学生生活委員会

# 第5回 学生生活実態調査

2005年度

調 査 票

## 記入上の注意

1. 平成17年12月1日現在で記入してください。

2. 設問には、可能な範囲でできるだけ正確に回答をしてください。

なお、設問中の〈 〉内の見出し表示はその設問の調査対象者を示します。

3. 回答方法は、設問事項の回答欄に該当する事項の番号又は数値等を記入してください。

なお、複数回答欄を用意してある場合を除いて、一問一答です。

4. 回答欄中の( )内には、固有名詞、字句等を記入してください。

なお、( )に記入するに当たって、複数の回答がある場合には、主だったものを1つ又は2つ程度記入してください。

また、指示がある場合には、それに従って記入してください。

5. 回答欄等に記入しきれない場合(当該設問の分野及び項目の番号を必ず記入)或いは大学への要望、意見等がある場合には、10ページの「要望・意見等」を十分利用してください。

# I 基本的事項

質問事項	選択肢欄	回答欄
<p>1. 所属学科・専攻等は、何ですか。</p>	<p><b>【農学部】</b></p> <p>: 01. 生物生産学科 : 02. 応用生物科学科 : 03. 環境資源科学科 : 04. 地域生態システム学科 : 05. 獣医学科</p> <p><b>【農学教育部修士課程】</b></p> <p>: 15. 生物生産科学専攻 : 16. 共生持続社会学専攻 : 17. 応用生命化学専攻 : 18. 生物制御科学専攻 : 19. 環境資源物質科学専攻 : 20. 物質循環環境科学専攻 : 21. 自然環境保全学専攻 : 22. 農業環境工学専攻 : 23. 国際環境農学専攻</p> <p><b>【連合農学研究科博士課程】</b></p> <p>: 30. 生物生産学専攻 : 31. 生物工学専攻 : 32. 資源・環境学専攻</p> <p><b>【連合獣医学研究科博士課程】</b></p> <p>: 37. 獣医学専攻</p> <p><b>【技術経営研究科専門職学位課程】</b></p> <p>: 38. 技術リスクマネジメント専攻</p> <p><b>【工学部】</b></p> <p>: 06. 生命工学科 : 07. 応用分子化学科 : 08. 有機材料化学科 : 09. 化学システム工学科 : 10. 機械システム工学科 : 11. 物理システム工学科 : 12. 電気電子工学科 : 13. 情報コミュニケーション工学科 : 14. 応用化学科</p> <p><b>【工学教育部博士前期課程】</b></p> <p>: 24. 生命工学専攻 : 25. 応用化学専攻 : 26. 機械システム工学専攻 : 27. 物理システム工学専攻 : 28. 電気電子工学専攻 : 29. 情報コミュニケーション工学専攻</p> <p><b>【工学教育部博士後期課程】</b></p> <p>: 33. 生命工学専攻 : 34. 応用化学専攻 : 35. 機械システム工学専攻 : 36. 電子情報工学専攻</p> <p><b>【BASE博士前期課程】</b></p> <p>: 39. 生物システム応用科学専攻</p> <p><b>【BASE博士後期課程】</b></p> <p>: 40. 生物システム応用科学専攻</p>	<p>1. <input type="text"/> <input type="text"/></p>
<p>2. 現在何年生ですか。 (注)・5年目3年生の場合は3年生とします。 ・5年及び6年は、獣医学科のみとします。 ・大学院の場合は、課程別学年とします。</p>	<p>: 01. 1年生 : 02. 2年生 : 03. 3年生 : 04. 4年生 : 05. 5年生 : 06. 6年生</p>	<p>2. <input type="text"/> 0 <input type="text"/></p>
<p>3. 性別は、どちらですか。</p>	<p>: 01. 男 : 02. 女</p>	<p>3. <input type="text"/> 0 <input type="text"/></p>
<p>4. 満何才ですか。</p>	<p>: 01. 18才 : 02. 19才 : 03. 20才 : 04. 21才 : 05. 22才 : 06. 23才 : 07. 24才 : 08. 25才 : 09. 26才 : 10. 27才 : 11. 28才 : 12. 29才 : 13. 30～34才 : 14. 35～39才 : 15. 40才以上</p>	<p>4. <input type="text"/> <input type="text"/></p>
<p>5. 婚姻について</p>	<p>: 01. している(既婚) : 02. していない(未婚)</p>	<p>5. <input type="text"/> 0 <input type="text"/></p>
<p>6. あなたの出身地(国)はどこですか。</p> <p>&lt;外国人留学生&gt;の方は、48「その他」と記入の上、【      】内に国名を記入してください。</p>	<p>: 01. 北海道 : 02. 青森 : 03. 岩手 : 04. 宮城 : 05. 秋田 : 06. 山形 : 07. 福島 : 08. 茨城 : 09. 栃木 : 10. 群馬 : 11. 埼玉 : 12. 千葉 : 13. 東京 : 14. 神奈川 : 15. 新潟 : 16. 富山 : 17. 石川 : 18. 福井 : 19. 山梨 : 20. 長野 : 21. 岐阜 : 22. 静岡 : 23. 愛知 : 24. 三重 : 25. 滋賀 : 26. 京都 : 27. 大阪 : 28. 兵庫 : 29. 奈良 : 30. 和歌山 : 31. 鳥取 : 32. 島根 : 33. 岡山 : 34. 広島 : 35. 山口 : 36. 徳島 : 37. 香川 : 38. 愛媛 : 39. 高知 : 40. 福岡 : 41. 佐賀 : 42. 長崎 : 43. 熊本 : 44. 大分 : 45. 宮崎 : 46. 鹿児島 : 47. 沖縄 : 48. その他</p>	<p>6. <input type="text"/> <input type="text"/></p> <p>国名 【      】</p>
<p>7. &lt;外国人留学生&gt;の方にお聞きします。経費区分はどれですか。</p>	<p>: 01. 国費 : 02. 政府派遣 : 03. 私費 : 04. JICA、JICE : 05. その他</p>	<p>7. <input type="text"/> 0 <input type="text"/></p>

## II 経済的状況

質問事項	選択肢欄	回答欄
8. あなたの1ヶ月の平均収入額は、およそいくらですか。	: 平均収入額 内訳 : 01. 家庭(家計支持者)から : 02. 奨学金(外国人留学生の奨学金・奨励費等を含む) : 03. 本学における Teaching Assistant(TA)、Research Assistant(RA) : 04. アルバイト : 05. その他( ) (注)主な費目を記入してください。	千円 8. <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> 千円 8.-01 <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> 千円 8.-02 <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> 千円 8.-03 <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> 千円 8.-04 <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> 千円 8.-05 <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/>
9. あなたの1ヶ月の平均支出額(授業料を除く)は、およそいくらですか。	: 平均支出額 内訳 : 01. 住居費 : 02. 食費 : 03. 光熱水費(通信費含む。) : 04. 研究・勉学費・書籍費(授業料を除く) : 05. 通学費(府中地区と小金井地区のキャンパス間の移動費を含む) : 06. その他( ) (注)主な費目を記入してください。	千円 9. <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> 千円 9.-01 <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> 千円 9.-02 <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> 千円 9.-03 <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> 千円 9.-04 <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> 千円 9.-05 <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> 千円 9.-06 <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/>
10. 授業料の主たる支払い者は、どなたですか。	: 01. 父 : 02. 母 : 03. 配偶者 : 04. 本人 : 05. 兄弟姉妹 : 06. 祖父母 : 07. 知人 : 08. その他( )	10. <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/>
11. 現在、アルバイトをしていますか。	: 01. している : 02. していない	11. <input type="text"/> <input type="text"/>
12. 11で「01」していると答えた方に伺います。 アルバイトの主たる目的・理由は、何ですか。	: 01. 生活費を得るため : 02. 授業料を得るため : 03. 研究・勉学費・書籍等を得るため : 04. 大学生活をエンジョイするため : 05. 社会経験・自己成長のため : 06. その他( )	12. <input type="text"/> <input type="text"/>
13. 11で「01」していると答えた方に伺います。 アルバイトの職種は、何ですか。 (複数回答可)	: 01. 家庭教師 : 02. 学習塾教師 : 03. 事務 : 04. 調査員 : 05. 販売・店員 : 06. 特技技能(翻訳・コンピュータ等) : 07. ウェイター・ウェイトレス : 08. 軽作業・軽労働 : 09. 重労働 : 10. その他( )	13. <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
14. 11で「01」していると答えた方に伺います。 アルバイトに従事している時間は、どれですか。 (注)通勤時間を含め1週間の平均とします。	: 01. 5時間未満 : 02. 5時間～10時間未満 : 03. 10時間～20時間未満 : 04. 20時間以上	14. <input type="text"/> <input type="text"/>



### Ⅲ 住 居

質 問 事 項	選 択 肢 欄	回 答 欄										
15. 住居等について 現在の住居形態・区分は、何ですか。	: 01. 単身生活 : 02. 同居生活 :	15. <input type="text" value="0"/> <input type="text"/>										
16. 15で「01」の場合、住居形態は何ですか。	: 01. 集合住宅(アパート・マンション) : 05. 国際交流会館 : 02. 貸家・貸間(食事なし) (本学・一橋大学国際学生宿舎) : 03. 食事付下宿(親戚・知人宅を含む) : 06. その他の学生寮又は会館 : 04. 農工大学生寮 : 07. その他( )	16. <input type="text" value="0"/> <input type="text"/>										
17. 15で「02」の場合、同居相手はどなたですか。	: 01. 家族 : 03. 友人・知人 : 02. 親戚 : 04. その他	17. <input type="text" value="0"/> <input type="text"/>										
18. 現在の住居の所在地は、どこですか。	: 01. 府中市 : 05. 千葉県 : 02. 小金井市 : 06. 埼玉県 : 03. 国分寺市 : 07. 神奈川県 : 04. 上記以外の東京都 : 08. その他	18. <input type="text" value="0"/> <input type="text"/>										
19. 本学の学生寄宿舎(「国際交流会館」を除く) への入居を希望しますか。	: 01. 希望する : 03. すでに入居している : 02. 希望しない	19. <input type="text" value="0"/> <input type="text"/>										
20. 現在、入寮している方に伺います。寮に関して 不満な点があれば挙げてください。 (複数回答可)	: 01. 集団生活が煩わしい : 07. 風呂が共同 : 02. 規律正しい生活ができない : 08. 自炊設備(台所) : 03. 交通の便が悪い : 09. プライバシーがない : 04. 設備が古い : 10. 寮費が高い : 05. 部屋が狭い : 11. 食事の内容が不満 : 06. 個室でない : 12. その他( )	20. <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td> </td><td> </td></tr><tr><td> </td><td> </td></tr><tr><td> </td><td> </td></tr><tr><td> </td><td> </td></tr><tr><td> </td><td> </td></tr></table>										
21. <外国人留学生>の方にお聞きします。 アパート等の入居に際し、連帯保証人は必要 でしたか。	: 01. 必要 : 02. 不必要	21. <input type="text" value="0"/> <input type="text"/>										
22. 21で「01」必要と答えた方にお聞きします。 連帯保証人を誰にお願いしましたか。	: 01. 機関保証人(留学生担当責任者) : 04. 知人・友人 : 02. 指導教員 : 05. その他( ) : 03. 指導教員以外の教職員	22. <input type="text" value="0"/> <input type="text"/>										
23. <外国人留学生>の方にお聞きします。 国際交流会館への入居を希望しますか。	: 01. 希望する : 02. 希望しない	23. <input type="text" value="0"/> <input type="text"/>										
24. <国際交流会館に入居している又は入居した ことのある留学生>に伺います。 会館に関して不満な点があれば挙げてください。 (複数回答可)	: 01. 部屋が狭い : 04. 寄宿料が高い : 02. 設備が悪い : 05. 入居期間が短い : 03. シャワーが共同(小金井) : 06. その他( )	24. <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td> </td><td> </td></tr><tr><td> </td><td> </td></tr><tr><td> </td><td> </td></tr></table>										
25. <アパート等に入居している外国人留学生>の 方にお聞きします。 アパートをどこで探しましたか。	: 01. 学校(学生生活係)の窓口 : 04. 知人・友人 : 02. 不動産屋 : 05. その他( ) : 03. 内外学生センター	25. <input type="text" value="0"/> <input type="text"/>										

### Ⅳ 通 学

質 問 事 項	選 択 肢 欄	回 答 欄
26. 主な通学手段・方法は、何ですか。	: 01. 徒歩 : 04. 自動車 : 02. 自転車 : 05. 公的交通機関 : 03. オートバイ : 06. その他( )	26. <input type="text" value="0"/> <input type="text"/>
27. 通学の片道の所要時間は、どのくらいですか。	: 01. 30分未満 : 04. 90～120分未満 : 02. 30～60分未満 : 05. 120分以上 : 03. 60～90分未満	27. <input type="text" value="0"/> <input type="text"/>



41. 40で「01」あると答えた方にお聞きします。 疑問を持った結果、どのように対処しましたか。	: 01. 担当教員に問い合わせをした : 02. 担当以外の教員に 問い合わせをした	: 03. 何もなかった : 04. その他( )	41. <input type="text" value="0"/> <input type="text"/>								
42. 講義室など教育環境は、どう思いますか。	: 01. 満足している : 02. 満足していない (理由 ) (早急に改善を要する場所 )		42. <input type="text" value="0"/> <input type="text"/>								
43. 実験・実習の際に危険を感じたことがありますか。	: 01. なかった : 02. あった (内容 )		43. <input type="text" value="0"/> <input type="text"/>								
44. 学生便覧を活用していますか。	: 01. 活用している : 02. あまり活用していない	: 03. 全然活用していない	44. <input type="text" value="0"/> <input type="text"/>								
45. シラバスにオフィスアワーが記載されていることを知っていますか。	: 01. 活用している : 02. 活用したことがない	: 03. 知らない	45. <input type="text" value="0"/> <input type="text"/>								
46. シラバスを活用していますか。	: 01. 活用している : 02. あまり活用していない	: 03. 全然活用していない	46. <input type="text" value="0"/> <input type="text"/>								
47. 本学の在学生向けホームページを活用していますか。	: 01. 活用している : 02. あまり活用していない	: 03. 全然活用していない	47. <input type="text" value="0"/> <input type="text"/>								
48. 大学からの情報発信の媒体として、主に何を希望しますか。	: 01. 大学のメールアドレス : 02. 個人のメールアドレス : 03. 携帯のメールアドレス	: 04. 電子掲示板 : 05. 掲示板 : 06. その他	48. <input type="text" value="0"/> <input type="text"/>								
49. 〈外国人留学生〉の方にお伺いします。 外国人留学生の手引を活用していますか。	: 01. 見て活用している : 02. あまり活用していない	: 03. 全然見ていない	49. <input type="text" value="0"/> <input type="text"/>								
50. 〈外国人留学生〉の方にお伺いします。 留学生活に必要な情報はどこから得ていますか。 (複数回答可)	: 01. 留学生の手引き : 02. 留学生センターの教職員 : 03. 担任教員や指導教員 : 04. 他の留学生 : 05. チューター	: 06. チューター以外の日本人学生 : 07. インターネット : 08. その他( ) : 09. 情報が得られない	50. <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr><td><input type="text" value="0"/></td><td><input type="text"/></td></tr> <tr><td><input type="text" value="0"/></td><td><input type="text"/></td></tr> <tr><td><input type="text" value="0"/></td><td><input type="text"/></td></tr> <tr><td><input type="text" value="0"/></td><td><input type="text"/></td></tr> </table>	<input type="text" value="0"/>	<input type="text"/>	<input type="text" value="0"/>	<input type="text"/>	<input type="text" value="0"/>	<input type="text"/>	<input type="text" value="0"/>	<input type="text"/>
<input type="text" value="0"/>	<input type="text"/>										
<input type="text" value="0"/>	<input type="text"/>										
<input type="text" value="0"/>	<input type="text"/>										
<input type="text" value="0"/>	<input type="text"/>										

## VI 課外活動

質 問 事 項	選 択 肢 欄	回 答 欄										
51. 課外活動団体(サークル)に加入していますか。 ※回答が02と03の方は終わり	: 01. 加入している : 02. 以前は加入していた : 03. 加入したことがない	51. <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td style="width: 20px; height: 20px; text-align: center;">0</td><td style="width: 20px; height: 20px;"></td></tr></table>	0									
0												
52. 加入している課外活動は、どれですか。 (複数回答可)	: 01. 文化系サークル : 02. 音楽系サークル : 03. 体育系サークル : 04. その他( )	52. <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td style="width: 20px; height: 20px; text-align: center;">0</td><td style="width: 20px; height: 20px;"></td></tr><tr><td style="width: 20px; height: 20px; text-align: center;">0</td><td style="width: 20px; height: 20px;"></td></tr></table>	0		0							
0												
0												
53. 1週間の平均活動時間は、どれくらいですか。	: 01. 1時間未満 : 02. 1時間～5時間未満 : 03. 5時間～10時間未満 : 04. 10時間以上	53. <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td style="width: 20px; height: 20px; text-align: center;">0</td><td style="width: 20px; height: 20px;"></td></tr></table>	0									
0												
54. 主な活動場所はどこですか。	: 01. 府中キャンパス : 02. 小金井キャンパス : 03. 両キャンパス : 04. 学外 : 05. その他( )	54. <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td style="width: 20px; height: 20px; text-align: center;">0</td><td style="width: 20px; height: 20px;"></td></tr></table>	0									
0												
55. 課外活動にどんな不満がありますか。 (複数回答可)	: 01. 人間関係 : 02. 学業との両立 : 03. 健康上の理由 : 04. サークル活動の内容 : 05. アルバイトができない : 06. 指導者 : 07. 練習施設・設備等 : 08. 経済的負担 : 09. 運営方針 : 10. その他( )	55. <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td style="width: 20px; height: 20px;"></td><td style="width: 20px; height: 20px;"></td></tr><tr><td style="width: 20px; height: 20px;"></td><td style="width: 20px; height: 20px;"></td></tr><tr><td style="width: 20px; height: 20px;"></td><td style="width: 20px; height: 20px;"></td></tr><tr><td style="width: 20px; height: 20px;"></td><td style="width: 20px; height: 20px;"></td></tr></table>										
56. 課外活動施設・設備に満足していますか。	: 01. 満足している : 02. 満足していない	56. <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td style="width: 20px; height: 20px; text-align: center;">0</td><td style="width: 20px; height: 20px;"></td></tr></table>	0									
0												
57. 56で「02」満足していないと回答した方に 伺います。 課外活動施設・設備にどんな不満がありますか。 (複数回答可)	: 01. 運動施設・設備の不足 (具体的に ) : 02. 運動施設・設備の老朽化・不備 (具体的に ) : 03. 文化・音楽系施設・設備の不足 (具体的に ) : 04. 文化・音楽系施設・設備の老朽化・不備 (具体的に ) : 05. 部室 (具体的に ) : 06. 学内合宿研修施設 (具体的に ) : 07. その他 (具体的に )	57. <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td style="width: 20px; height: 20px; text-align: center;">0</td><td style="width: 20px; height: 20px;"></td></tr><tr><td style="width: 20px; height: 20px; text-align: center;">0</td><td style="width: 20px; height: 20px;"></td></tr><tr><td style="width: 20px; height: 20px; text-align: center;">0</td><td style="width: 20px; height: 20px;"></td></tr><tr><td style="width: 20px; height: 20px; text-align: center;">0</td><td style="width: 20px; height: 20px;"></td></tr><tr><td style="width: 20px; height: 20px; text-align: center;">0</td><td style="width: 20px; height: 20px;"></td></tr></table>	0		0		0		0		0	
0												
0												
0												
0												
0												
58. 施設・設備以外で大学の課外活動支援で希望 するものは何ですか。 (複数回答可)	: 01. 看板・掲示場所 : 02. 補助金 : 03. ホームページなどの支援 : 04. 課外活動広報の充実 : 05. 指導者(顧問教員含む) : 06. その他( )	58. <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td style="width: 20px; height: 20px; text-align: center;">0</td><td style="width: 20px; height: 20px;"></td></tr><tr><td style="width: 20px; height: 20px; text-align: center;">0</td><td style="width: 20px; height: 20px;"></td></tr><tr><td style="width: 20px; height: 20px; text-align: center;">0</td><td style="width: 20px; height: 20px;"></td></tr></table>	0		0		0					
0												
0												
0												



**Ⅷ 学生生活**

質問事項	選択肢欄	回答欄								
<p>64. 次の各項目に関して悩みがありますか。 悩みの強い順に回答してください。(複数回答可) 悩みがない場合、第1位に「10」と記入してください。</p>	<p>: 01. 学業・研究 : 06. 対人関係(友人、家族、教員等) : 02. 学内の課外活動(サークル等) : 07. 身体健康(体調不調、不眠等) : 03. 学外の活動(アルバイト等) : 08. 精神健康(不安、憂うつ等) : 04. 進路・就職 : 09. その他( ) : 05. 経済事情 : 10. 何も悩みがない</p>	<p>64. 第1位 第2位 第3位 第4位</p> <table border="1" style="width: 100%; height: 100%;"> <tr><td style="width: 30px; height: 20px;"></td><td style="width: 30px; height: 20px;"></td></tr> <tr><td style="width: 30px; height: 20px;"></td><td style="width: 30px; height: 20px;"></td></tr> <tr><td style="width: 30px; height: 20px;"></td><td style="width: 30px; height: 20px;"></td></tr> <tr><td style="width: 30px; height: 20px;"></td><td style="width: 30px; height: 20px;"></td></tr> </table>								
<p>65. 64で「06」対人関係と答えた方に伺います。 その相手は誰ですか。(複数回答可)</p>	<p>: 01. 友人 : 03. 教員 : 02. 異性 : 04. その他( )</p>	<p>65. <table border="1" style="width: 100%; height: 100%;"> <tr><td style="width: 30px; height: 20px;">0</td><td style="width: 30px; height: 20px;"></td></tr> <tr><td style="width: 30px; height: 20px;">0</td><td style="width: 30px; height: 20px;"></td></tr> </table></p>	0		0					
0										
0										
<p>66. 65で「03」教員と答えた方に伺います。 それはどんな悩みですか。(複数回答可)</p>	<p>: 01. 意思の疎通が取れない : 04. 他の学生と差別される : 02. 指導が適切でない : 05. 課題や期待に答えられない : 03. 暴言を受ける : 06. その他( )</p>	<p>66. <table border="1" style="width: 100%; height: 100%;"> <tr><td style="width: 30px; height: 20px;">0</td><td style="width: 30px; height: 20px;"></td></tr> <tr><td style="width: 30px; height: 20px;">0</td><td style="width: 30px; height: 20px;"></td></tr> <tr><td style="width: 30px; height: 20px;">0</td><td style="width: 30px; height: 20px;"></td></tr> </table></p>	0		0		0			
0										
0										
0										
<p>67. 困ったときはどこに(誰に)相談しますか。 (複数回答可)</p>	<p>: 01. 学生サポートセンター(教務係・学生生活係)に行く : 06. 先輩・友人等に相談する : 02. 学生相談室に行く : 07. 家族に相談する : 03. 保健管理センターに行く : 08. 自分一人で解決するように努力する : 04. 留学生センターに行く : 09. 相談方法がわからない : 05. 教員に相談する : 10. その他( )</p>	<p>67. <table border="1" style="width: 100%; height: 100%;"> <tr><td style="width: 30px; height: 20px;">0</td><td style="width: 30px; height: 20px;"></td></tr> <tr><td style="width: 30px; height: 20px;">0</td><td style="width: 30px; height: 20px;"></td></tr> <tr><td style="width: 30px; height: 20px;">0</td><td style="width: 30px; height: 20px;"></td></tr> <tr><td style="width: 30px; height: 20px;">0</td><td style="width: 30px; height: 20px;"></td></tr> </table></p>	0		0		0		0	
0										
0										
0										
0										
<p>68. 67で「05」教員に相談すると答えた方にお聞きします。 それは誰ですか。(複数回答可)</p>	<p>: 01. 学生生活委員 : 05. 研究室の指導教員 : 02. アドバイザー教員 : 06. 留学生専門教員 : 03. 学科・専攻主任 : 07. その他( ) : 04. 課外活動の顧問教員</p>	<p>68. <table border="1" style="width: 100%; height: 100%;"> <tr><td style="width: 30px; height: 20px;">0</td><td style="width: 30px; height: 20px;"></td></tr> <tr><td style="width: 30px; height: 20px;">0</td><td style="width: 30px; height: 20px;"></td></tr> <tr><td style="width: 30px; height: 20px;">0</td><td style="width: 30px; height: 20px;"></td></tr> </table></p>	0		0		0			
0										
0										
0										
<p>69. 各キャンパスに学業・進路・就職などの相談に応じる学生相談室が開設されているのを知っていますか。</p>	<p>: 01. 知っている : 02. 知らない</p>	<p>69. <table border="1" style="width: 100%; height: 100%;"> <tr><td style="width: 30px; height: 20px;">0</td><td style="width: 30px; height: 20px;"></td></tr> </table></p>	0							
0										
<p>70. 保健管理センターに看護師の他、専任の医師(内科医、精神科医)が健康相談やカウンセリングを行っているのを知っていますか。</p>	<p>: 01. 知っている : 02. 知らない</p>	<p>70. <table border="1" style="width: 100%; height: 100%;"> <tr><td style="width: 30px; height: 20px;">0</td><td style="width: 30px; height: 20px;"></td></tr> </table></p>	0							
0										
<p>71. 各キャンパスの保健管理センターに毎週2日、女性心理カウンセラーが相談に応じているのを知っていますか。</p>	<p>: 01. 知っている : 02. 知らない</p>	<p>71. <table border="1" style="width: 100%; height: 100%;"> <tr><td style="width: 30px; height: 20px;">0</td><td style="width: 30px; height: 20px;"></td></tr> </table></p>	0							
0										
<p>72. 飲み会・コンパなどで次のような経験はありますか。 (複数回答可)</p>	<p>: 01. 飲酒を強要された : 04. セクハラを受けた : 02. 一気飲みをさせられた : 05. 酔ってけがをしたり事故を起こした : 03. からまれたり、暴言や暴力を受けた</p>	<p>72. <table border="1" style="width: 100%; height: 100%;"> <tr><td style="width: 30px; height: 20px;">0</td><td style="width: 30px; height: 20px;"></td></tr> <tr><td style="width: 30px; height: 20px;">0</td><td style="width: 30px; height: 20px;"></td></tr> <tr><td style="width: 30px; height: 20px;">0</td><td style="width: 30px; height: 20px;"></td></tr> </table></p>	0		0		0			
0										
0										
0										
<p>73. タバコを吸いますか。</p>	<p>: 01. 吸う : 02. 吸わない</p>	<p>73. <table border="1" style="width: 100%; height: 100%;"> <tr><td style="width: 30px; height: 20px;">0</td><td style="width: 30px; height: 20px;"></td></tr> </table></p>	0							
0										
<p>74. タバコの受動喫煙(副流煙)についてどう思いますか。</p>	<p>: 01. どうとも思わない : 03. 自分の周りでは吸ってほしくない : 02. 迷惑している : 04. その他( )</p>	<p>74. <table border="1" style="width: 100%; height: 100%;"> <tr><td style="width: 30px; height: 20px;">0</td><td style="width: 30px; height: 20px;"></td></tr> </table></p>	0							
0										
<p>75. キャンパス内の喫煙は禁止されていますが、知っていますか。</p>	<p>: 01. 知っている : 03. その他( ) : 02. 知らない</p>	<p>75. <table border="1" style="width: 100%; height: 100%;"> <tr><td style="width: 30px; height: 20px;">0</td><td style="width: 30px; height: 20px;"></td></tr> </table></p>	0							
0										
<p>76. キャンパス内の指定場所以外での禁煙についてどう思いますか。</p>	<p>: 01. 今のままでよい : 03. その他( ) : 02. キャンパス全体を禁煙にしてほしい</p>	<p>76. <table border="1" style="width: 100%; height: 100%;"> <tr><td style="width: 30px; height: 20px;">0</td><td style="width: 30px; height: 20px;"></td></tr> </table></p>	0							
0										
<p>77. 各キャンパス保健管理センターに設置している「健康診断結果自動閲覧機」から学生定期健康診断の結果を各自取得できます。このことを知っていますか。</p>	<p>: 01. 知っている : 02. 知らない</p>	<p>77. <table border="1" style="width: 100%; height: 100%;"> <tr><td style="width: 30px; height: 20px;">0</td><td style="width: 30px; height: 20px;"></td></tr> </table></p>	0							
0										
<p>78. セクシュアル・ハラスメントについてのパンフレット『セクハラ予防・相談』を読みましたか。</p>	<p>: 01. 読んだ : 03. 知らない : 02. 持っているが、読んでいない</p>	<p>78. <table border="1" style="width: 100%; height: 100%;"> <tr><td style="width: 30px; height: 20px;">0</td><td style="width: 30px; height: 20px;"></td></tr> </table></p>	0							
0										
<p>79. セクシュアル・ハラスメントについて、相談員が対応しているのを知っていますか。</p>	<p>: 01. 知っている : 02. 知らない</p>	<p>79. <table border="1" style="width: 100%; height: 100%;"> <tr><td style="width: 30px; height: 20px;">0</td><td style="width: 30px; height: 20px;"></td></tr> </table></p>	0							
0										

80. セクシュアル・ハラスメントを受けたことがありますか。	: 01. ある : 02. ない	: 03. わからない	80. <input type="text" value="0"/>
81. 80で「01」と回答した方にお聞きします。 誰から受けましたか。 (複数回答可)	: 01. 教職員 : 02. 先輩 : 03. 同級生	: 04. 研究室・サークルの仲間 : 05. その他( )	81. <input type="text" value="0"/> <input type="text" value="0"/> <input type="text" value="0"/>
82. 農学部福利厚生センター及び工学部総合会館を利用していますか。 (主に活動しているキャンパスの施設について答えてください。)	A. 生協食堂 : 01. よく利用する : 02. ときどき利用する : 03. 全く利用しない B. 喫茶室 : 01. よく利用する : 02. ときどき利用する : 03. 全く利用しない C. 売店 : 01. よく利用する : 02. ときどき利用する : 03. 全く利用しない		82. -A <input type="text" value="0"/> 82. -B <input type="text" value="0"/> 82. -C <input type="text" value="0"/>
83. 食堂・喫茶室には満足していますか。	: 01. 満足している (理由 )	: 02. 満足していない	83. <input type="text" value="0"/>
84. 83で「02」と満足していないと回答した方にお聞きします。 満足していない理由は何ですか。 (複数回答可)	: 01. 施設が古い : 02. 狭い(座席数が少ない) : 03. 味・メニュー内容 (要望・意見等 )	: 04. スタッフの接客態度 : 05. 開店時間 : 06. その他	84. <input type="text" value="0"/> <input type="text" value="0"/>
85. 売店には満足していますか。	: 01. 満足している (理由 )	: 02. 満足していない	85. <input type="text" value="0"/>
86. 85で「02」と満足していないと回答した方にお聞きします。 満足していない理由は何ですか。 (複数回答可)	: 01. 施設が古い : 02. 狭い : 03. 品揃え (要望・意見等 )	: 04. スタッフの接客態度 : 05. 開店時間 : 06. その他	86. <input type="text" value="0"/> <input type="text" value="0"/>
87. キャンパスの施設・設備環境(講義棟を除く)で改善を希望するところはどこですか。 (複数回答可)	: 01. トイレ : 02. 駐車場 : 03. 駐輪場 : 04. リフレッシュ空間	: 05. PC環境(無線LAN等を含む) : 06. 自動販売機 : 07. ロッカー : 08. その他( )	87. <input type="text" value="0"/> <input type="text" value="0"/> <input type="text" value="0"/> <input type="text" value="0"/>
88. 本学の合宿研修施設である館山荘を知っていますか。	: 01. 知っている	: 02. 知らない	88. <input type="text" value="0"/>
89. <館山荘を利用したことのある方に伺います。> 利用して満足しましたか。	: 01. 満足した (理由 )	: 02. 満足していない	89. <input type="text" value="0"/>
90. 89で「02」と満足しなかったと回答した方に伺います。 それはなぜですか。(複数回答可)	: 01. 施設・設備が悪い : 02. 料金が高い (要望・意見等 )	: 03. 交通が不便 : 04. その他	90. <input type="text" value="0"/> <input type="text" value="0"/>
91. 図書館の利用頻度は、どのくらいですか。	: 01. よく利用する : 02. ときどき利用する (理由 )	: 03. 全く利用しない	91. <input type="text" value="0"/>
92. 大学祭に参加しましたか。	: 01. 積極的に参加した : 02. 普通に参加した (理由 )	: 03. 参加しなかった	92. <input type="text" value="0"/>
93. <外国人留学生>の方にお聞きします。 トラブルの対応に本学の教職員のお世話になったことがありますか。	: 01. ある	: 02. ない	93. <input type="text" value="0"/>
94. 上記で「01」と答えた方にお聞きします。 それはどんなトラブルですか。 (複数回答可)	: 01. 交通事故等のトラブル : 02. 経済的(金銭的)なトラブル : 03. 修学上のトラブル	: 04. 住居のトラブル : 05. その他のトラブル ( )	94. <input type="text" value="0"/> <input type="text" value="0"/> <input type="text" value="0"/>

## IX 進路(就職・進学)

質 問 事 項	選 択 肢 欄	回 答 欄
95. 将来の希望進路はどちらですか。	: 01. 就職 : 02. 進学 : 03. 未定	95. <input style="width: 20px;" type="text" value="0"/> <input style="width: 20px;" type="text"/>
96. 進路を考える上での情報入手手段は、何ですか。	: 01. 指導教員 : 02. 就職担当教員 : 03. 先輩・知人 : 04. 新聞・マスコミ・就職情報誌 : 05. インターネット : 06. 親・親戚等 : 07. 大学内資料 : 08. その他( )	96. <input style="width: 20px;" type="text" value="0"/> <input style="width: 20px;" type="text"/>
97. 将来の希望職種は、何ですか。	: 01. 公務員(研究・技術職) : 02. 公務員(行政職) : 03. 民間企業(研究・技術職) : 04. 民間企業(事務職) : 05. 教育職 : 06. 自営業 : 07. 起業 : 08. その他( )	97. <input style="width: 20px;" type="text" value="0"/> <input style="width: 20px;" type="text"/>
98. 大学の就職支援について、希望がありますか。	: 01. 希望がある : 02. 希望がない	98. <input style="width: 20px;" type="text" value="0"/> <input style="width: 20px;" type="text"/>
99. 98で「01」希望がある場合はどのようなことを希望しますか。	: 01. 会社説明会の開催 : 02. 就職ガイドブックの作成・配布 : 03. 就職情報コーナーの充実 : 04. インターンシップの充実 : 05. 就職相談窓口の充実 : 06. その他( )	99. <input style="width: 20px;" type="text" value="0"/> <input style="width: 20px;" type="text"/>
100. 在学中に海外留学をする希望がありますか。	: 01. 希望がある : 02. 希望がない	100. <input style="width: 20px;" type="text" value="0"/> <input style="width: 20px;" type="text"/>
101. 100で「01」希望があると答えた方に伺います。留学の主な目的は何ですか。(複数回答可)	: 01. 授業を履修して単位を取得する : 02. 論文準備等の研究主体 : 03. 語学力のレベルアップ : 04. 異文化交流 : 05. その他( )	101. <input style="width: 20px;" type="text" value="0"/> <input style="width: 20px;" type="text"/> <input style="width: 20px;" type="text" value="0"/> <input style="width: 20px;" type="text"/> <input style="width: 20px;" type="text" value="0"/> <input style="width: 20px;" type="text"/>
102. 留学を考えていたが、断念した経験はありますか。	: 01. ある : 02. ない	102. <input style="width: 20px;" type="text" value="0"/> <input style="width: 20px;" type="text"/>
103. 102で「01」と答えた方に伺います。主にどのような理由でしたか。(複数回答可)	: 01. 経済的理由 : 02. 語学力不足 : 03. 手続きがわからなかった : 04. 自分にあった留学先がなかった : 05. 時間がなかった : 06. その他( )	103. <input style="width: 20px;" type="text" value="0"/> <input style="width: 20px;" type="text"/> <input style="width: 20px;" type="text" value="0"/> <input style="width: 20px;" type="text"/> <input style="width: 20px;" type="text" value="0"/> <input style="width: 20px;" type="text"/>
104. 在学中に海外で活動したことがありますか。	: 01. ある : 02. ない	104. <input style="width: 20px;" type="text" value="0"/> <input style="width: 20px;" type="text"/>
105. 104で「01」と答えた方に伺います。どのような形ですか。	: 01. 休学手続きを取った : 02. 休学手続きを取らず、授業に支障がない範囲で行った : 03. 夏季休業中を活用した : 04. その他( )	105. <input style="width: 20px;" type="text" value="0"/> <input style="width: 20px;" type="text"/>
106. その目的・内容は何か。	: 01. 語学研修 : 02. 海外の大学のサマースクール等 : 03. ワーキングホリデー : 04. 海外インターンシップ : 05. 青年海外協力隊等の国際ボランティア : 06. その他( )	106. <input style="width: 20px;" type="text" value="0"/> <input style="width: 20px;" type="text"/>
107. 本学で企画している語学研修制度(米国ニューヨーク州立大学バッファロー校)や夏季交換留学制度(米国インディアナ州立大学パデュー大学)を知っていますか。また、興味はありますか。	: 01. 知っているし、興味がある : 02. 知っているが、興味はない : 03. 知らないが、興味がある : 04. 知らないし、興味もない	107. <input style="width: 20px;" type="text" value="0"/> <input style="width: 20px;" type="text"/>



**X 要望・意見等**

質問事項1. の所属学科・専攻等の番号を記入してください。

--	--

学生生活全般について、大学に対する意見・要望等がありましたら、本質問事項である下記事項について、それぞれ自由に記入してください。

**V 学業**

---

---

---

---

---

---

---

---

**VI 課外活動**

---

---

---

---

---

---

---

---

**VII 学生生活**

---

---

---

---

---

---

---

---

**IX 進路(就職・進学)**

---

---

---

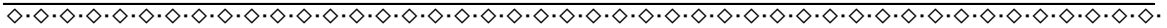
---

---

---

---

---



ご協力ありがとうございました。

この調査は、来る12月16日(金)までに記入漏れや誤りがないことをお確かめの上、各所属学科等の担当者へ提出してください。